

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	SA58H r. 4.0
提出年月日	令和4年8月31日

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について (重大事故等対処設備) 補足説明資料

58条

令和4年8月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

目次

- 58 条
- 58-1 SA 設備基準適合性一覧表
- 58-2 配置図
- 58-3 試験・検査説明資料
- 58-4 系統図
- 58-5 計測範囲説明書
- 58-6 審査会合会議資料
- 58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について
- 58-8 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置の必要台数整理
- 58-9 単線結線図
- 58-10 主要パラメータの抽出について
- 58-11 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について
- 58-12 重大事故等対処設備により計測する重要な監視パラメータ
- 58-13 「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第 58 条に基づく主要な重大事等対処設備一覧表

5 8 - 1 S A設備 基準適合性一覽

|

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		1次冷却材温度(広域-高温側)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	Bb	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		1次冷却材温度(広域-低溫測)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		1次冷却材圧力(広域)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/VE力】【C/Vベイス監視】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視ベラマナは、重要な監視ベラマナと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		加圧器水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/V水位】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		原子炉容器水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/V水位】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		高圧注入流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-IS LOCA時に使用 (原子炉補助建屋)	B a B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/Vへの注水量】 【C/Vへの注水量】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		低圧注流入量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-IS LOCA時に使用 (原子炉補助建屋)	B a B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【R/Vへの注水量】 【C/Vへの注水量】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		代替格納器スプレイポンプ出口積算流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
	第2項	第3号	共通要因故障防止	【R/Vへの注水量】 【C/Vへの注水量】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因			対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
第2項	第3号	共通要因故障防止	【R/Vへの注水量】 【C/Vへの注水量】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図	
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器内温度	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	環境条件における健全性	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V温度】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備あり/屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)		C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		原子炉格納容器圧力	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
	第2項	第3号	共通要因故障防止	【C/V圧力】【最終ヒートアップ確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因			対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器圧力 (AM用)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V/E力】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)		C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器再循環サンプ水位 (広域)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V水位】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器再循環サンプ水位(狭域)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V水位】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V水位】 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	B	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		原子炉下部キャビティ水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V水位】 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)		C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V 放射線量率】 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	B	[補足説明資料]58-2 配置図
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【C/V 放射線量率】 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	B	[補足説明資料]58-2 配置図
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		出力領域中性子束	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【未臨界の維持又は監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		中間領域中性子束	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【未臨界の維持又は監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		中性子源領域中性子束	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【未臨界の維持又は監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		蒸気発生器水位 (鉄域)	類型化区分	エビデンス			
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-		
		第3号 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第5号	悪影響防止	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図
			系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-		
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第2項	第3号	共通要因故障防止	【最終ハードウェア確保】 【C/Vバスの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C			-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		蒸気発生器水位 (広域)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	原子炉格納容器	A	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【最終ハードウェア確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		原子炉補機冷却水サージタンク水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【最終ハードウェア確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		補助給水流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【最終ハードウェア確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		主蒸気ライン圧力	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【最終ハードウェア確保】 【C/Vバスの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視パラメータは、重要な監視パラメータと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		燃料取替用水ピット水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
第3号		共通要因故障防止	【水源確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		ほう酸タンク水位	類型化区分	エビデンス			
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-		
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図		
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-		
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第2項	第3号	共通要因故障防止	【水源確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による))	A a
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C			-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		補助給水ピット水位	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性・系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	[補足説明資料]58-4 系統図	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	[補足説明資料]58-4 系統図
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分(DB設備と同仕様で設計)	A	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【水源確保】 防止設備／共通要因の考慮対象設備あり／屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備／同一目的のSA設備あり／屋内 (緩和設備同士の位置的分散(同一目的のSA設備は「第6.4.4表」による))	A a B	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		使用済燃料ピット水位 (AM用)	類型化区分	エビデンス			
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (燃料取扱棟)	B b	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-		
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第4号	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-		
	第5号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	A c	-	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-		
	第2項	第1号	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計)	C	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第3号	共通要因故障防止	【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	C		-			

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		使用済燃料ピット温度 (AM用)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (燃料取扱棟)	B b	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通さない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計)	C	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
		サポート系要因	対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		使用済燃料ピット監視カメラ	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1号	環境条件における健全性 環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (燃料取扱棟)	B b	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
	他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-		
	第2号	操作性	【SFPの監視】 現場操作 (運搬設置：空冷装置は、人力により運搬、移動できる設計) (操作スイッチ操作：空冷装置は、現場で操作できる) (接続作業：空冷装置は、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧	[技術的能力]添付資料1.11.17	
	第3号 (検査性、系統構成・外部入力)	試験・検査	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性の確認)が可能) (校正が可能) (空冷装置は、機能・性能の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 他設備から独立 (他の設備から独立)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要) 現場操作 (使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び空冷装置の操作は設置場所可能)	/	-	
	第1号	常設SAの容量	【SFPの監視】 SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (重大事故等時に赤外線機能によりSFPの水温の傾向等状態を監視できる設計)	C	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	
	第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-	
	第2号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因			対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	C	[技術的能力]添付資料1.11.17	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		データ収集計算機	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	通信設備 (機能・性能の確認が可能) (外観の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【パラメータの記録】 DBと同系統構成 (設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成)	A d	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	対象外 (発電所内外の通信連絡をする必要のある場所と必要なデータ量を伝送できる容量)	/	-
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第2項	第3号	共通要因故障防止	【パラメータの記録】 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/
サポート系要因	対象外(サポート系なし)			/	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		データ表示端末	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (緊急時対策所)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	現場操作 (操作スイッチ操作：付属のスイッチにより操作可能) (接続作業：通信ケーブルを確実に接続できる)	A㉔ A㉕	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	通信設備 (機能・性能の確認が可能) (外観の確認が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	Bb	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【パラメータの記録】 DBと同系統構成 (設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成)	A d	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所で可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第1号	常設SAの容量	対象外 (発電所内外の通信連絡をする必要のある場所と必要なデータ量を伝送できる容量)	/	-	
	第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-	
	第2項	第3号	共通要因故障防止	【パラメータの記録】 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因			対象外(サポート系なし)	/	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		A-直流コントロールセンタ母線電圧		類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-		
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-		
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-		
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C			-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		B-直流コントロールセンタ母線電圧	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)			C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		6-A母線電圧	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
		第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)			C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		6-B母線電圧	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	DB設備の容量等が十分 (DB設備と同仕様で設計)	A	-
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		A-原子炉補機冷却水供給母管流量	類型化区分	エビデンス			
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-		
	第3号	試験・検査(検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-		
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-		
	第1項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用(計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	-	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C			-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		B-原子炉補機冷却水供給母管流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外(操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査(検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備(模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能)(校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用(DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外(操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用(計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	-
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)		C	-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	海水通水 (常時海水を通水)	I	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第1項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	-
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-
		第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)			C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	類型化区分	エビデンス			
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-		
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料		
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-		
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-	
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-	
			その他(飛散物)	対象外	/	-	
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-		
	第1項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	-	
			第2号	共用の禁止	(共用しない)	-	-
			第2項	第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-
サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C			-		

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)

第58条 計装設備		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	対象外 (操作不要)	/	-	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設と同じ用途で使用又は切替せず使用 (DB施設と同じ系統構成で使用)	B b	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【常設のパラメータ】 他設備から独立 (パラメータ間の独立性)	A c	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	対象外 (操作不要)	/	-	
	第2項	第1号	常設SAの容量	SA設備単独で系統の目的に応じ使用 (計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計)	C	-
			共用の禁止	(共用しない)	-	-
		第3号	共通要因故障防止	対象外(共通要因の考慮対象設備なし)	-	-
		サポート系要因	対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	C	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		可搬型計測器	類型化区分	エビデンス		
第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	現場操作 (運搬設置：人が携行して移動可能) (操作スイッチ操作：付属の操作スイッチにより操作可能) (接続作業：計装ケーブルの接続は、ジャック接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧	[技術的能力]添付資料1.14.5	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【計測に必要な電源喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)			対象外	/	-	
第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (原子炉容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量(注水量)等の計測用として38個、故障時及び保守点検時のバックアップとして19個の合計57個)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 3.計測装置の構成	
	第2号	可搬SAの接続性	専用の接続	D	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-	
	第4号	設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因			対象外(サポート系なし)	/	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	類型化区分	エビデンス		
第1項	第1号	環境条件における健全性	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	C/V以外の屋内-その他(原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		荷重		(有効に機能を発揮する)	-	-
		海水		対象外(海水を通水しない)	/	-
		電磁波		(機能が損なわれない)	-	-
		他設備からの影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	【CV水素濃度監視】 現場操作 (運転設置：台車等により運搬、移動ができる設計、設置場所にて固定できる) (操作スイッチ操作：付属の操作スイッチにより操作可能) (弁操作：弁操作等にて速やかに切替えられる) (接続作業：簡便な接続規格による接続、及び計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし接続規格を統一し、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧ A⑩	[技術的能力]添付資料1.9.7	
	第3号	試験・検査(検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (弁を設置)	Ba1	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)			対象外	/	-	
第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして1台の合計2台)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲	
	第2号	可搬SAの接続性	簡便な接続規格 専用の接続	C D	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-	
	第4号	設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所	【C/V水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内 (原子炉建屋)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【C/V水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	/	-
サポート系要因			対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	D	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		可搬型アナログ水素濃度計測ユニット (アナログ水素濃度)	類型化区分	エビデンス		
第1項	第1号	環境条件における健全性	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図
		荷重		(有効に機能を発揮する)	-	-
		海水		対象外(海水を通水しない)	/	-
		電磁波		(機能が損なわれない)	-	-
		他設備からの影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	【水素濃度監視】 現場操作 (運搬設置:台車により運搬、移動ができる設計、設置場所にて固定できる) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより操作可能) (弁操作:弁操作等にて速やかに切替えられる) (接続作業:簡便な接続規格による接続、及び計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし接続規格を統一し、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧ A⑩	[技術的能力]添付資料1.10.5	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (弁を設置)	B a 1	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)			対象外	/	-	
第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして1台の合計2台)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲	
	第2号	可搬SAの接続性	簡便な接続規格 専用の接続	C D	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-	
	第4号	設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所	【A/N水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内 (原子炉建屋)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【A/N水素濃度】 緩和設備/同一目的のSA設備なし/屋内	/	-
サポート系要因			対象(サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持った代替電源から給電)	D	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)	類型化区分	エビデンス		
第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋及び緊急時対策所)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	現場操作 (運搬設置:人が携行して移動可能) (弁操作:弁操作等によりて速やかに切り替えられる) (接続作業:接続は、簡便な接続機各とし、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧	[技術的能力]添付資料1.7.5	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	-	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【監視機能喪失時】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)			対象外	/	-	
第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は1台、故障時及び保守点検時のバックアップとして2台の合計3台)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 4.計測装置の計測範囲及び警報動作範囲	
	第2号	可搬SAの接続性	簡便な接続規格	C	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-	
	第4号	設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所	【最終ヒートアップ確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 緩和設備/同一目的のSA設備なし	A b	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【最終ヒートアップ確保】 防止設備/共通要因の考慮対象設備あり/屋内 (重要代替監視カメラは、重要な監視カメラと位置的分散(代替対象は「第6.4.4表」による)) 緩和設備/同一目的のSA設備なし	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
サポート系要因			対象外(サポート系なし)	/	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	類型化区分	エビデンス		
第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力/屋外の天候/放射線	C/V以外の屋内-その他 (原子炉建屋及び原子炉補助建屋)	B d	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水	対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波	(機能が損なわれない)	-	-	
		他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性	現場操作 (運搬設置:人が携行して移動可能) (操作スイッチ操作:付属の操作スイッチにより操作可能) (接続作業:計装ケーブルの接続は、ジャック接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧	[技術的能力]添付資料1.7.4.5	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認(特性確認)が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【パラメータの記録】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)			対象外	/	-	
第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量	その他 (設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲) (保有数は3個、故障時及び保守点検時のバックアップとして1個の合計4個)	C	[補足説明資料]58-5 計測範囲説明書 3.計測装置の構成	
	第2号	可搬SAの接続性	専用の接続	D	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-	
	第4号	設置場所	SFP事故時以外に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	B	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし。	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【計測に必要な電源喪失時】 防止設備/共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備/同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因			対象外(サポート系なし)	/	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)

第58条 計装設備		使用済燃料ピット水位 (可搬型)	類型化区分	エビデンス		
第43条	第1項	第1号	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (原子炉建屋又は燃料取扱棟)	B b	[補足説明資料]58-2 配置図
			荷重	(有効に機能を発揮する)	-	-
			海水	対象外(海水を通水しない)	/	-
			電磁波	(機能が損なわれない)	-	-
			他設備からの影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-
	第2号	操作性	【SFPの監視】 現場操作 (運搬設置：人力により運搬、移動できる設計) (接続作業：変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続できる、取付金具を用いて確実に取付) (接続作業：ケーブル接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A@ A@	[技術的能力]添付資料1.11.17	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)	計測制御設備 (模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) が可能) (校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性	【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計	【SFPの監視】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計	地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
			その他(飛散物)	対象外	/	-
	第6号	設置場所	現場操作 (操作は設置場所でも可)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第3項	第1号	可搬SAの容量	【SFPの監視】 その他 (重大事故等により変動する可能性のあるSFP上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計) (保有数は1セット2個、故障時及び保守点検時のバックアップとして1個の合計3個)	C	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について
		第2号	可搬SAの接続性	専用の接続	D	-
		第3号	異なる複数の接続箇所の確保	対象外	/	-
		第4号	設置場所	SFP事故時に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	A	[補足説明資料]58-2 配置図
		第5号	保管場所	【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし／屋内 緩和設備／同一目的のSA設備なし／屋内	A a	[補足説明資料]58-2 配置図
第6号		アクセスルート	屋内アクセスルート	A	-	
第7号		共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災	【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
	サポート系要因		対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	D	-	

・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。


泊発電所3号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)


第58条 計装設備		使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	類型化区分	エビデンス			
第1項	第1号	環境条件における健全性	環境温度・湿度・圧力／屋外の天候／放射線	C/V以外の屋内-SFP事故時に使用 (原子炉建屋又は原子炉補助建屋) 屋外	B b C	[補足説明資料]58-2 配置図	
		荷重		(有効に機能を発揮する)	-	-	
		海水		対象外(海水を通水しない)	/	-	
		電磁波		(機能が損なわれない)	-	-	
		他設備からの影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	-	-	
	第2号	操作性		【SFPの監視】 現場操作 (運搬設置：人力により運搬、移動できる設計、固縛等により確実に固定できる) (操作スイッチ操作：付属の操作スイッチにより現場で操作可能) (接続作業：ケーブル接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することで、確実に接続できる)	A⑥ A⑦ A⑧	[技術的能力]添付資料1.11.17	
	第3号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)		計測制御設備 (特性の確認が可能のように線源校正が可能)	J	[補足説明資料]58-3 試験・検査説明資料	
	第4号	切り替え性		【SFPの監視】 DB施設としての機能を有さない (切替せず使用)	Ba2	-	
	第5号	悪影響防止	系統設計		【SFPの監視】 通常時は分離 (通常時に接続先の系統と分離された状態)	A b	-
			配置設計		地震、溢水、火災、外部からの衝撃の影響を及ぼさない	-	-
その他(飛散物)				対象外	/	-	
第6号	設置場所		現場操作 (操作は設置場所でも可能)	A a	[補足説明資料]58-2 配置図		
第3項	第1号	可搬SAの容量		【SFPの監視】 その他 (重大事故等により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計) (保有数は1セット1個、故障時及び保守点検時のバックアップとして1個の合計2個)	C	[補足説明資料]58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	
	第2号	可搬SAの接続性		専用の接続	D	-	
	第3号	異なる複数の接続箇所の確保		対象外	/	-	
	第4号	設置場所		SFP事故時に使用する設備 (放射線の高くなるおそれの少ない場所を選定)	A	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第5号	保管場所		【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし／屋内 緩和設備／同一目的のSA設備なし／屋内	A a	[補足説明資料]58-2 配置図	
	第6号	アクセラート		屋内アクセラート 屋外アクセラート	A B	-	
	第7号	共通要因故障防止	環境条件、自然現象、外部人為事象、溢水、火災		【SFPの監視】 防止設備／共通要因の考慮対象設備なし 緩和設備／同一目的のSA設備なし	/	-
サポート系要因				対象 (サポート系あり) 異なる駆動源 (DB設備としての電源に対して多様性を持つ代替電源から給電)	D	-	

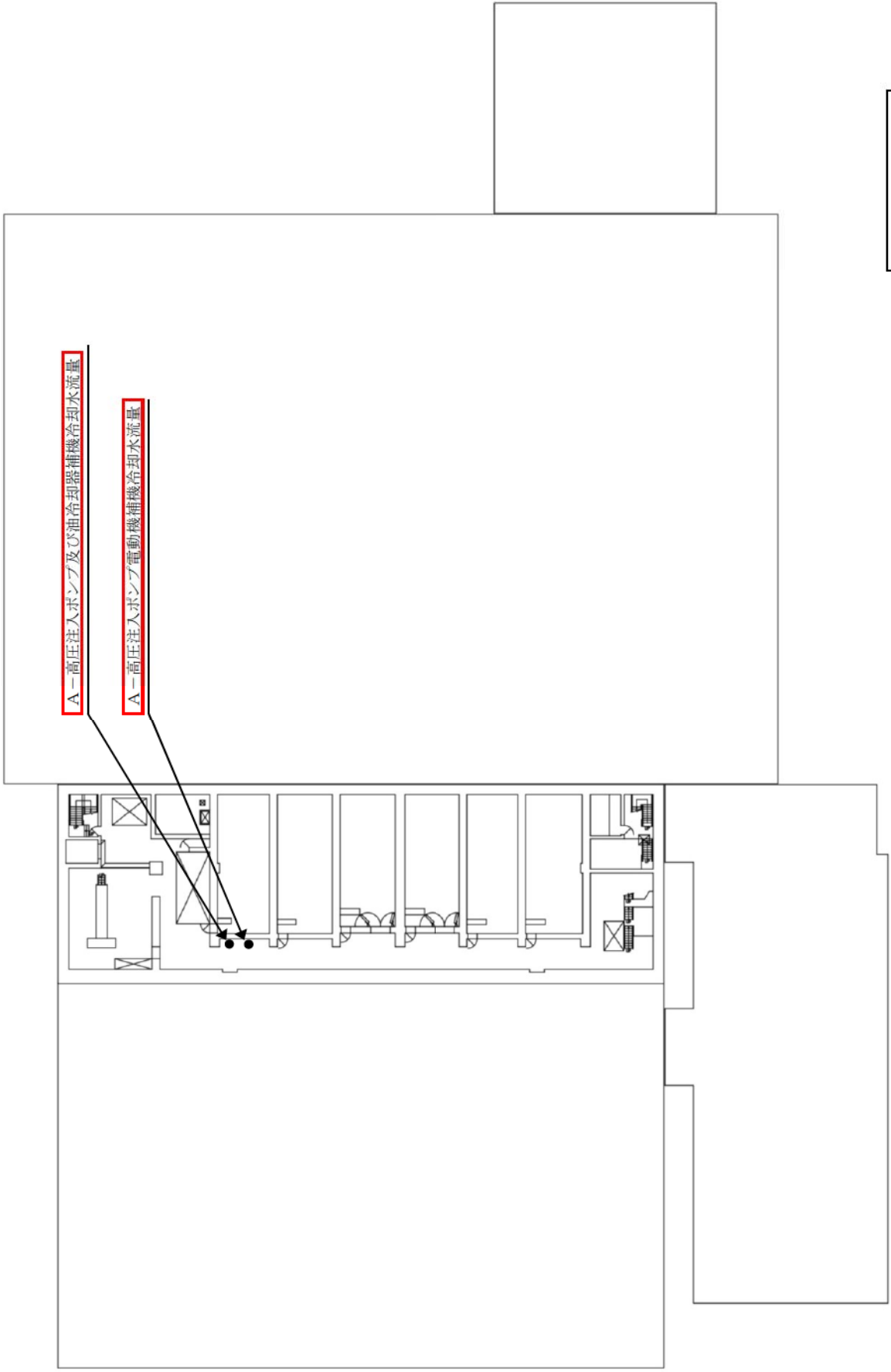
・記号は「共-2 類型化区分及び適合内容」における類型化区分を示す。
 ・「-」は全ての設備に適用する共通の設計方針であることを示し、個別条文の適合方針としては記載せず、43条適合方針としてのみ記載する。
 ・「/」は当該設備が対象外であることを示し、記載すべき設計方針がないことを表す。

5 8 - 2 配置図

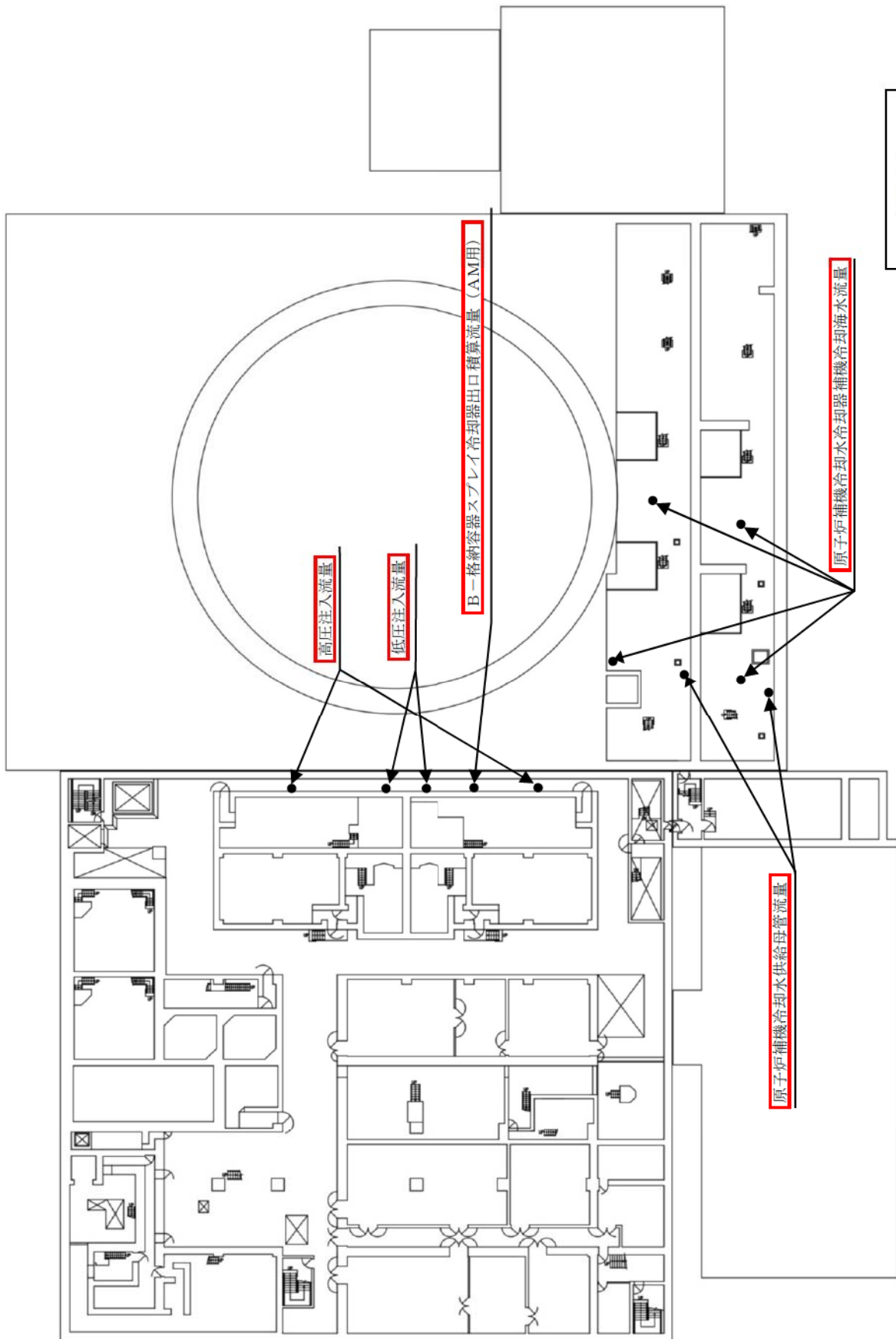
凡例

 : 設計基準事故対処設備等

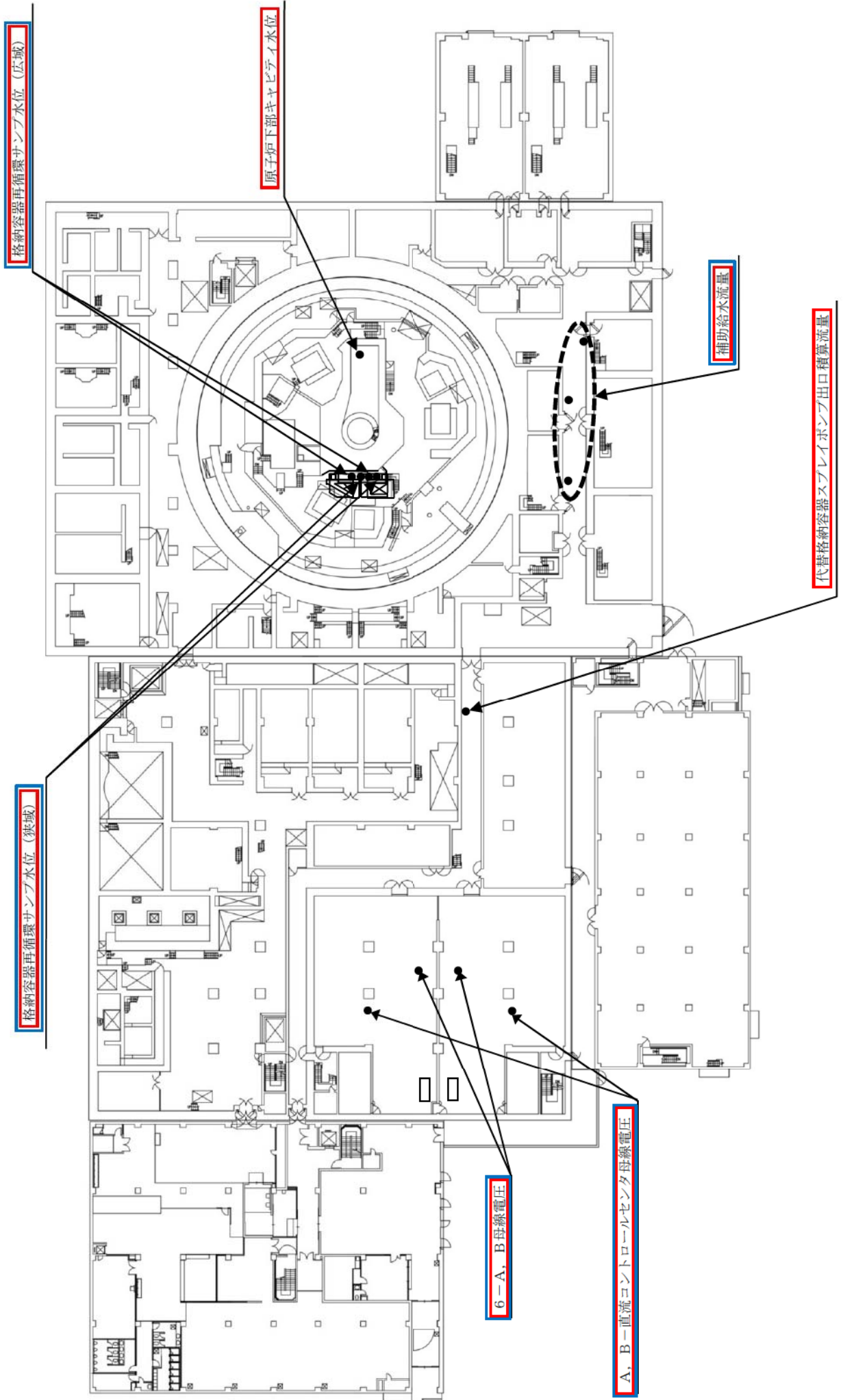
 : 重大事故等対処設備



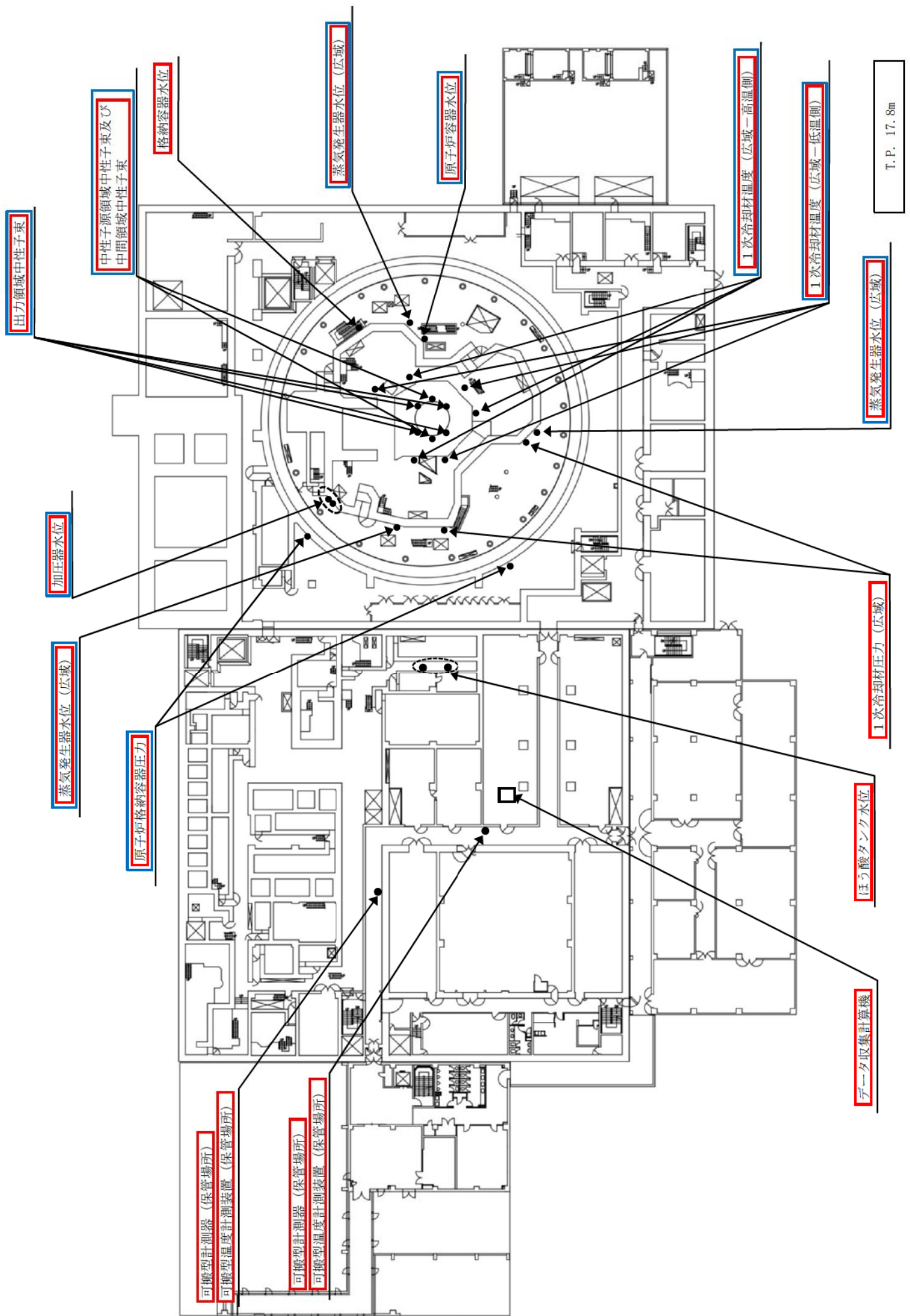
T. P. -1. 7m

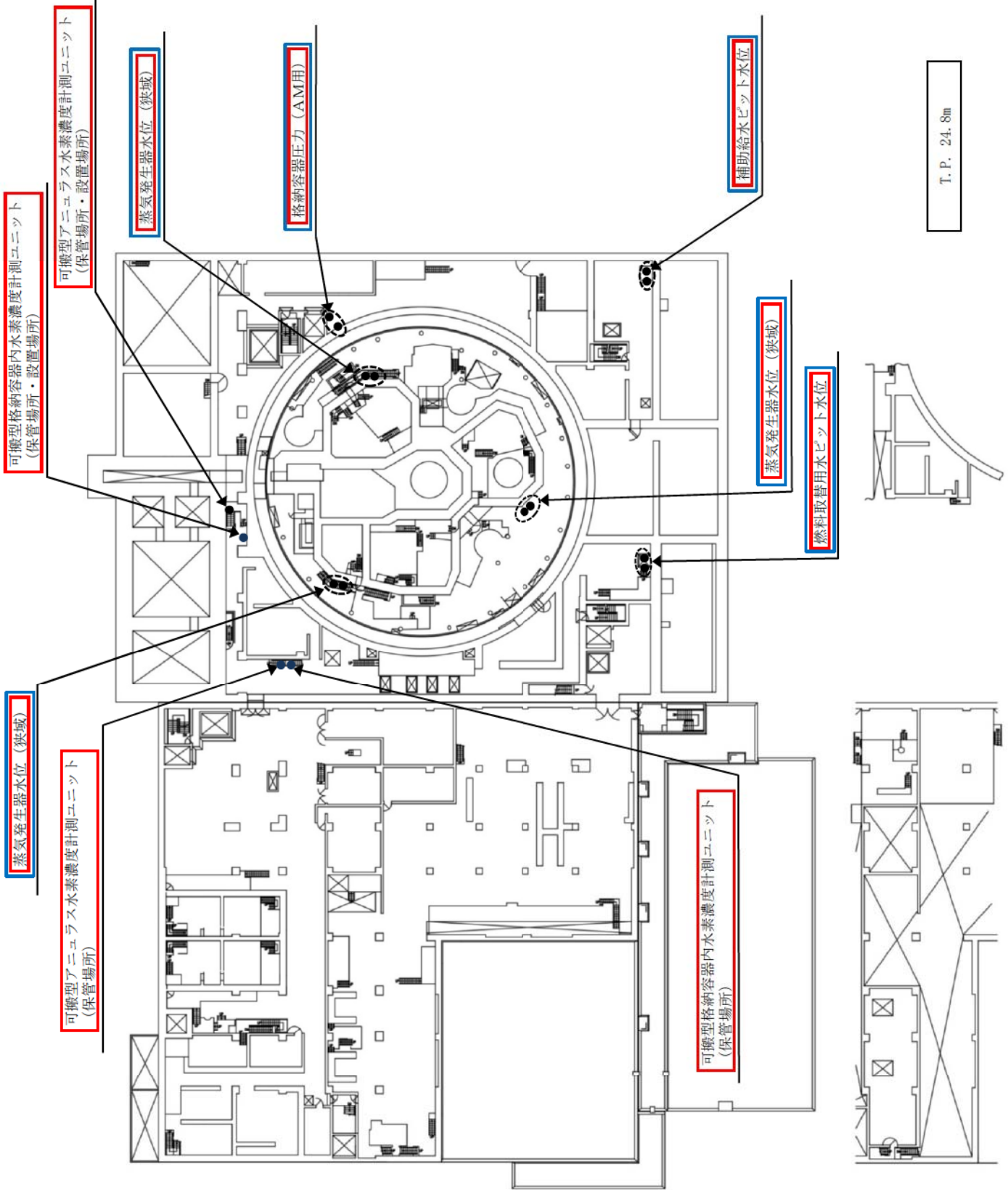


T.P. 2.3m

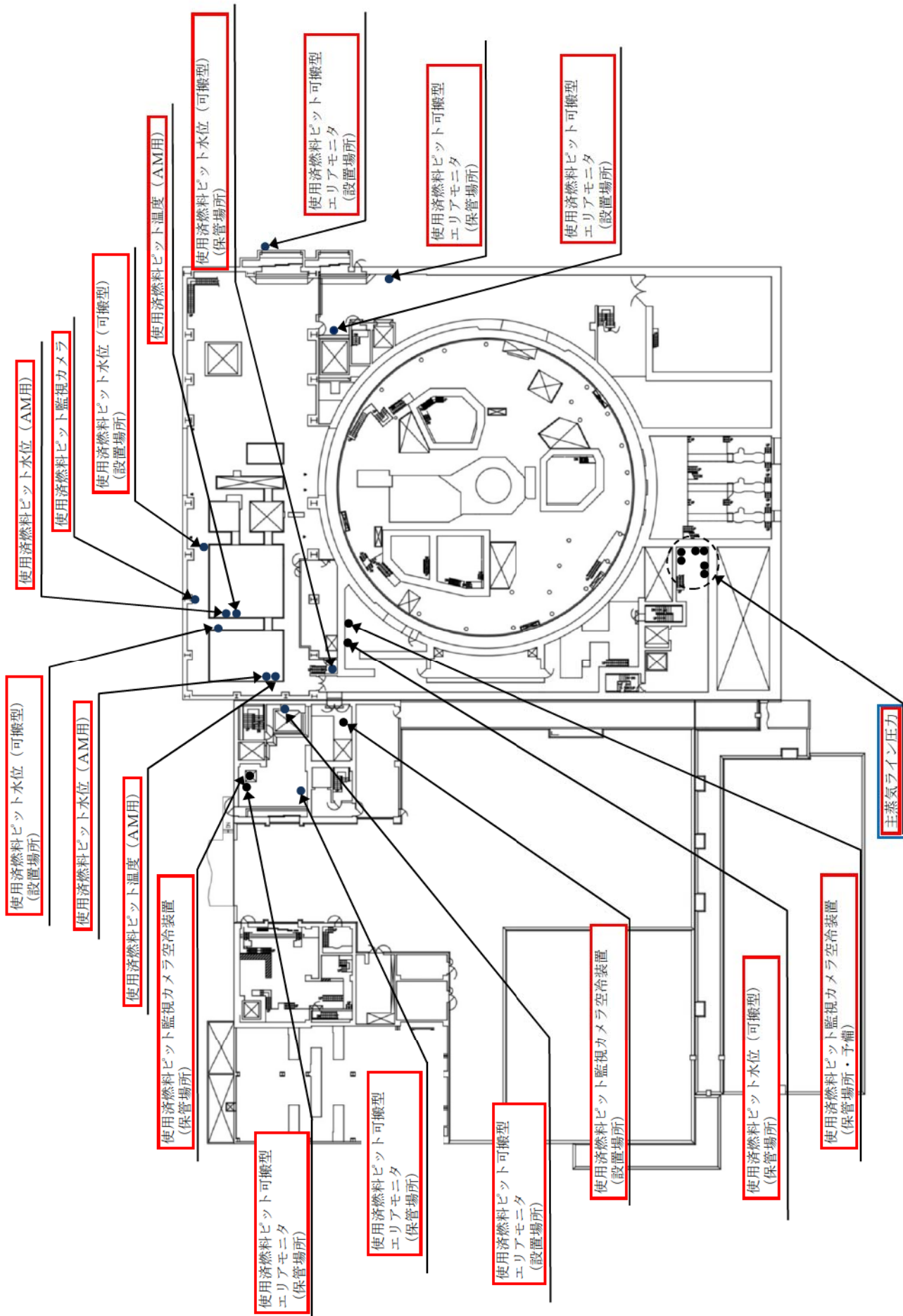


T. P. 10. 3m

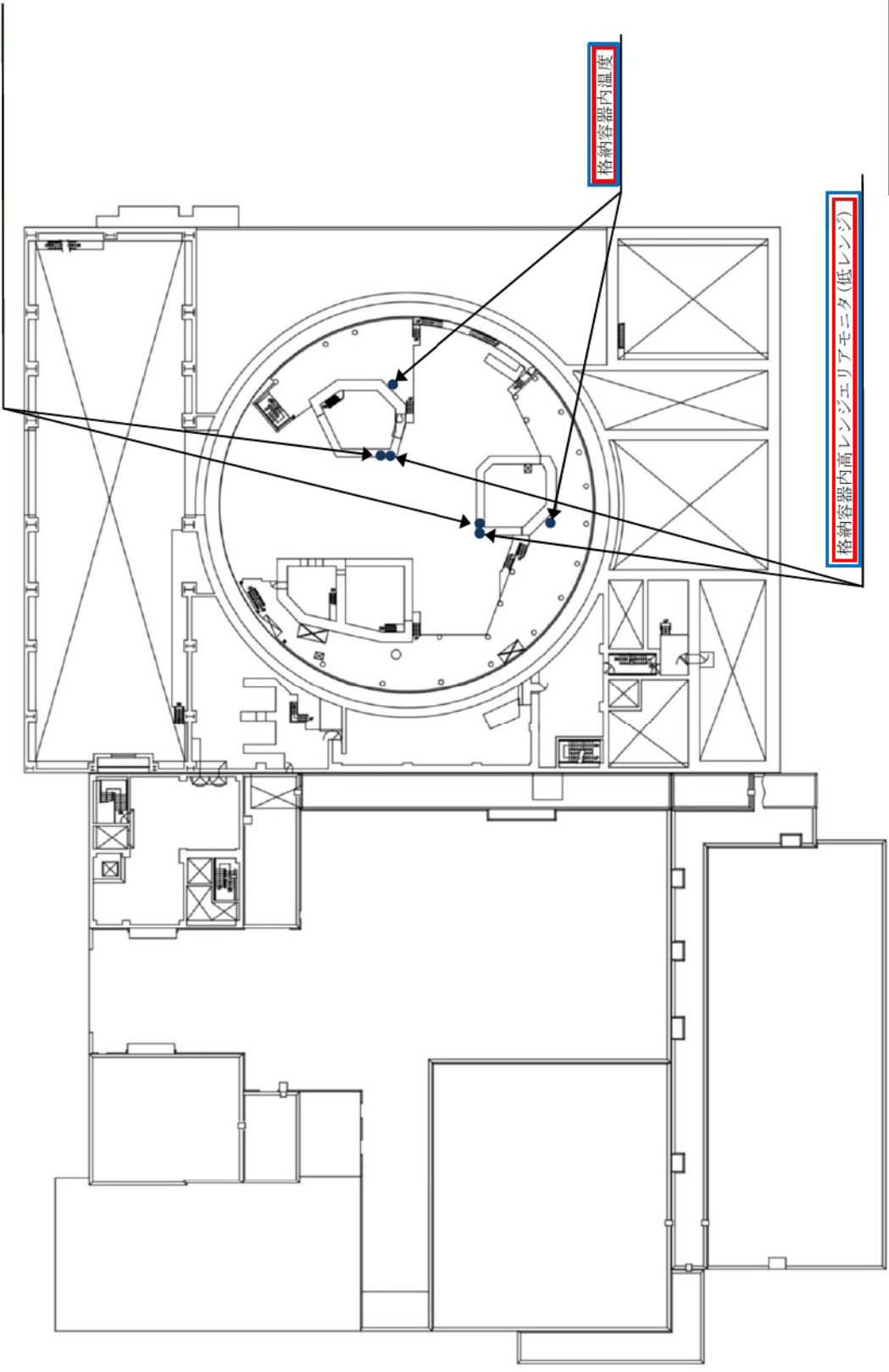




T. P. 24. 8m



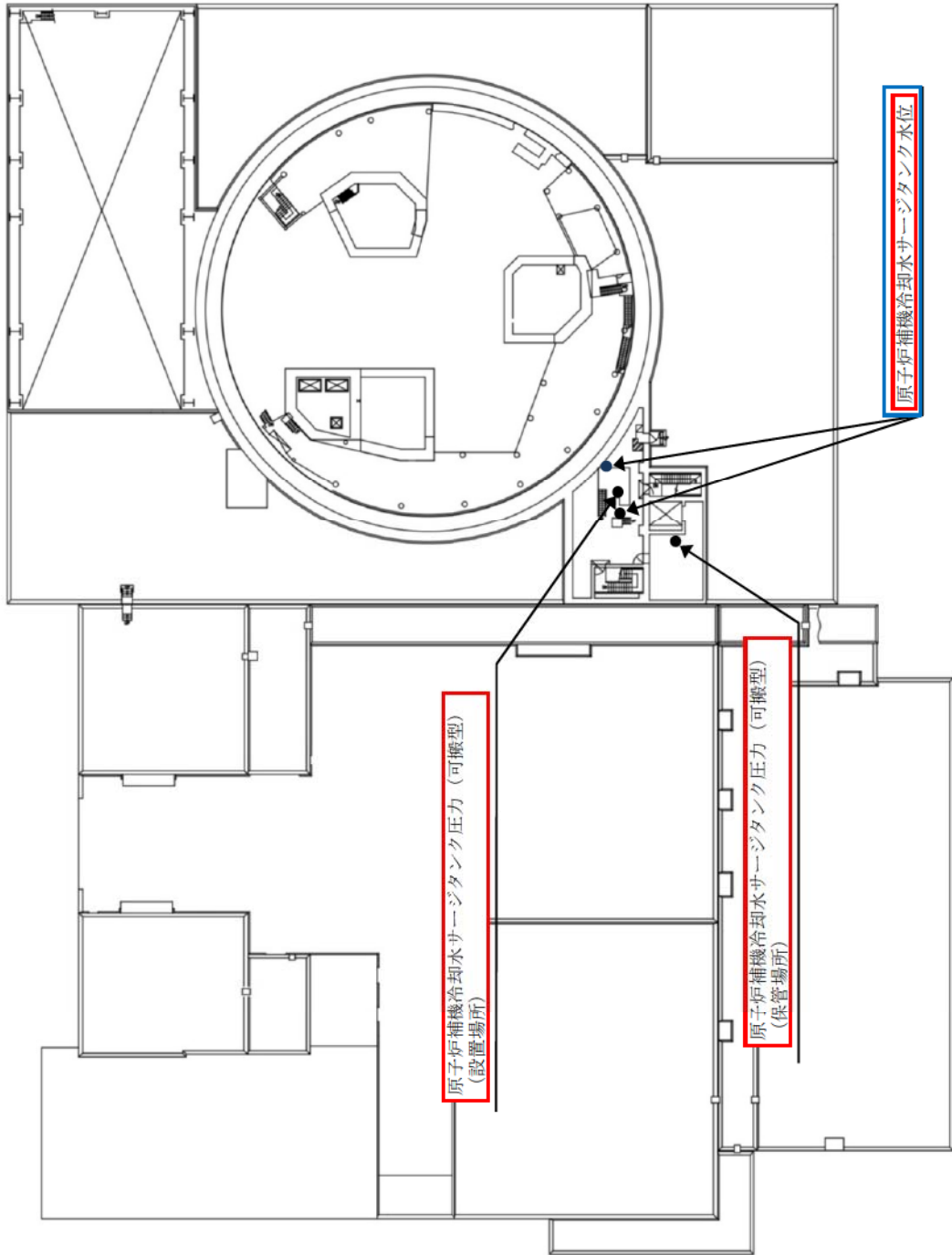
格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)



格納容器内温度

格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)

T. P. 40.3m



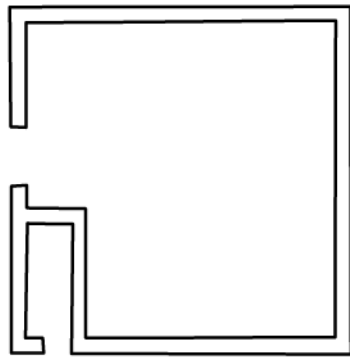
T. P. 43. 6m

原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)
(保管場所)

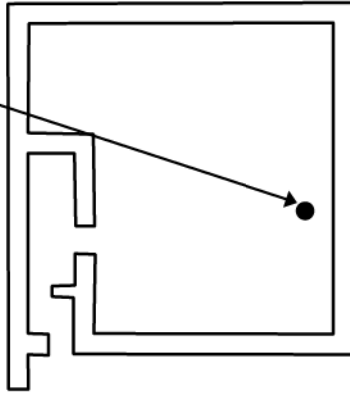
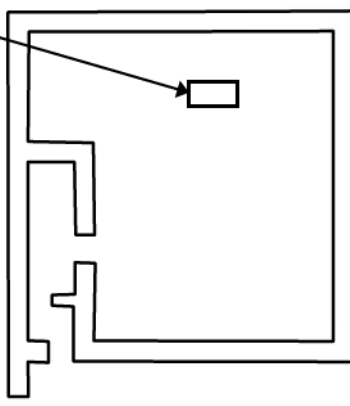
可搬型計測器 (保管場所)

可搬型温度計測装置 (保管場所)

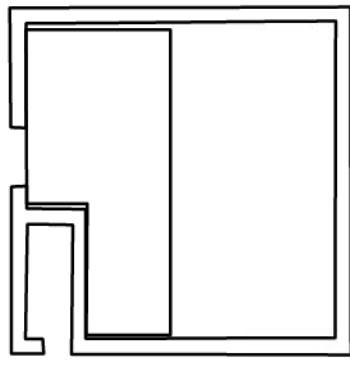
データ表示端末



緊急時対策所
待機所



緊急時対策所
指揮所



5 8 - 3 試驗・検査説明資料

|

旭富電研3号機 点検計画

機種又は機名	製造家(機種名)	検査の重要度	点検及び試験の項目	検査方式又は検査	検査名	備考 (○内は適用する設備品等以外)	
計測制御系装置 【制御用空気設備】	3V-0P-003B 3 B-制御用空気設備中間弁調整安全弁 3V-0D-005A 3 A-制御用空気弁制御下レンセバレータ安全弁 3V-0P-005B 3 B-制御用空気弁制御下レンセバレータ安全弁 3V-0D-004A 3 A-制御用空気弁調整安全弁 3V-0P-006B 3 B-制御用空気弁調整安全弁 その他機種 1式 原子炉保護系ロッキング回路 28回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路 原子炉安全系ロッキング回路 27回路	高	燃焼・柱状試験 分解点検 (燃焼品交換他)	1.3M 1.3M	85 1次深安全弁検査 85 1次深安全弁検査		
		高	弁重調えい試験 燃焼・柱状試験	1.3M 2.6M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	分解点検 弁重調えい試験	2.9M 2.1M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	燃焼・柱状試験 分解点検	2.6M 2.6M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	燃焼・柱状試験 分解点検	2.6M 2.6M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	燃焼・柱状試験 分解点検	7.8M 7.8M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	燃焼・柱状試験 分解点検	7.8M 7.8M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	燃焼・柱状試験 分解点検	7.8M 7.8M	86 1次深安全弁検査 86 1次深安全弁検査		
		高	弁重調えい試験 分解点検	7.8M 1.3M~ 1.56M	86 1次深安全弁検査 IC	33 安全弁調整系機能検査	
		高	特性試験	1.3M	34 安全弁調整系設定値確認検査	一部定期点検	
		高	特性試験	1.3M	35 プラント状態監視設備機能検査 36 プラント状態監視設備機能検査	加圧器水位 原子炉格納容器圧力 蒸気発生器水位(領域) 主蒸気ライン圧力	
		高	特性試験	1.3M	71 制御系調整設備検査		
高	特性試験	1.3M	72-1 制御系調整設備機能検査 (その1)		・一部先行点検 ・一部定期点検		
高	特性試験	1.3M	72-2 制御系調整設備機能検査 (その2)				
高	特性試験	1.3M	72-3 制御系調整設備機能検査 (その3)		一部先行点検		
高	特性試験	1.3M	105 燃料設備機能検査		一部定期点検		
高	燃焼・柱状試験	IC	106 燃料設備機能検査				
高	特性試験	1.3M	108 制御系調整設備機能検査				
高	特性試験	7.8M	109 炉内計測用シンプルチューブ体積検査				

北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書

設 備 名 : 計測制御系統設備
検 査 名 : 安全保護系設定値確認検査
要領書番号 : HT 3 - 3 4

旭富電研3号機 点検計画

機種又は機名	製造家(商標名)	保全の重要度	点検及び修繕の項目	保全方式又は型式	検査名	備考 (○内は適用する設備を指す)
計測制御系装置 【制御用空気設備】	3V-0P-003B 3 B—制御用空気圧縮機中間弁調整安全弁	高	燃焼・性能検査	1.3M	85 1次深安全弁検査	
	3V-0D-005A 3 A—制御用空気弁制御下レンセバレータ安全弁	高	分解点検 弁重調えい検査	1.3M	85 1次深安全弁検査	
		高	燃焼・性能検査	2.6M	85 1次深安全弁検査	
	3V-0D-005B 3 B—制御用空気弁制御下レンセバレータ安全弁	高	分解点検	2.6M	85 1次深安全弁検査	
		高	燃焼・性能検査	2.6M	85 1次深安全弁検査	
	3V-0D-004A 3 A—制御用空気ため安全弁	高	燃焼・性能検査	7.8M	85 1次深安全弁検査	
		高	弁重調えい検査	7.8M	85 1次深安全弁検査	
	3V-0D-006B 3 B—制御用空気ため安全弁	高	燃焼・性能検査	7.8M	85 1次深安全弁検査	
		高	分解点検	7.8M	85 1次深安全弁検査	
	その他機種	1式	高	分解点検 他	1.3M~ 1.56M	
1式 工場の設備系ローリング回高 2.8回高 工場外安全設備のローリング回高 2.7回高 また、1.リ、工業用圧縮機等の仕様 異なる仕様があるため、点検 項目は必ずしも共通ではない ての点検項目及び保修理費 (1) 1次弁調整等計画調整 伝送路 5.2回 配定時(空運転時含む) 1.36回 2.4回 現場における重要点検項目 (1) 1次弁調整等計画調整 伝送路 8回		高	燃焼・性能検査	1C	33 安全保護系機能検査	
計測制御系装置 【その他設備】	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	34 安全保護系設定値確認検査	一部は検出動作
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	35 プラント状態監視装置機能検査	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	燃焼・性能検査	1C	36 プラント状態監視装置機能検査	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	燃焼・性能検査	1C	71 制御系監視装置機能検査	1次冷却内温度(広域-高温側) 1次冷却内圧力(広域) 格納容器再循環サンプ水位(広域) 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 補助給水流速 蒸気発生器水位(広域) 補助取付管用水ピペット水位 ほうげタンク水位 補助給水ピペット水位
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	72-1 制御系監視装置機能検査(その1)	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	72-2 制御系監視装置機能検査(その2)	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高・低	特性試験	1.3M	72-3 制御系監視装置機能検査(その3)	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	105 検計器機能検査	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	燃焼・性能検査	1C	106 検計器機能検査	
	制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	1.3M	108 制御系監視装置機能検査	
制御系監視装置 安全監視装置 1音	高	特性試験	7.8M	109 制御系監視装置機能検査		

北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書

設 備 名: 計測制御系統設備
検 査 名: プラント状態監視設備機能検査
要領書番号: HT 3-35

試計-17

沼津製鉄所3号機 点検計画

検査又は点検名	実施者(別冊名)	留意点	点検及び点検の項目	検定方式又は期日	検査名	備考 (0以内は該当する設備部材仕様)
省エネルギー推進課 【沼津製鉄所3号機】	3A-00-005B 3 B-新製用空域冷却器中間冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 分解点検 (運転停止後)	1.3M	85 1次系安全弁検査	
	3A-00-005A 3 A-新製用空域冷却器トレンセペレータ安全弁	異常	弁蓋漏えい検査 機能・性能検査 分解点検 弁蓋漏えい検査	1.3M 2.6M 2.6M 2.6M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3B-00-005B 3 B-新製用空域冷却器トレンセペレータ安全弁	異常	機能・性能検査 分解点検	2.6M 2.6M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3A-00-006A 3 A-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 弁蓋漏えい検査	2.6M 2.6M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3B-00-006B 3 B-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 分解点検	2.6M 2.6M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3A-00-006A 3 A-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 弁蓋漏えい検査	7.8M 7.8M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3B-00-006B 3 B-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 分解点検	7.8M 7.8M	85 1次系安全弁検査 85 1次系安全弁検査	
	3A-00-006A 3 A-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 弁蓋漏えい検査	7.8M 1.3M~1.6M	85 1次系安全弁検査 33 安全保護装置定期検査	
	3B-00-006B 3 B-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査 分解点検 他	1.3M 1.3M	34 安全保護装置定期検査	一部定期点検後
	3C-00-006C 3 C-新製用空域冷却器安全弁	異常	機能・性能検査	1.3M	35 プラント長巻監視装置定期検査	
省エネルギー推進課 【その他の設備】	1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器 1次冷却器	異常	特性検査	1.3M	72-1 1次冷却器監視装置検査(その1)	1次冷却器温度(広域-高温側) 1次冷却器温度(広域-低温側) 加圧器水位 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(広域)
	2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器 2次冷却器	異常	特性検査	1.3M	72-2 2次冷却器監視装置検査(その2)	
	3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器 3次冷却器	異常	特性検査	1.3M	72-3 3次冷却器監視装置検査(その3)	
	4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器 4次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 4次冷却器監視装置検査	
	5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器 5次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 5次冷却器監視装置検査	
	6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器 6次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 6次冷却器監視装置検査	
	7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器 7次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 7次冷却器監視装置検査	
	8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器 8次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 8次冷却器監視装置検査	
	9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器 9次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 9次冷却器監視装置検査	
	10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器 10次冷却器	異常	特性検査	1.3M	105 10次冷却器監視装置検査	

北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書

設 備 名 : 計測制御系統設備
検 査 名 : 計測制御系監視機能検査 (その1)
要領書番号 : HT3-72-1

旭富電研3号機 点検計画

機殻又は設備名	製造家(商標名)	検査の重要度	点検及び試験の項目	検査方式又は検査	検査名	備考 (○内は適用する設備を印括弧外)
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	3V-0P-003B 3 B—制御用空気生搬機中間弁制御安全弁	高	燃焼・性能試験 分解点検 (消耗品交換他) 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験	1.3M 1.3M 1.3M 2.6M	85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査	
	3V-0D-005A 3 A—制御用空気冷却器下レンセバレータ安全弁	高	弁重畳えい試験 燃焼・性能試験	2.6M 2.6M	85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査	
	3V-0D-005B 3 B—制御用空気冷却器下レンセバレータ安全弁	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験	2.6M 2.6M	85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査	
	3V-0D-004A 3 A—制御用空気冷却器安全弁	高	燃焼・性能試験 分解点検	7.8M 7.8M	85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査	
	3V-0D-005B 3 B—制御用空気冷却器安全弁	高	燃焼・性能試験 分解点検	7.8M 7.8M	85-1次深安全弁検査 85-1次深安全弁検査	
	弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検 他	高	燃焼・性能試験 分解点検 他	1.3M~ 1.56M 1C	33 安全保護系機能検査	
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	34 安全保護系設定値確認検査 35 プランント状態監視等設備機能検査 35 プランント状態監視等設備機能検査	一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	71 制御制御系機能検査 72-1 制御制御系監視機能検査 (その1) 72-2 制御制御系監視機能検査 (その2) 72-3 制御制御系監視機能検査 (その3)	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	109 炉内計測用シンプルチューブ体検査 109 炉内計測用シンプルチューブ体検査	一部定期点検後
計測制御系統施設 【その他設備】	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	33 安全保護系機能検査	
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	34 安全保護系設定値確認検査 35 プランント状態監視等設備機能検査 35 プランント状態監視等設備機能検査	一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	71 制御制御系機能検査 72-1 制御制御系監視機能検査 (その1) 72-2 制御制御系監視機能検査 (その2) 72-3 制御制御系監視機能検査 (その3)	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	109 炉内計測用シンプルチューブ体検査 109 炉内計測用シンプルチューブ体検査	一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	109 炉内計測用シンプルチューブ体検査 109 炉内計測用シンプルチューブ体検査	一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査	一部定期点検後 一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	109 炉内計測用シンプルチューブ体検査 109 炉内計測用シンプルチューブ体検査	一部定期点検後
	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	高	燃焼・性能試験 弁重畳えい試験 燃焼・性能試験 分解点検	1.3M 1.3M 1.3M 7.8M	105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査 105 燃料系統機能検査	一部定期点検後 一部定期点検後

北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書

設 備 名：計測制御系統設備
検 査 名：計測制御系監視機能検査（その3）
要領書番号：HT3-72-3

汚染箇所3 別様 点検計画

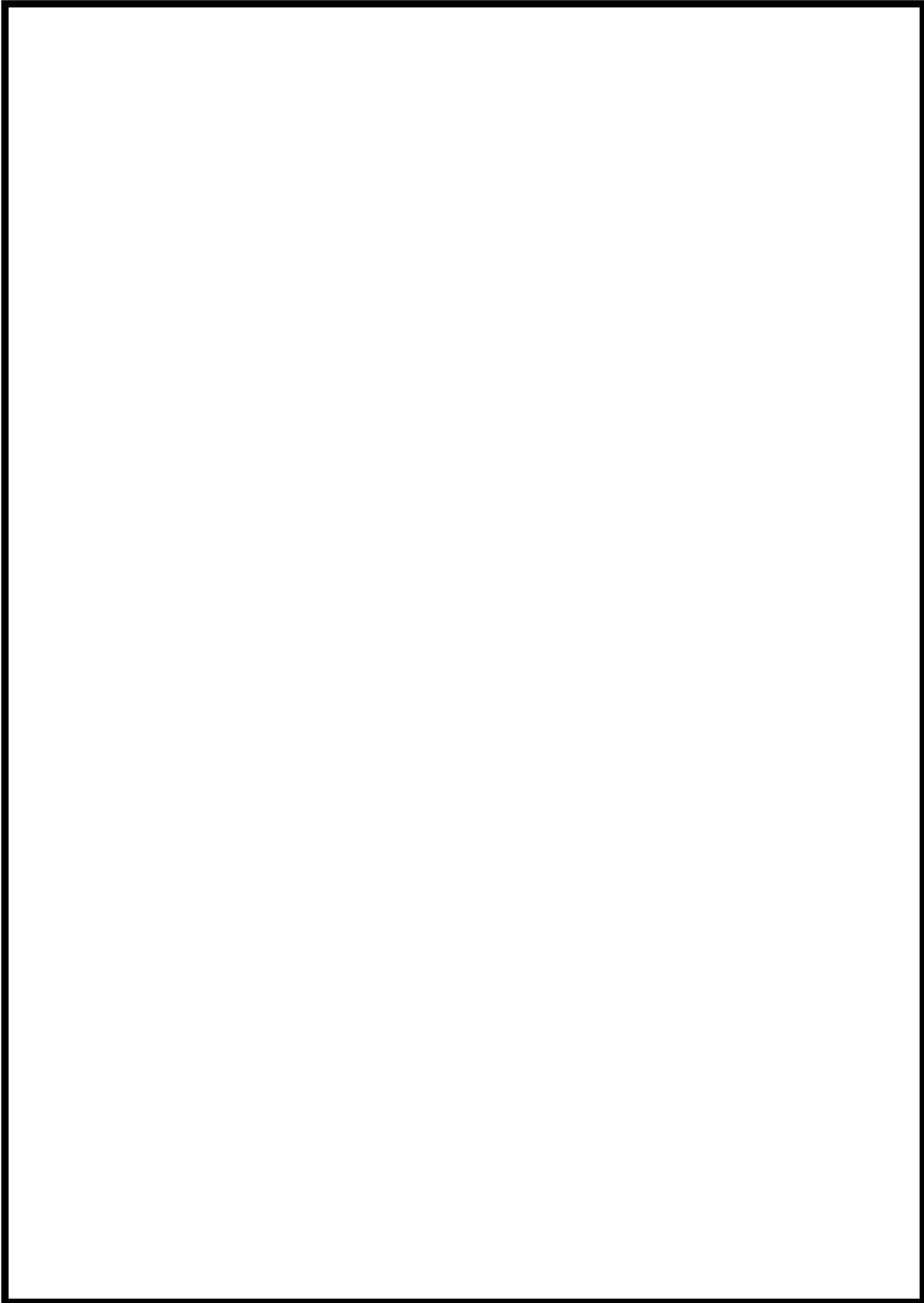
機器又は系統名	実施設 (機器名)	保全の重要度	点検及び試験の項目	検査式又は点検機	検査名	備考 (①内は適用する取得型計測器)	
液体汚染物の調査施設 【調査対象】 液体汚染物の調査施設 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備 液体汚染物の処理系設備	SRP15 3-1 液体汚染物処理系ポンプ	低	機能・性能試験 分解点検	7.8M 7.8M	96 液体汚染物処理系設備検査	先行点検 先行点検	
	SRP15M 3-1 液体汚染物処理系ポンプ用電動機	低	機能・性能試験 分解点検	1.17M 1.17M	96 液体汚染物処理系設備検査	先行点検 先行点検	
	SRP19 3-1 液体汚染物処理系ポンプ	低	機能・性能試験 分解点検	7.8M 7.8M	96 液体汚染物処理系設備検査	先行点検 先行点検	
	その他機器 1式	高・低	分解点検 他	1.2M~ 1.30M			
	放射能汚染物の調査施設 【調査対象】 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設	高	機能・性能試験 分解点検	1C	66	液体状の放射性汚染物の除去の除去装置及び 放射能汚染物検査	先行点検
	エアモニタ 1台	高	特性試験	1.3M	65 エリア・プロセスモニタ試験検査		
	プロセスモニタ 9台	高	特性試験	1.3M	65 エリア・プロセスモニタ試験検査		
	プロセスモニタ 2台	高	機能・性能試験	1C	65 エリア・プロセスモニタ試験検査		
	エアモニタ 1.4台 1.8台	高	特性試験 他	1.3M~ 1.30M	76 放射能監視装置検査		
	その他機器 1式	高	特性試験 他	1C	39 アニオクス精密検査装置検査	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	
放射能汚染物の調査施設 【調査対象】 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設 放射能汚染物の調査施設	アニオクス空気浄化装置 1式	高	機能・性能試験 ろ過試験	6Y	140 中央制御室空気清浄装置検査		
	放射能汚染物非汚染物分離装置 1式	高	ろ過試験	1.17M	77 1次系換気装置試験検査	先行点検または点検停止中	
	3D-Y3-051 3-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査	先行点検または点検停止中	
	3D-Y3-052A 3-A-1 放射能汚染物モニタ用装置	低	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査	先行点検または点検停止中	
	3D-Y3-053 3-B-1 放射能汚染物モニタ用装置	低	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査	先行点検または点検停止中	
	3D-Y3-053 3-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査		
	3D-Y3-054 3-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査		
	3D-Y3-053 3-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査		
	3D-Y3-051 3-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査		
	3D-Y3-055A 3-A-1 放射能汚染物モニタ用装置	高	機能・性能試験 分解点検	1.17M	77 1次系換気装置試験検査	先行点検または点検停止中	

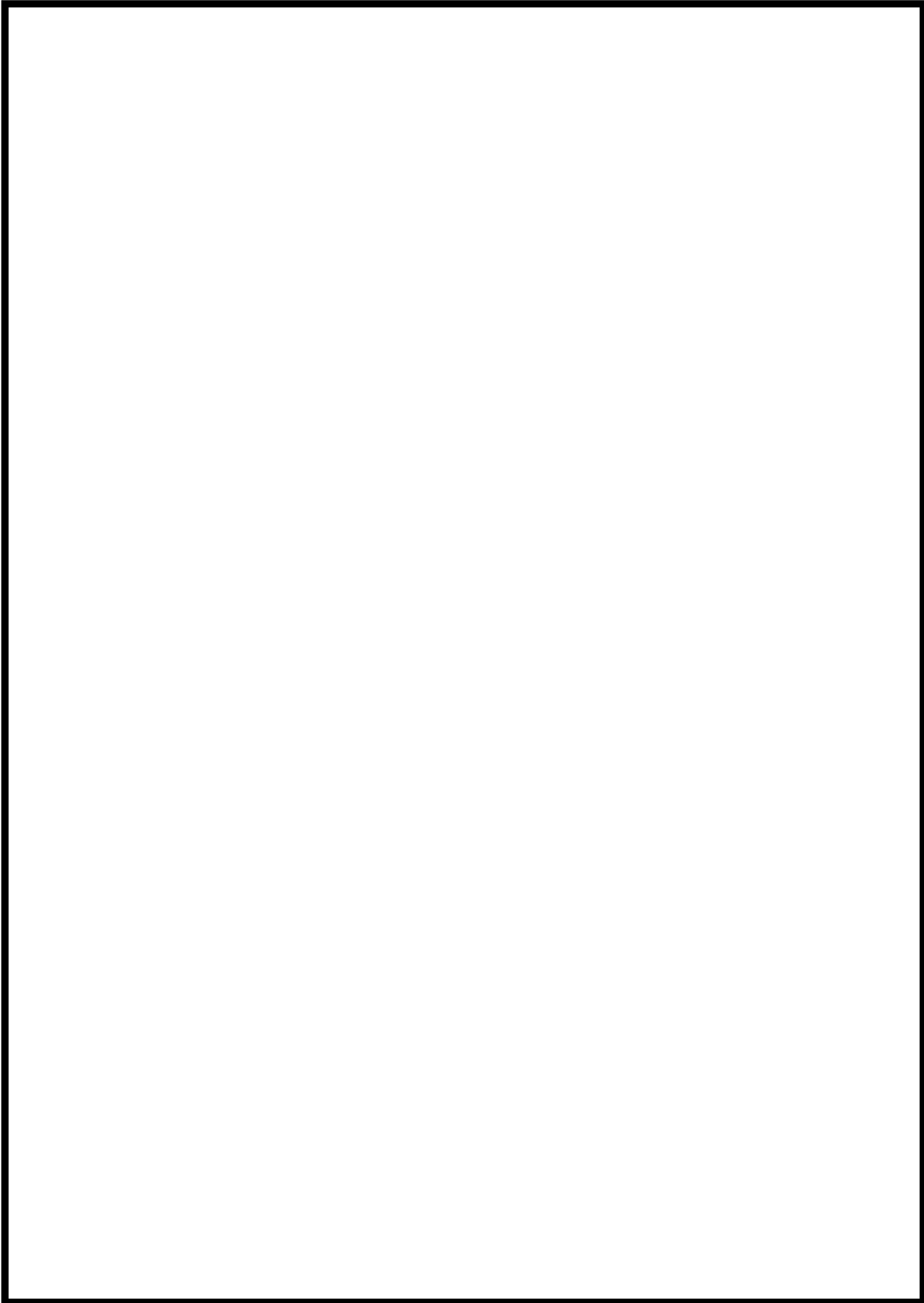
北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書


設 備 名：放射線管理設備
検 査 名：放射線監視装置機能検査
要領書番号：HT3-76

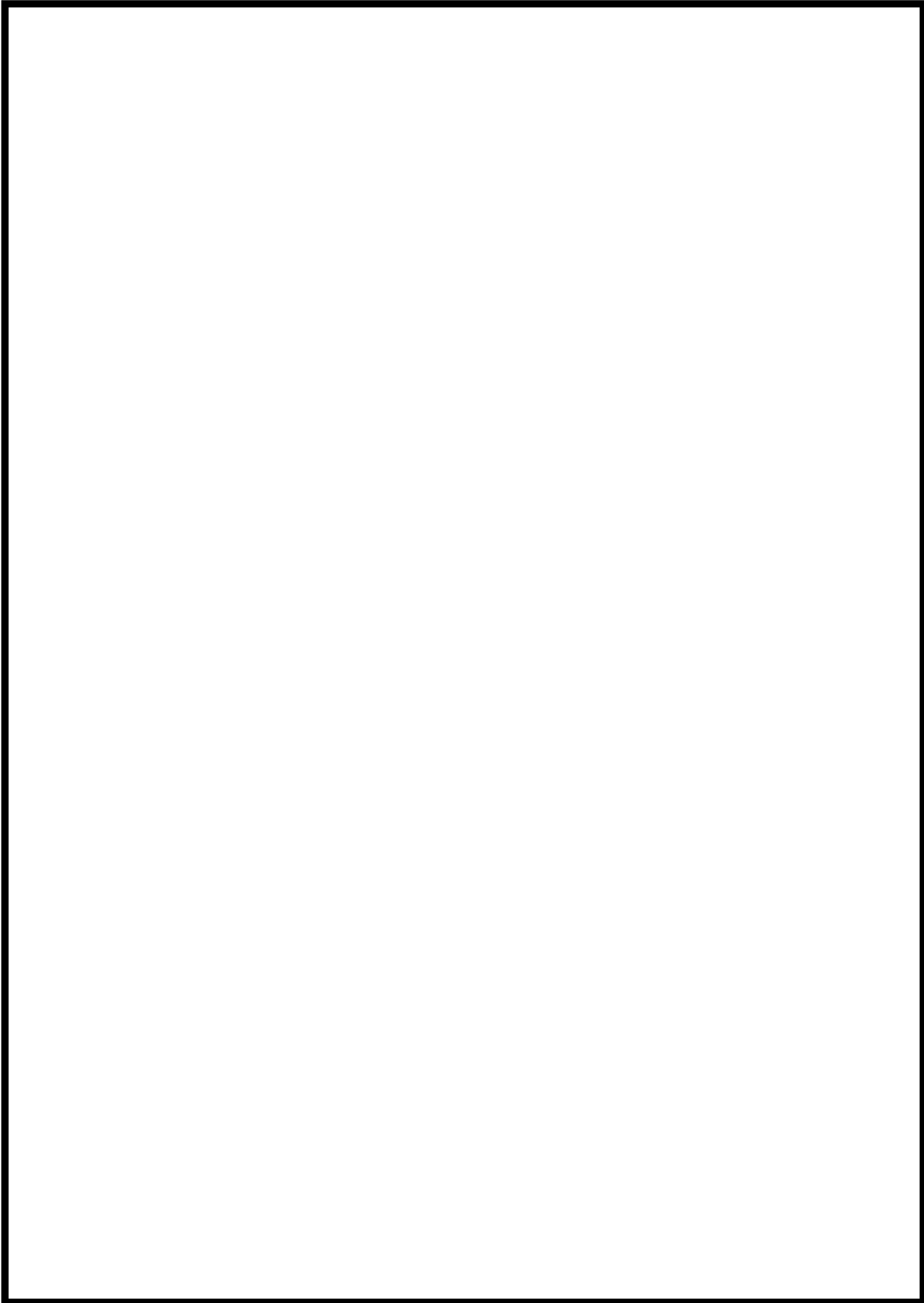
北海道電力株式会社 泊発電所
3号機 第2保全サイクル
定期事業者検査要領書

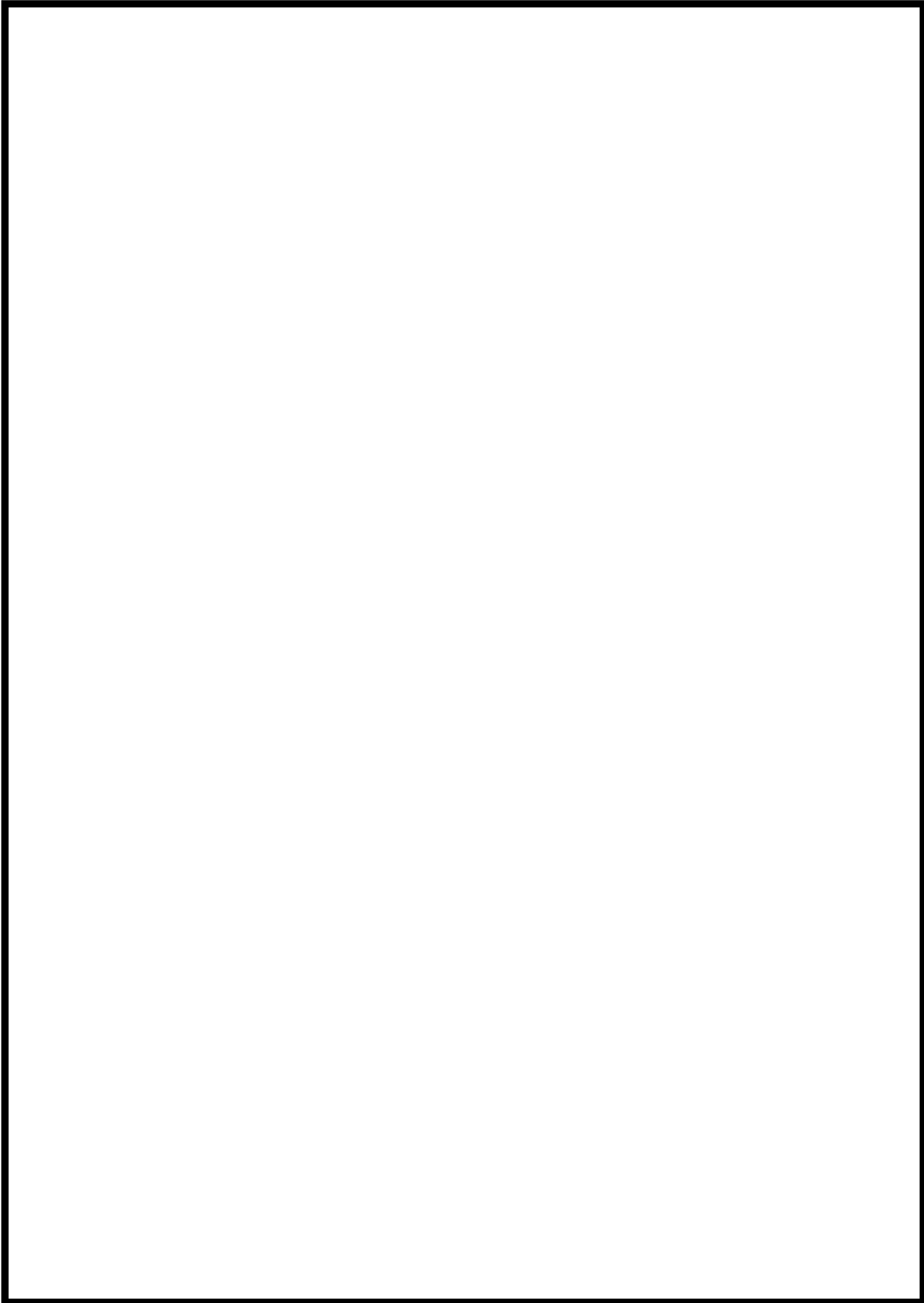
設 備 名 : 計測制御系統設備
検 査 名 : 核計装設備検査
要領書番号 : HT3-105

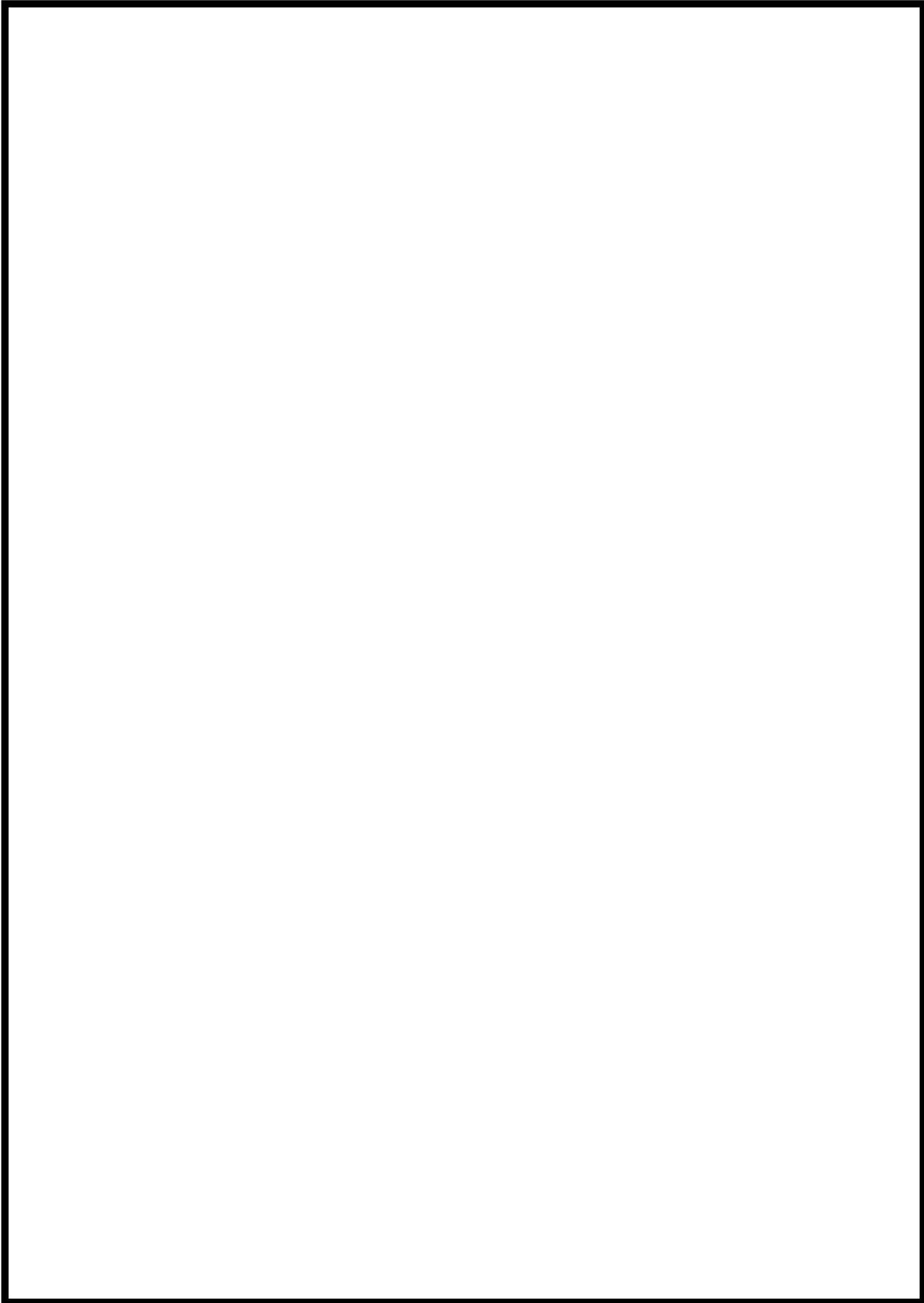


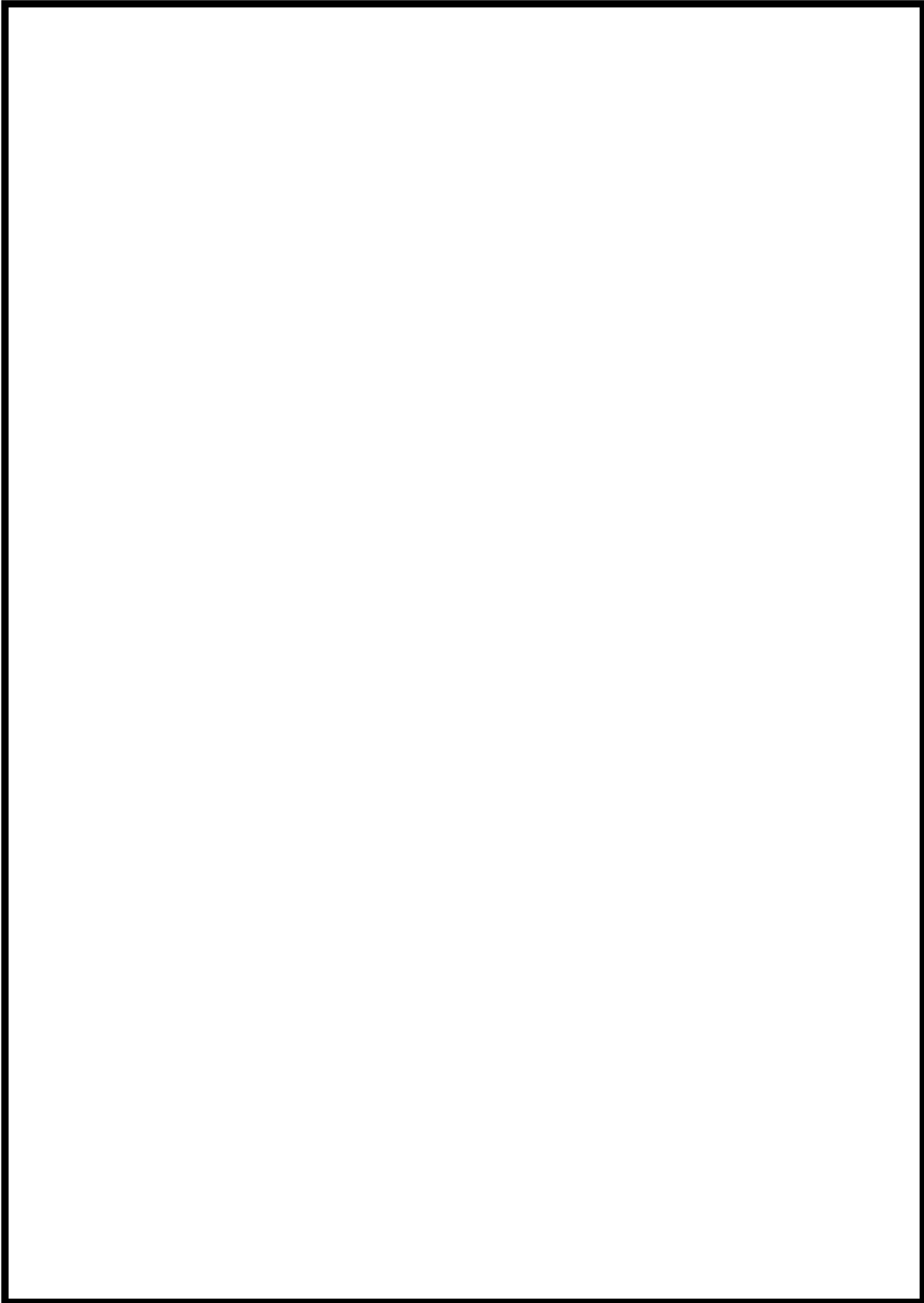


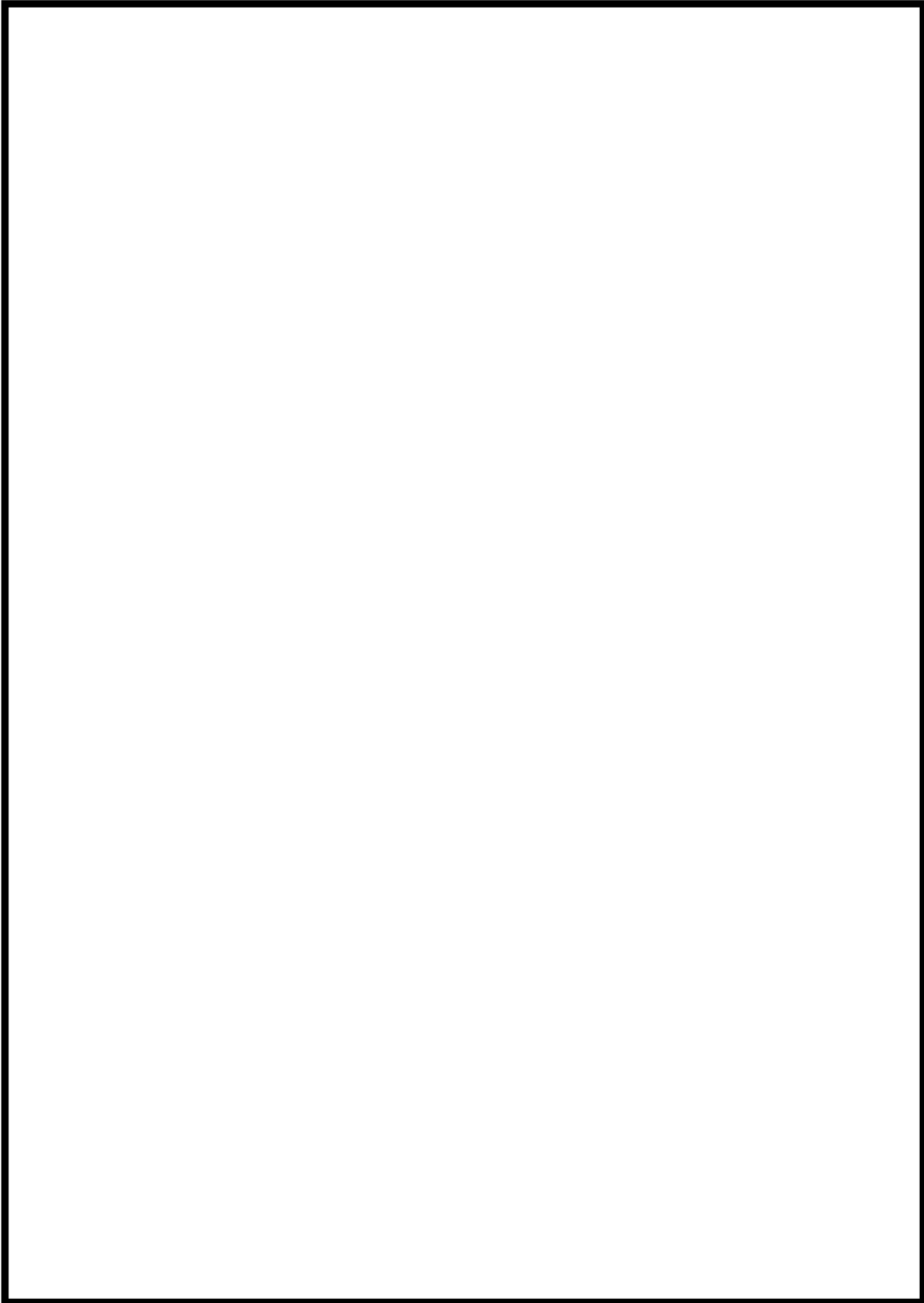
 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

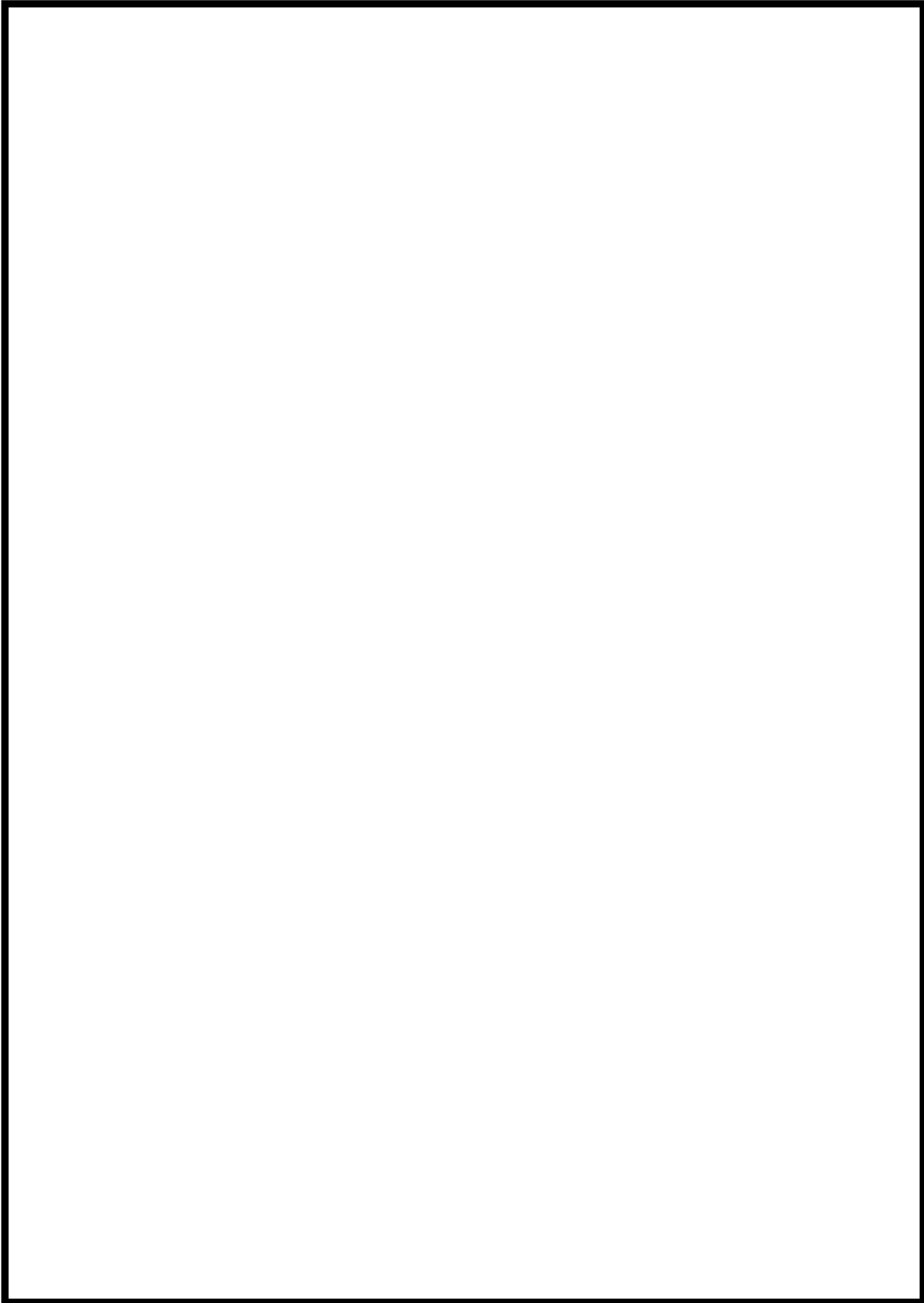





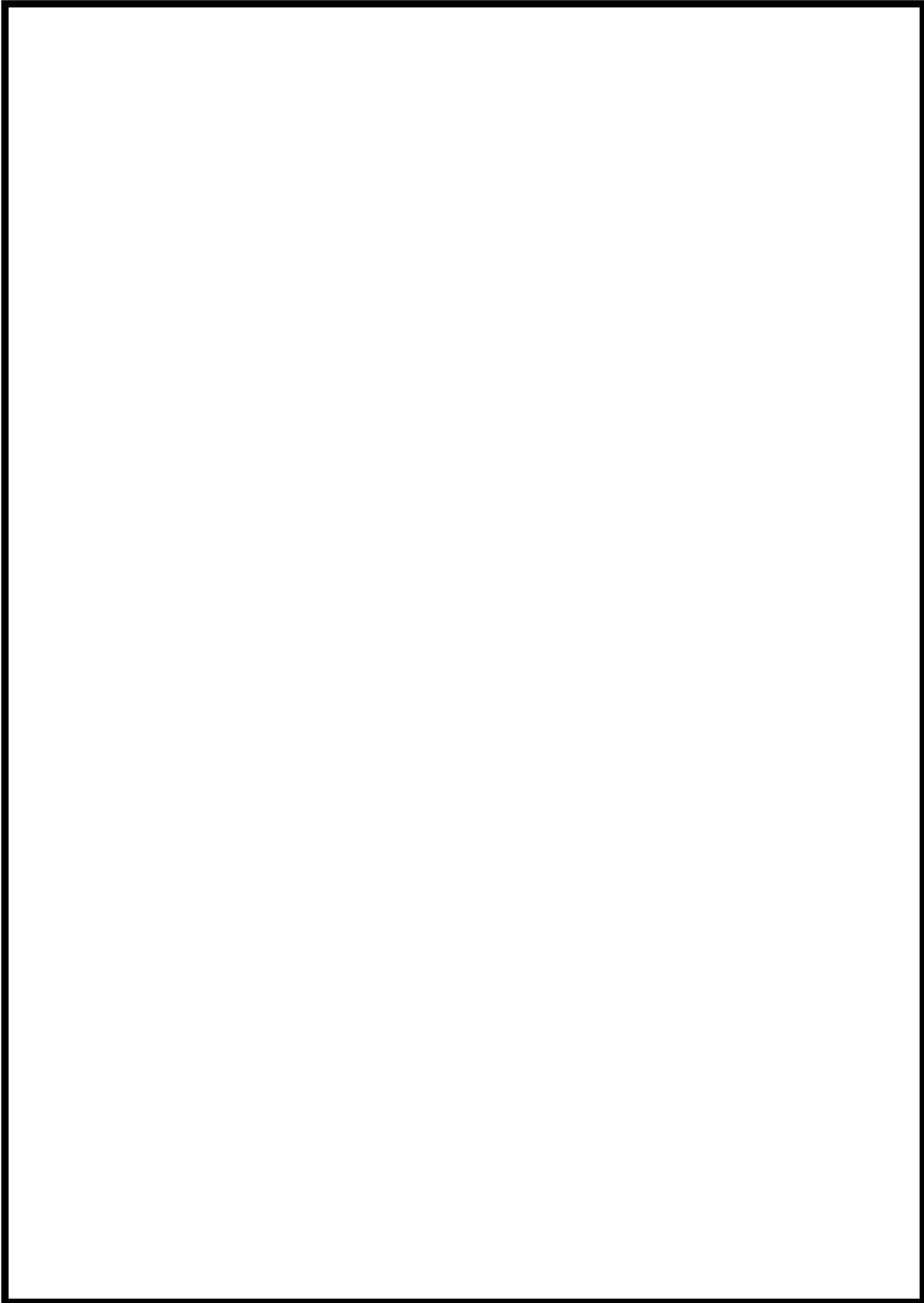


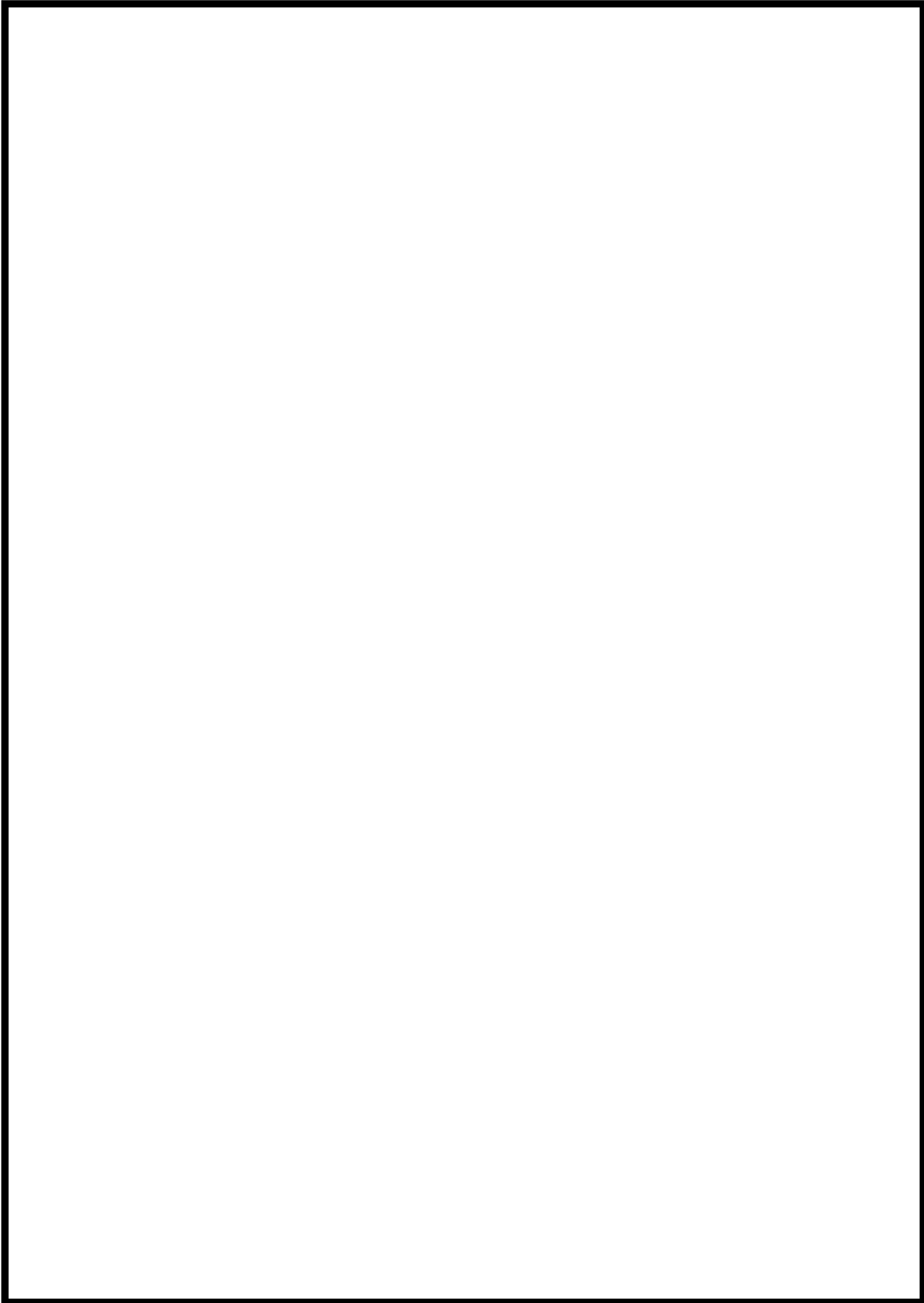


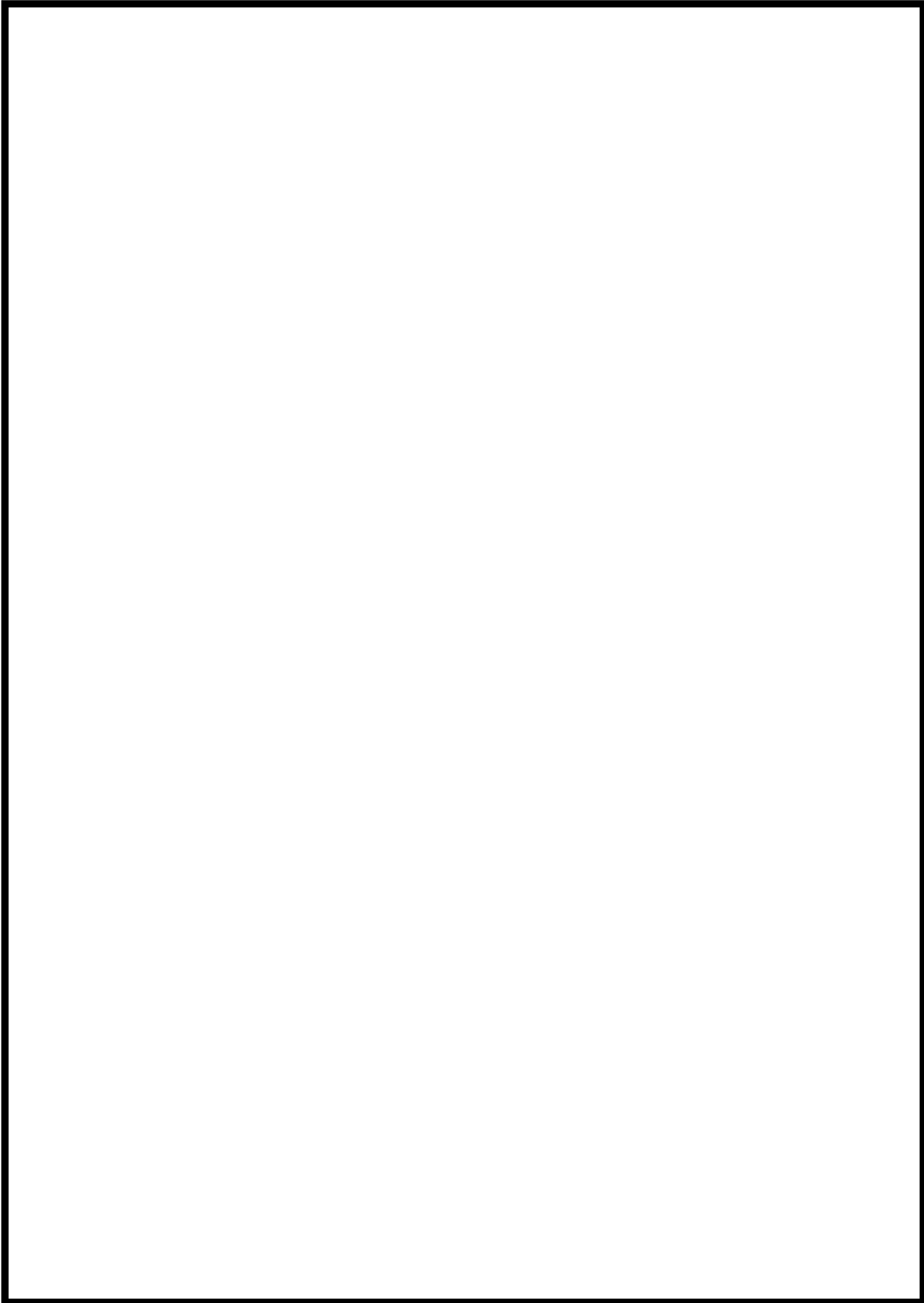


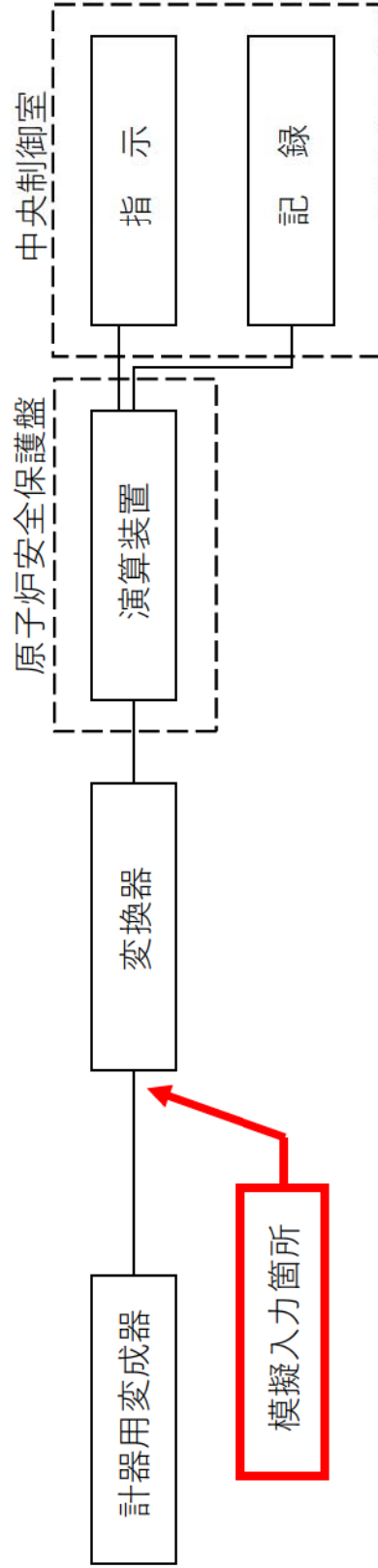


 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

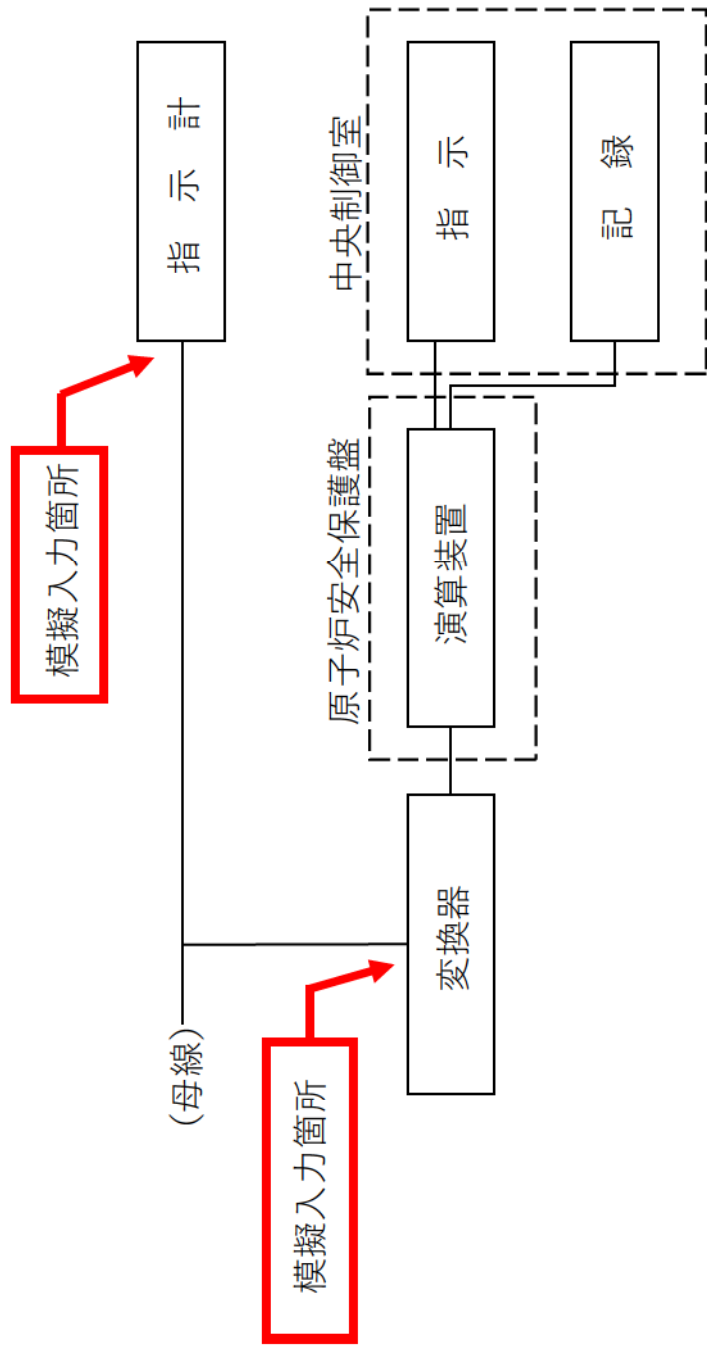




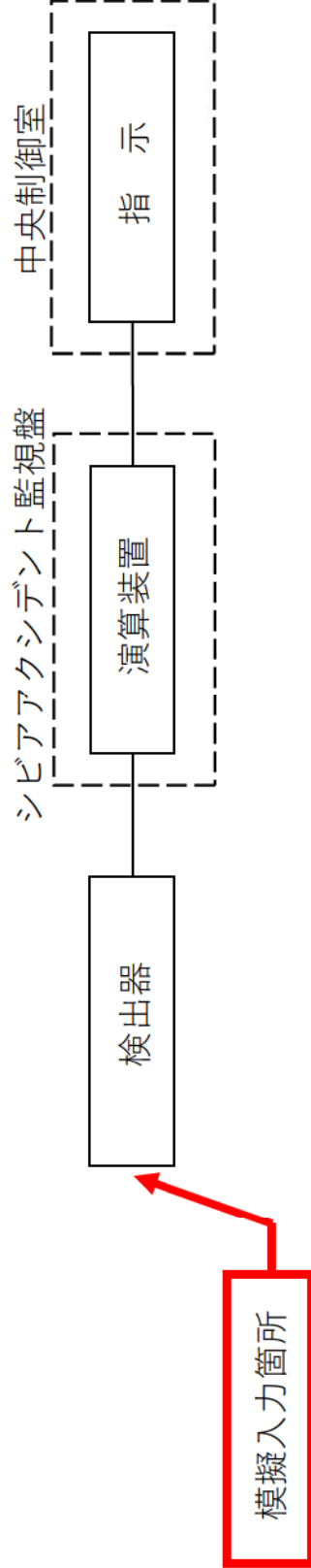




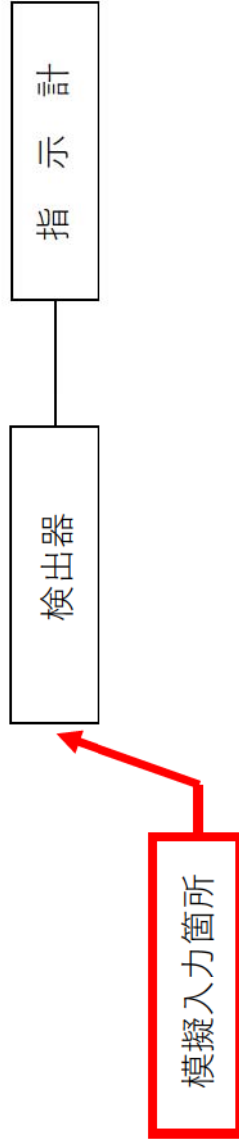
6 - A, B 母線電圧



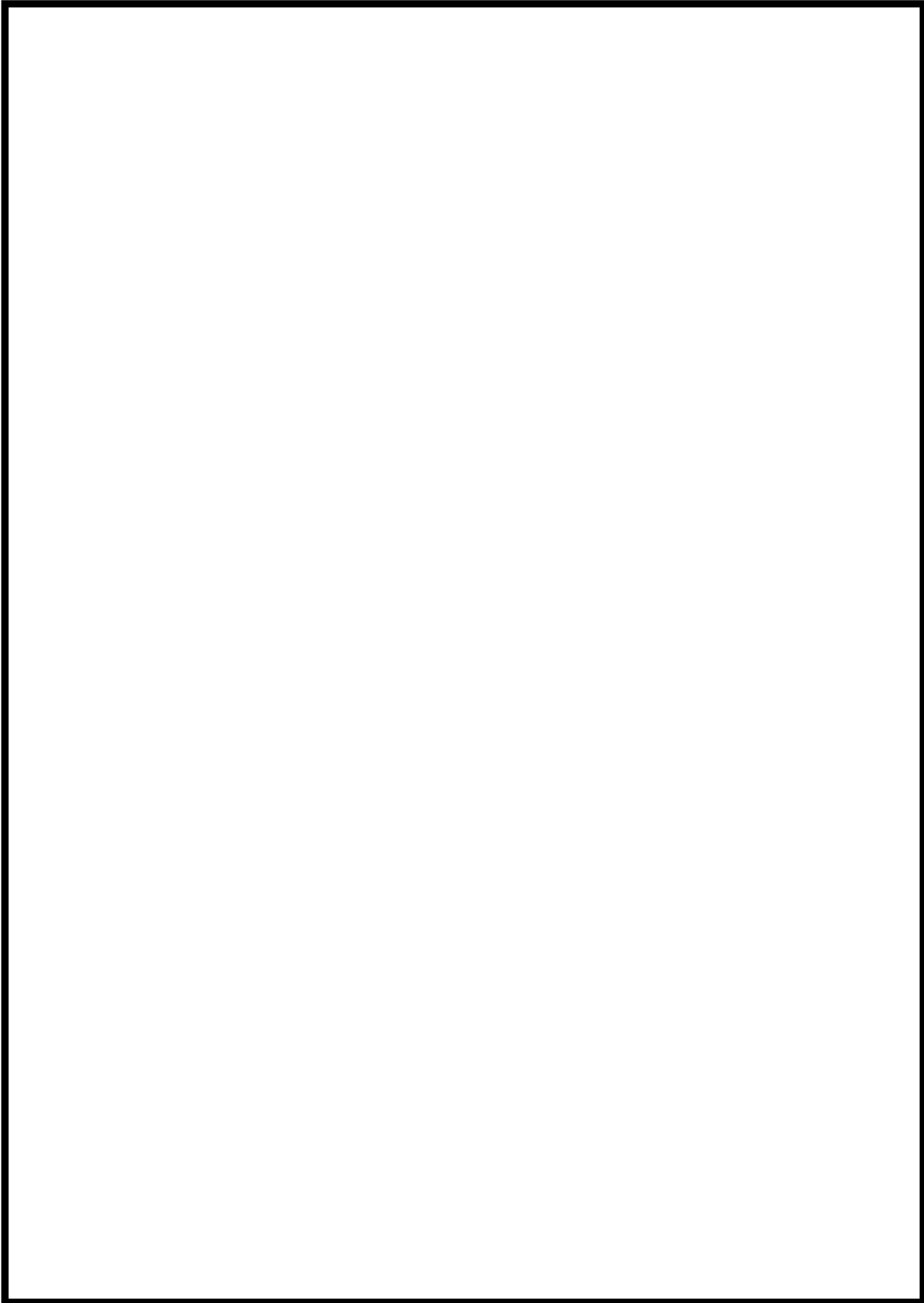
A, B一直流コントロールセンタ母線電圧

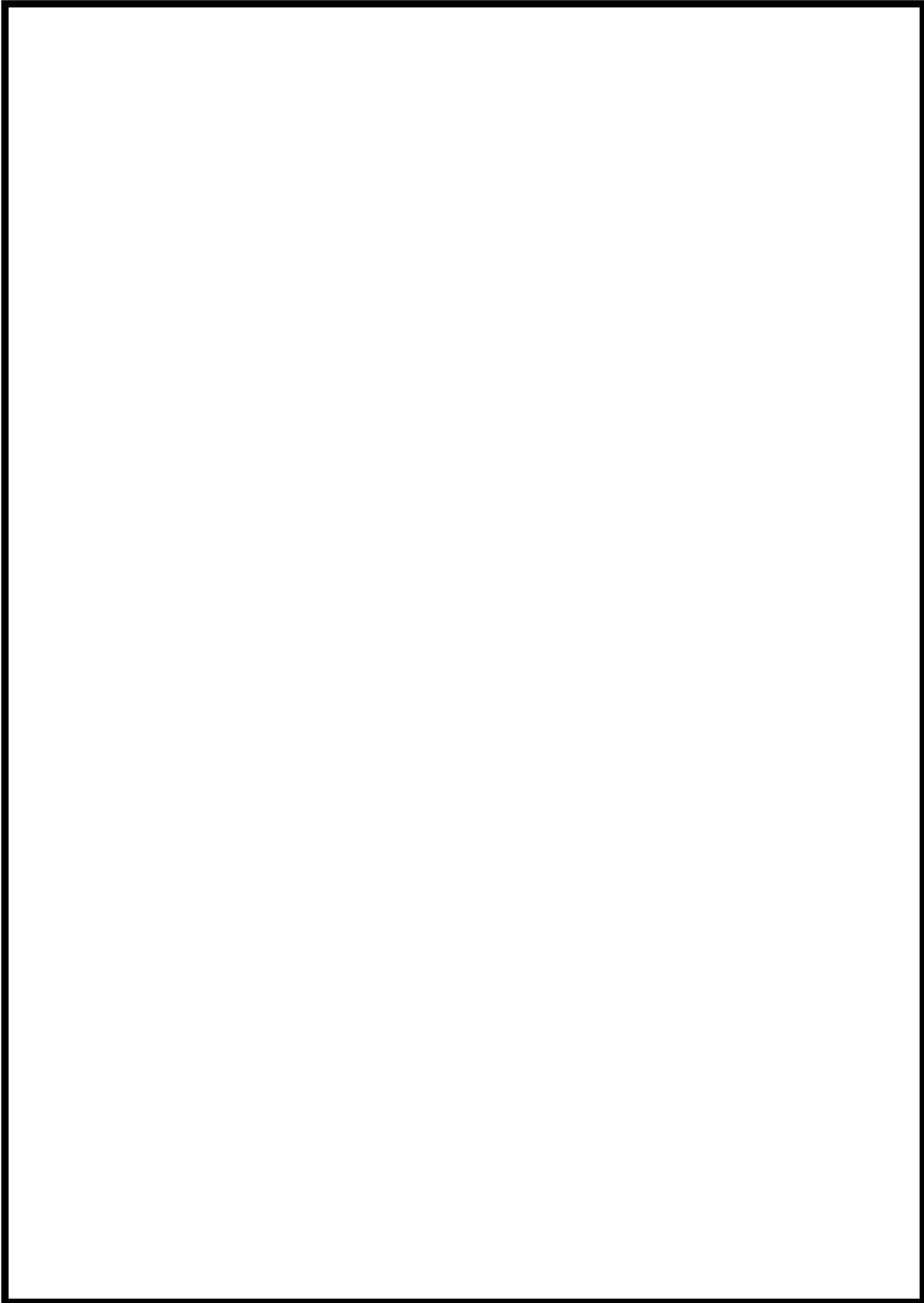


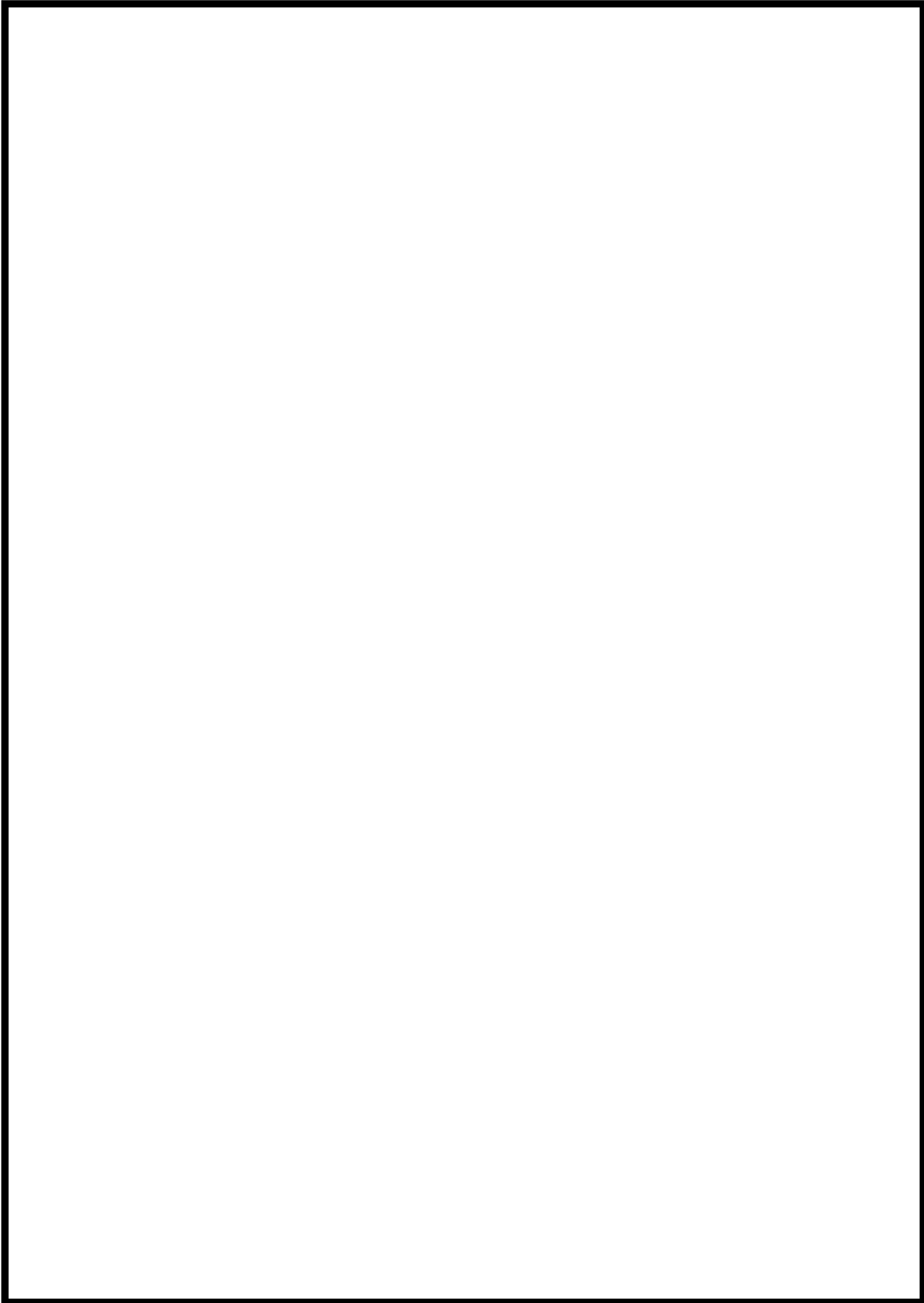
原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量
 原子炉補機冷却水供給母管流量

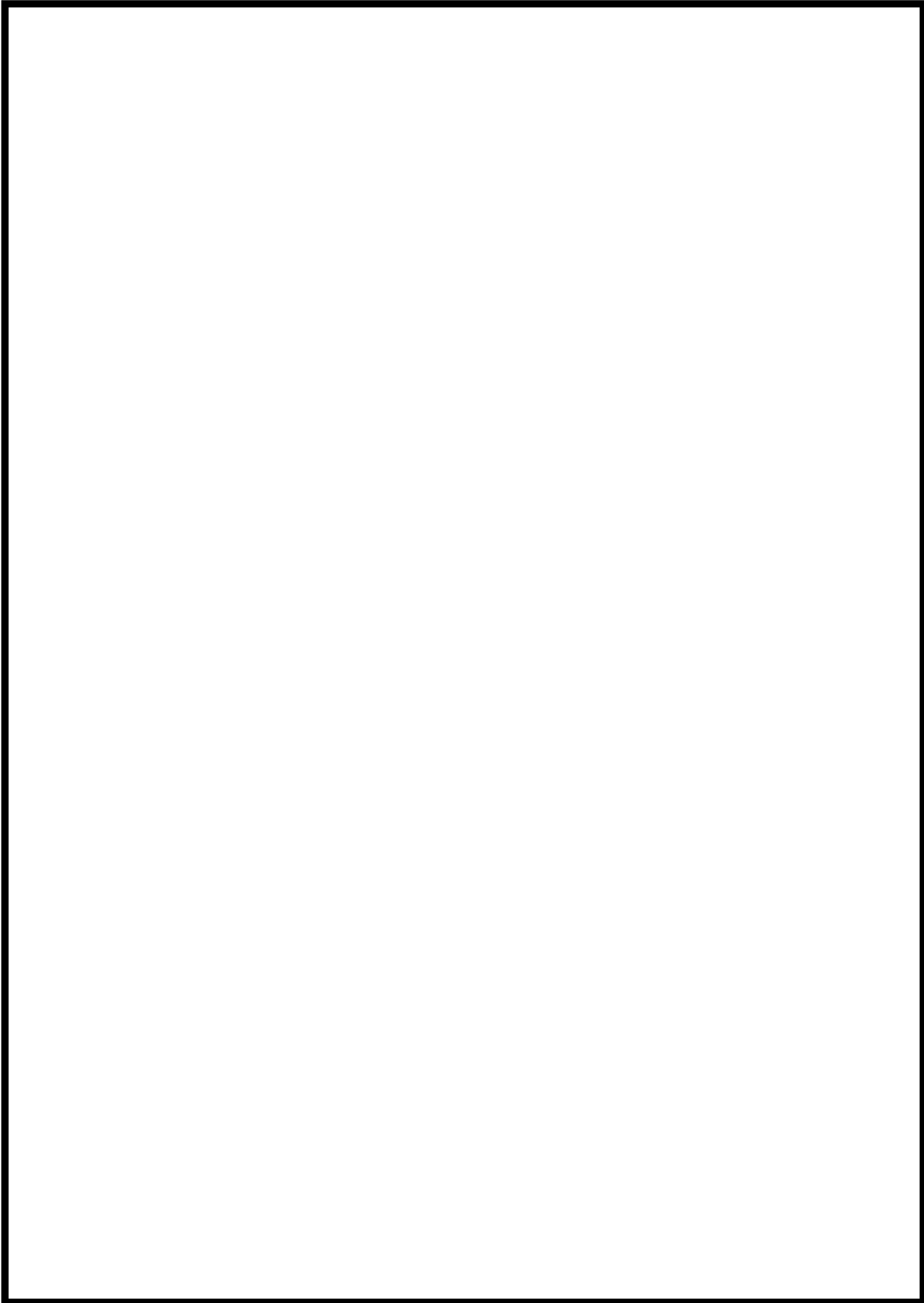


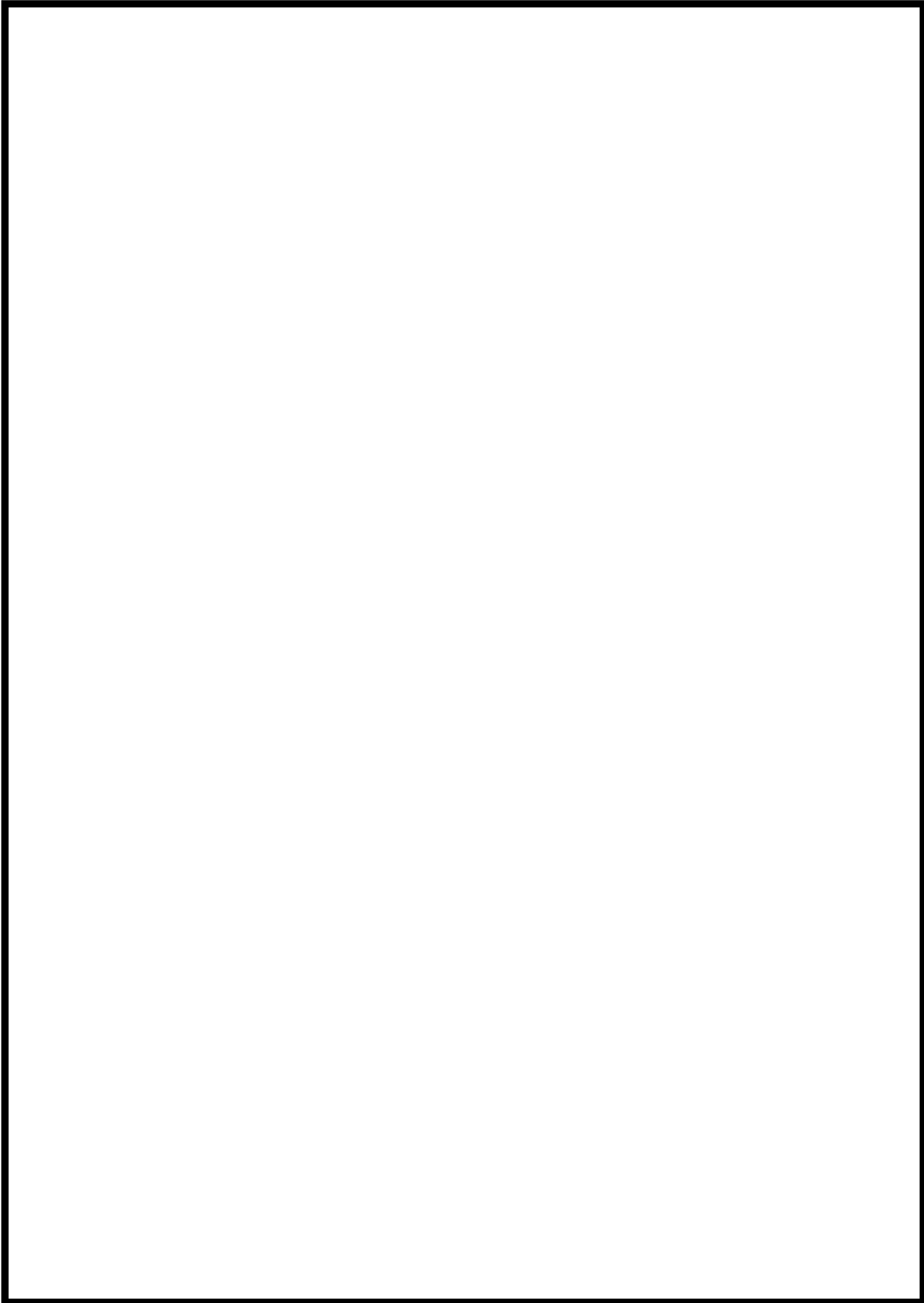
- A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量
- A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量

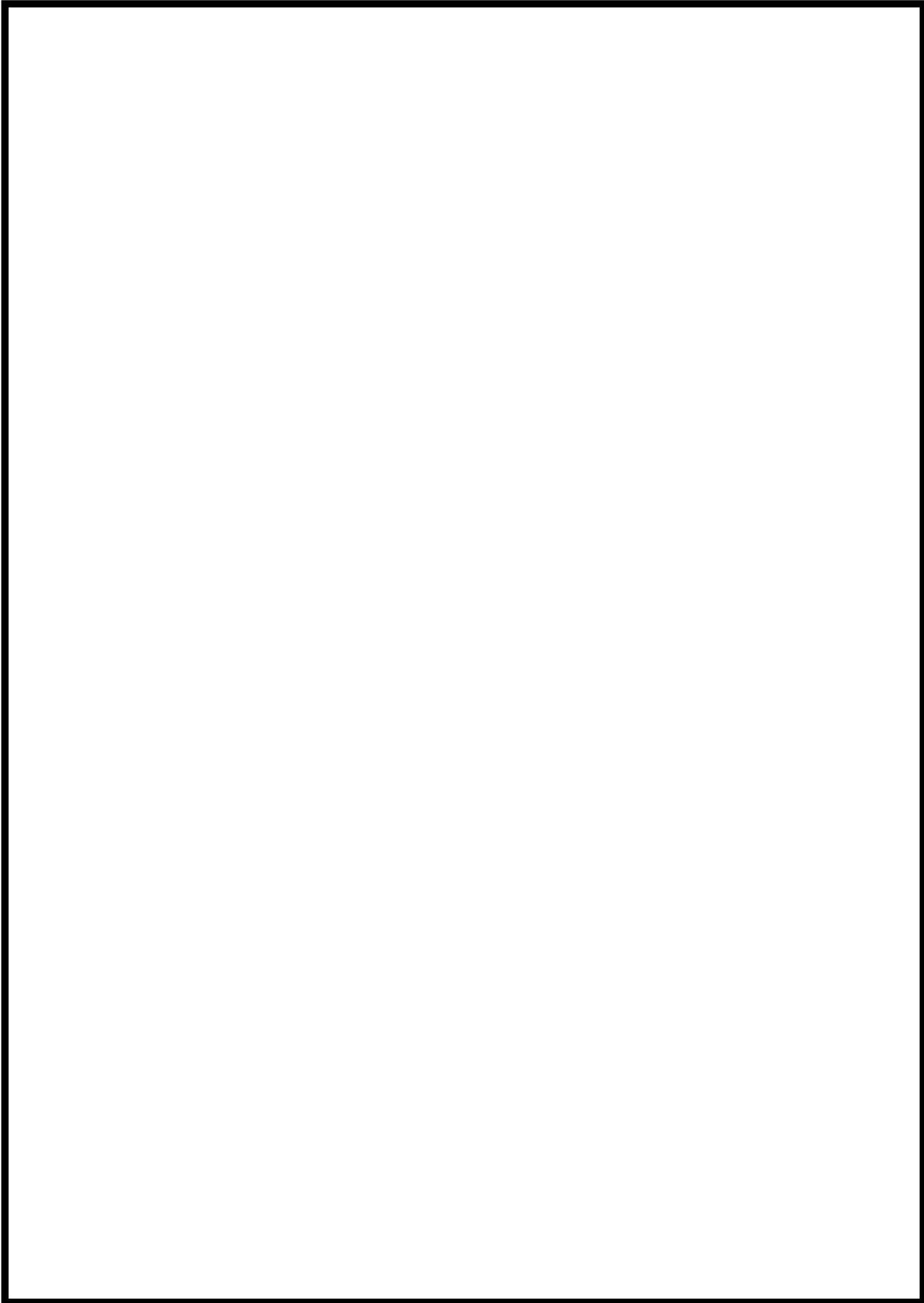






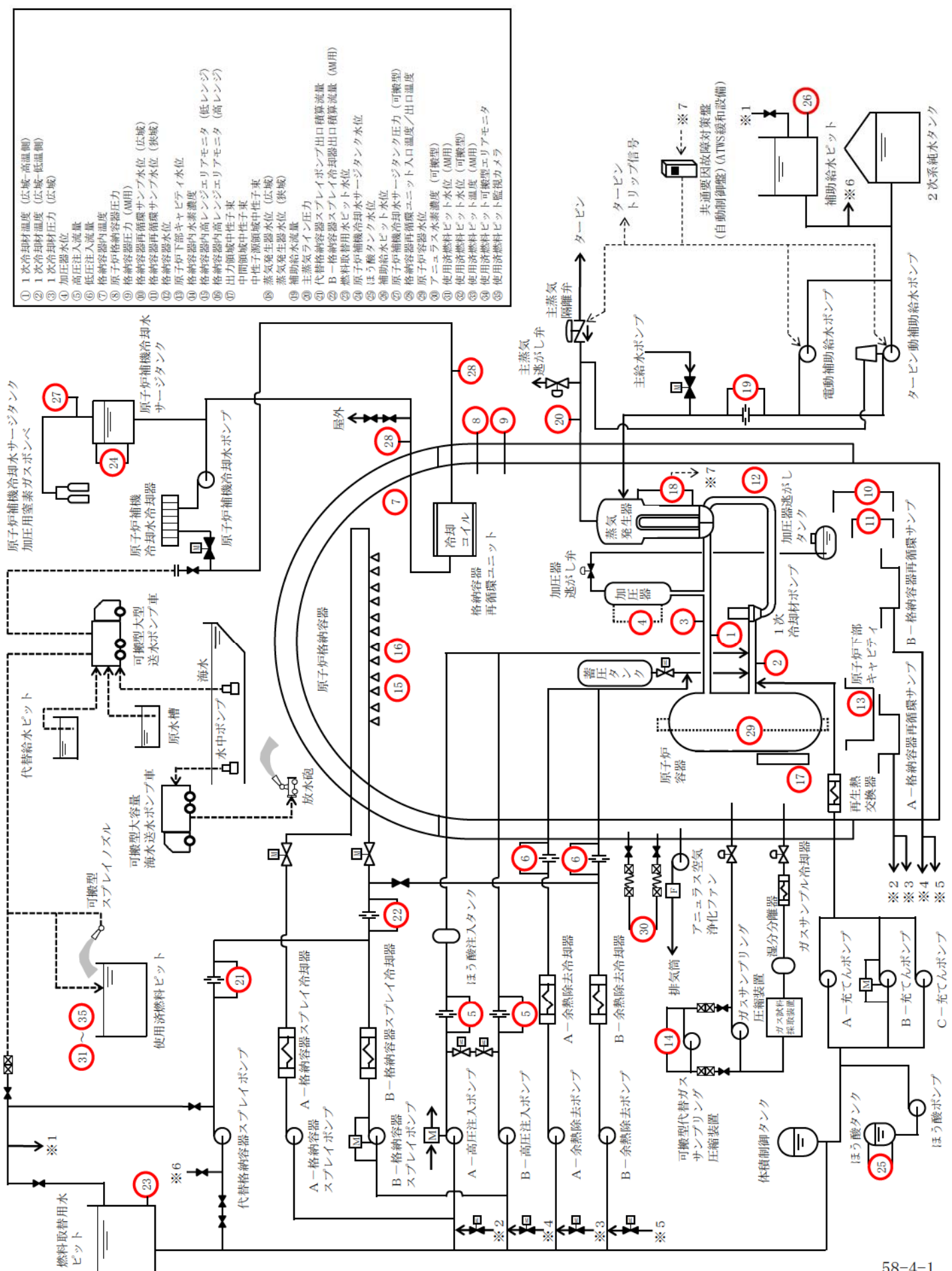






58-4 系統図

|



- ① 1次冷却材温度 (広域・高温側)
- ② 1次冷却材温度 (広域・低温側)
- ③ 1次冷却材圧力 (広域)
- ④ 加圧器水位
- ⑤ 高圧注入流量
- ⑥ 低圧注入流量
- ⑦ 格納容器内温度
- ⑧ 原子炉格納容器圧力
- ⑨ 格納容器圧力 (AMH)
- ⑩ 格納容器再循環サブ水位 (広域)
- ⑪ 格納容器再循環サブ水位 (狭域)
- ⑫ 格納容器水位
- ⑬ 原子炉下部キャビティ水位
- ⑭ 格納容器内水素濃度
- ⑮ 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)
- ⑯ 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)
- ⑰ 出力領域中性子束
- ⑱ 中間領域中性子束
- ⑲ 中性子源領域中性子束
- ⑳ 蒸気発生器水位 (広域)
- ㉑ 蒸気発生器水位 (狭域)
- ㉒ 補助給水流量
- ㉓ 主蒸気ライン圧力
- ㉔ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量 (AMH)
- ㉕ B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AMH)
- ㉖ 燃料取扱用水レベル
- ㉗ 原子炉補機冷却水サージタンク水位
- ㉘ ほう酸タンク水位
- ㉙ 補助給水レベル
- ㉚ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)
- ㉛ 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度
- ㉜ 原子炉容器水位
- ㉝ アニユラ水素濃度 (可搬型)
- ㉞ 使用済燃料ピット水位 (AMH)
- ㉟ 使用済燃料ピット水位 (可搬型)
- ㊱ 使用済燃料ピット温度 (AMH)
- ㊲ 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ
- ㊳ 使用済燃料ピット監視カメラ

58-5 計測範圍説明書

目 次

1. 概 要
2. 基本方針
 - 2.1 設計基準対象施設に関する計測
 - 2.2 重大事故等対処設備に関する計測
3. 計測装置の構成
 - 3.1 計測装置
 - 3.2 計測装置の計測結果の表示，記録及び保存
4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲
 - 4.1 計測装置の計測範囲
 - 4.2 計測装置の警報動作範囲

※本資料における については，防護上の観点又は商業機密を含むため公開できません。

1. 概要

本資料は、計測制御系統施設の以下の計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について説明する。

- (1) 中性子源領域中性子束，中間領域中性子束及び出力領域中性子束
- (2) 原子炉容器本体の入口の一次冷却材の圧力，温度又は流量（代替注水の流量を含む。）を計測する装置
- (3) 加圧器内の水位を計測する装置
- (4) 原子炉格納容器本体内の圧力，温度又は水素ガス濃度を計測する装置
- (5) 蒸気発生器内の水位を計測する装置
- (6) 主蒸気の圧力を計測する装置
- (7) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置
- (8) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置
- (9) 放射線管理用計測装置
- (10) その他、重大事故等の対応に必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測する装置

2. 基本方針

通常運転時，運転時の異常な過渡変化時並びに事故時において，プロセス量を計測して，その計測結果を中央制御室において監視する目的で以下に示す計測装置を設置する。また，重大事故等時において期待されるパラメータに対して，その計測結果を監視する目的で計測装置を設置する。

2.1 中性子源領域中性子束，中間領域中性子束及び出力領域中性子束

本計測装置は，炉心中性子束レベル（中性子源領域，中間領域及び出力領域）を計測して，その計測結果を中央制御室における表示，記録装置にて記録する目的で設置する。

2.2 原子炉容器本体の入口又は出口の1次冷却材の圧力，温度又は流量（代替注水の流量を含む。）を計測する装置

本計測装置は，1次冷却材圧力（広域），1次冷却材温度（広域－高温側），1次冷却材温度（広域－低温側）及び原子炉容器本体への注水流量（低圧注入流量，高圧注入流量，B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量）を計測して，その計測結果を中央制御室における表示，記録装置にて記録する目的で設置する。

2.3 加圧器内の水位を計測する装置

本計測装置は、加圧器水位を計測して、その計測結果を中央制御室において表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.4 原子炉格納容器本体内の圧力、温度又は水素ガス濃度を計測する装置

本計測装置は、原子炉格納容器圧力、格納容器圧力（AM用）、格納容器内温度及び格納容器内水素濃度を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.5 蒸気発生器内の水位を計測する装置

本計測装置は、蒸気発生器水位（狭域）及び蒸気発生器水位（広域）を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.6 主蒸気の圧力を計測する装置

本計測装置は、主蒸気ライン圧力を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.7 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

本計測装置は、低圧注入流量、高圧注入流量、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.8 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

本計測装置は、格納容器再循環サンプ水位（広域）及び格納容器再循環サンプ水位（狭域）を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録により監視する目的で設置する。

原子炉下部キャビティ水位は、溶融炉心の冷却に必要な水量があることを計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

格納容器水位は、格納容器内への注入量の制限レベルを計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.9 放射線管理用計測装置

本計測装置は、原子炉格納容器内の線量当量率（格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ）及び格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ））を計測して、その計測結果を中央制御室における表示、記録装置にて記録する目的で設置する。

2.10 その他，重大事故等の対応に必要なパラメータを計測する装置

本計測装置は，補助給水流量，燃料取替用水ピット水位，原子炉補機冷却水サージタンク水位，ほう酸タンク水位，補助給水ピット水位，アニュラス水素濃度，原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型），格納容器再循環ユニット入口／出口温度，使用済燃料ピット水位（AM用），使用済燃料ピット水位（可搬型），使用済燃料ピット温度（AM用），使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ，使用済燃料ピット監視カメラを計測して，その計測結果を中央制御室若しくは現場に表示又は指示し，記録する目的で設置する。

3. 計測装置の構成

重大事故等対処設備に関する計測装置の検出器から計測結果の指示又は表示，記録及び警報装置にいたるシステム構成を設計基準対象施設も含め「3.1 計測装置」に示す。

設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の計測装置による計測結果の表示，記録及び保存については，「3.2 計測装置の計測結果の表示，記録及び保存」にとりまとめる。

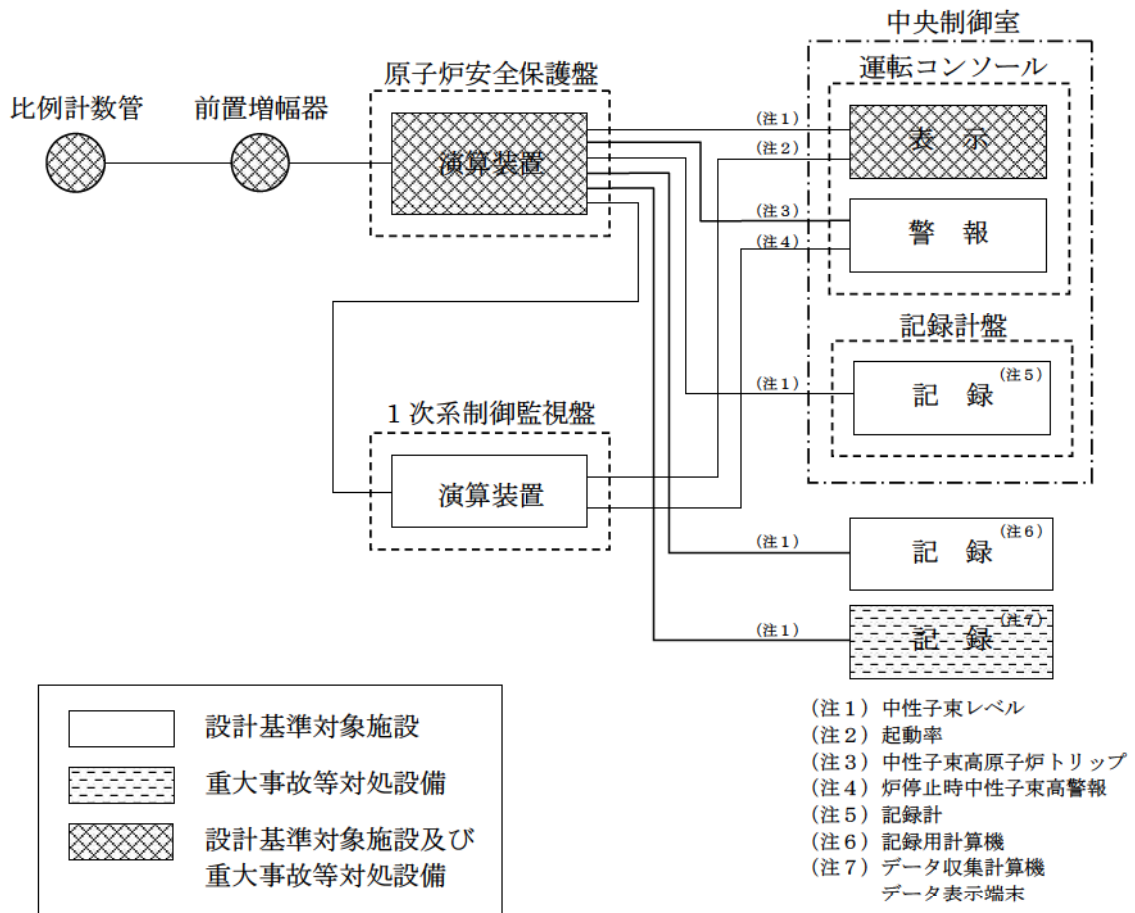
3.1. 計測装置

3.1.1. 中性子源領域中性子束，中間領域中性子束及び出力領域中性子束

a. 中性子源領域中性子束

中性子源領域中性子束は，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており，中性子源領域中性子束の検出信号は，比例計数管からのパルス信号を前置増幅器で増幅し，原子炉安全保護盤内の演算装置にて中性子束レベル信号へ変換する処理を行った後，中性子束レベルを中央制御室に表示し，記録及び保存する。記録及び保存については，「3.2 計測装置の計測結果の表示，記録及び保存」に示す。

(第1図「中性子源領域中性子束の概略構成図」参照。)

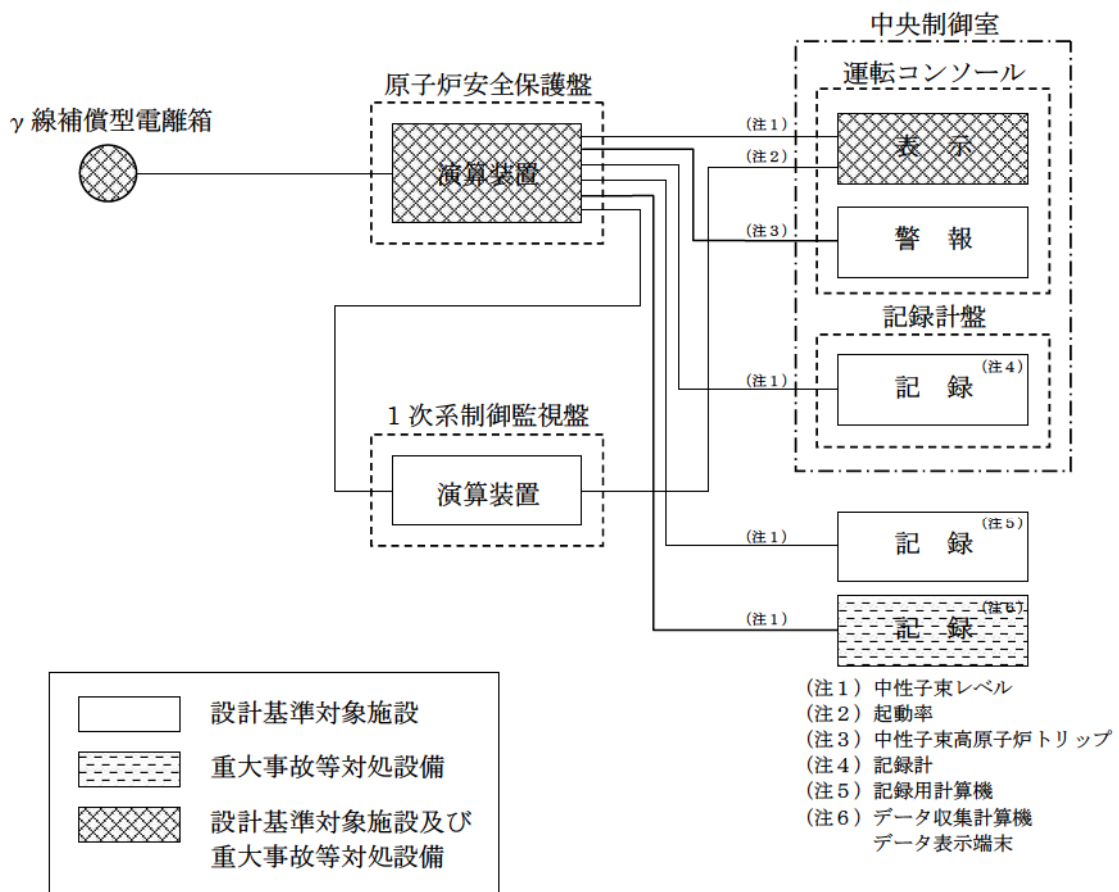


第1図 中性子源領域中性子束の概略構成図

b. 中間領域中性子束

中間領域中性子束は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、中間領域中性子束の検出信号は、 γ 線補償型電離箱からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて中性子束レベル信号へ変換する処理を行った後、中性子束レベルを中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第2図「中間領域中性子束の概略構成図」参照。)

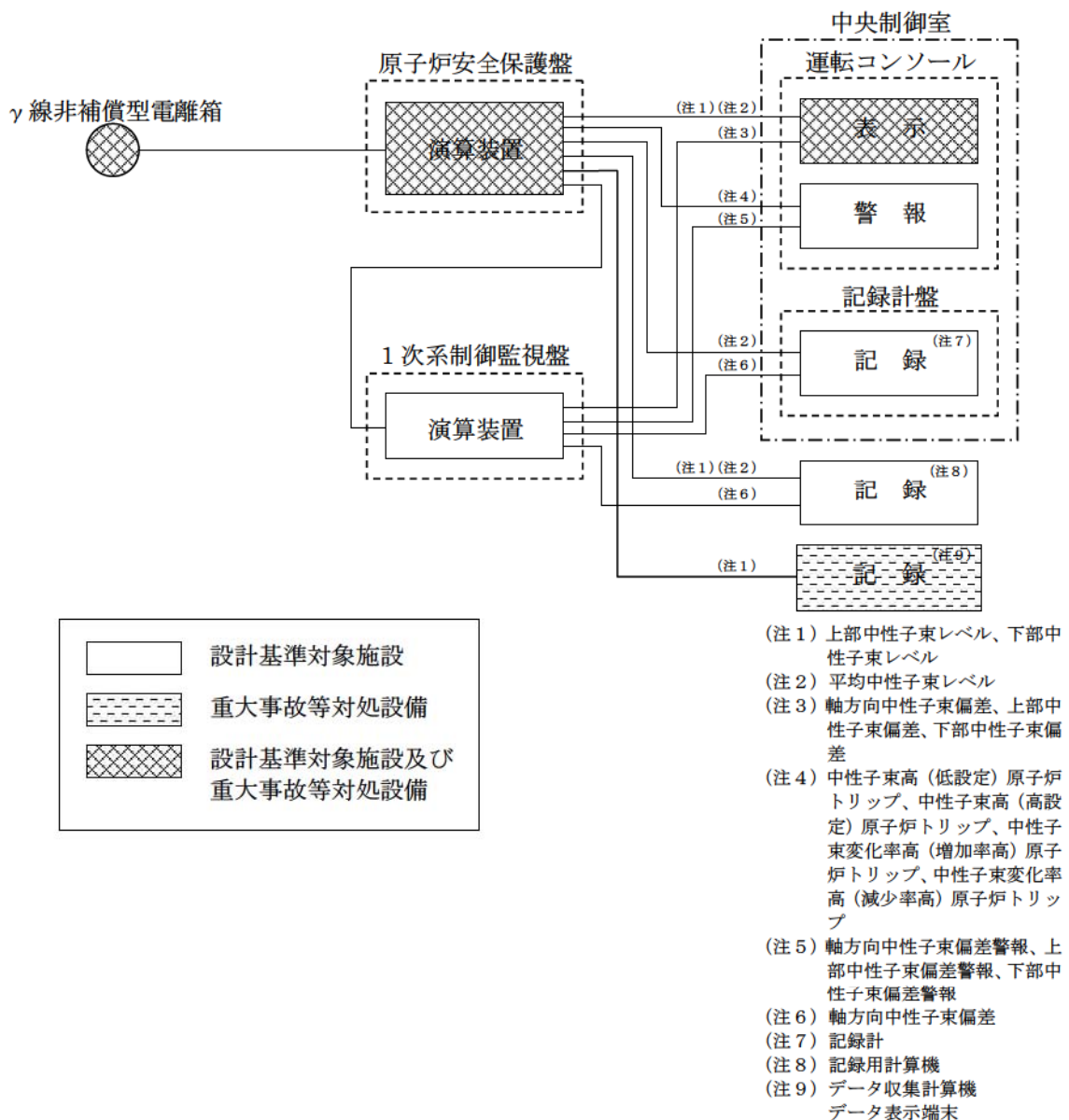


第2図 中間領域中性子束の概略構成図

c. 出力領域中性子束

出力領域中性子束は，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており，出力領域中性子束の検出信号は， γ 線非補償型電離箱からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて中性子束レベル信号へ変換する処理を行った後，中性子束レベルを中央制御室に表示し，記録及び保存する。記録及び保存については，「3.2 計測装置の計測結果の表示，記録及び保存」に示す。

(第3図「出力領域中性子束の概略構成図」参照。)



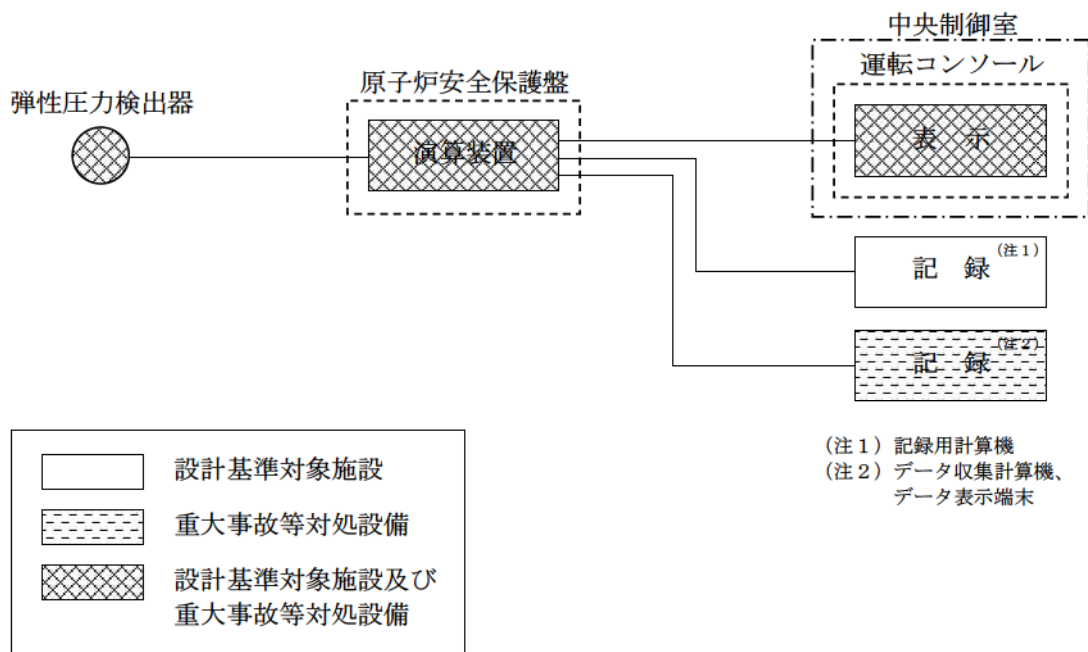
第3図 出力領域中性子束の概略構成図

3.1.2. 原子炉容器本体の入口又は出口の1次冷却材の圧力、温度又は流量（代替注水の流量を含む）を計測する装置

a. 1次冷却材圧力（広域）

1次冷却材圧力（広域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材圧力（広域）の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材圧力（広域）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第4図「1次冷却材圧力（広域）の概略構成図」参照。）

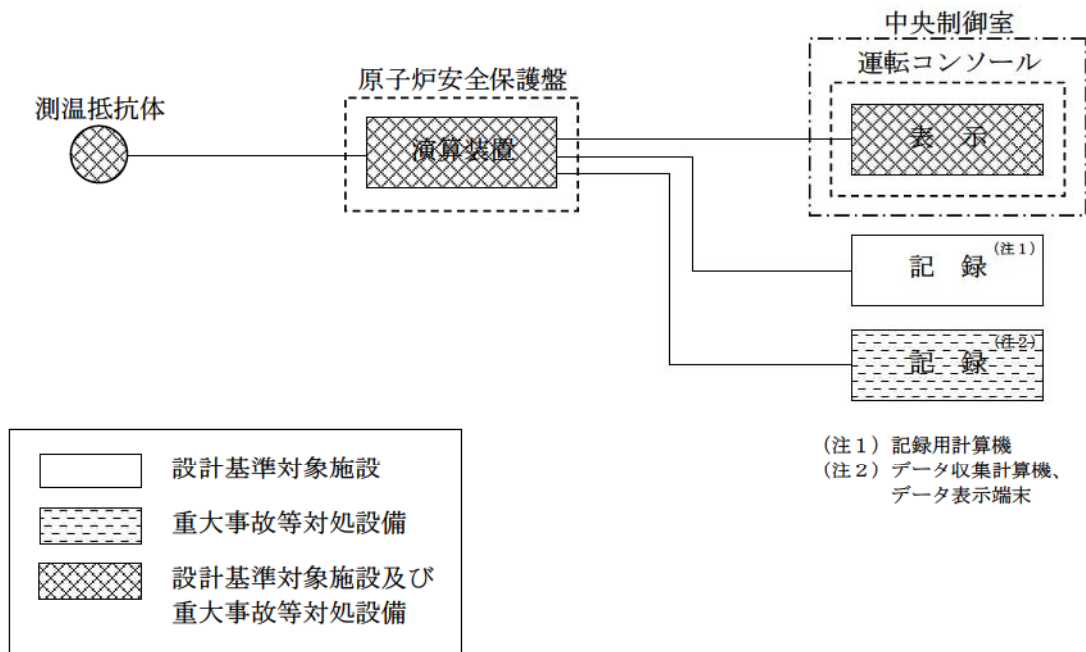


第4図 1次冷却材圧力（広域）の概略構成図

b. 1次冷却材温度（広域－高温側）

1次冷却材温度（広域－高温側）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材温度（広域－高温側）の検出信号は、测温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材温度（広域－高温側）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第5図「1次冷却材温度（広域－高温側）の概略構成図」参照。）

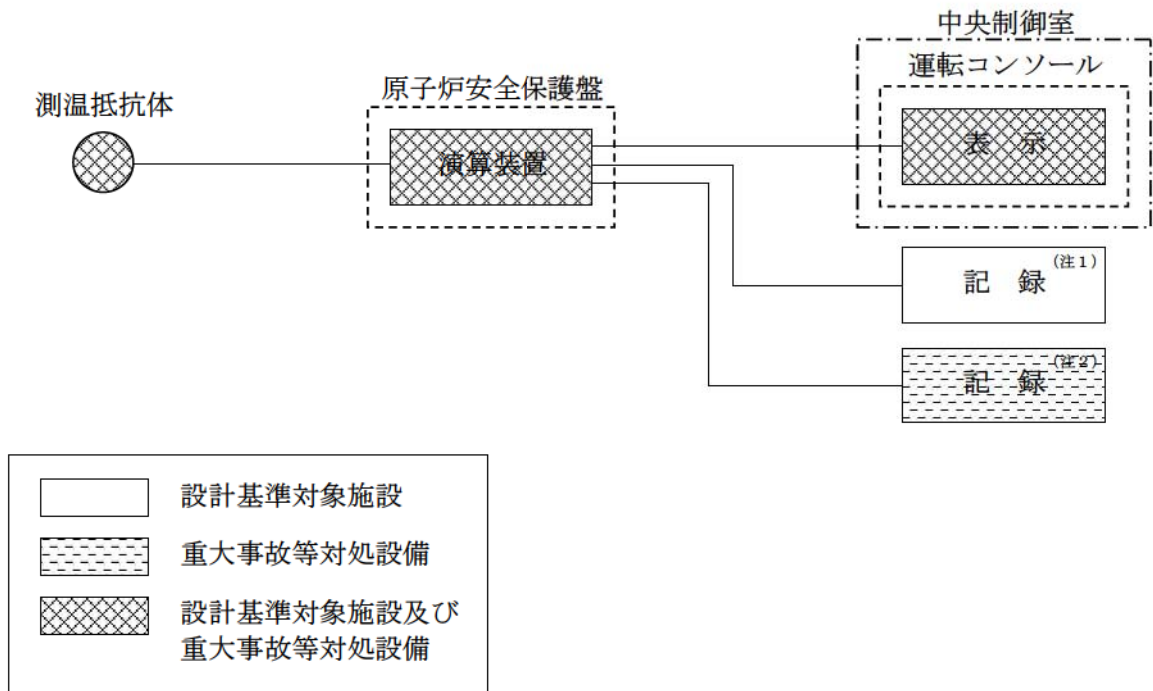


第5図 1次冷却材温度（広域－高温側）の概略構成図

c. 1次冷却材温度（広域－低温側）

1次冷却材温度（広域－低温側）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、1次冷却材温度（広域－低温側）の検出信号は、测温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、1次冷却材温度（広域－低温側）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第6図「1次冷却材温度（広域－低温側）の概略構成図」参照。）

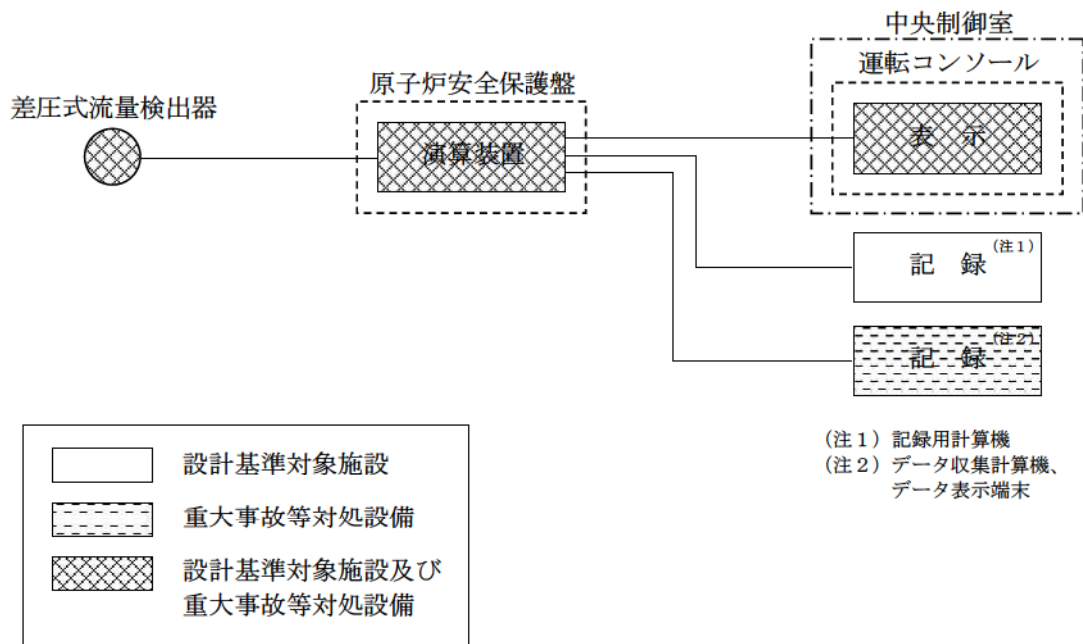


第6図 1次冷却材温度（広域－低温側）の概略構成図

d. 高圧注入流量

高圧注入流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、高圧注入流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、高圧注入流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第7図「高圧注入流量の概略構成図」参照。)

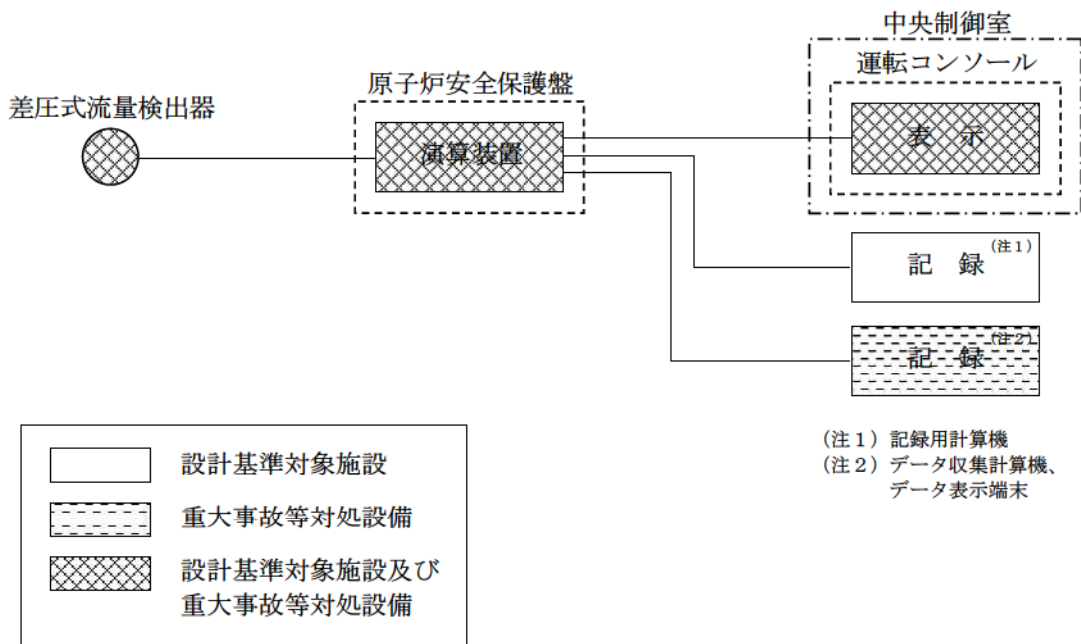


第7図 高圧注入流量の概略構成図

e. 低圧注入流量

低圧注入流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、低圧注入流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、低圧注入流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第8図「低圧注入流量の概略構成図」参照。)

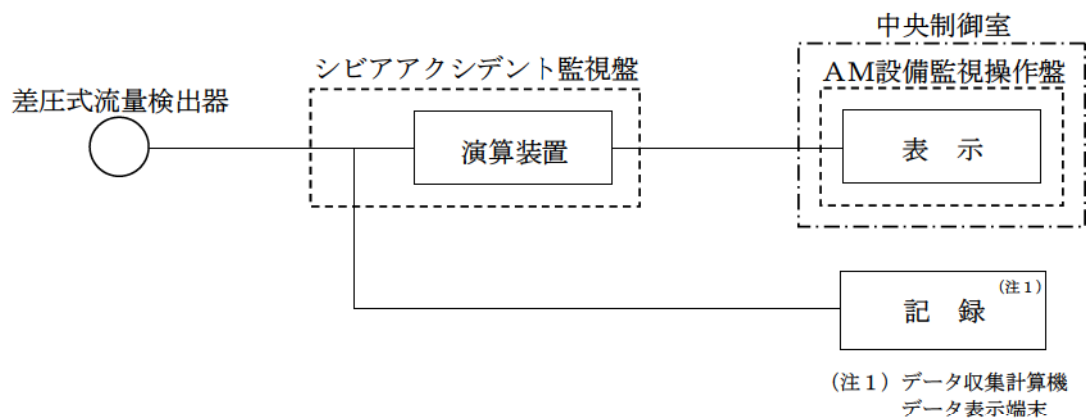


第8図 低圧注入流量の概略構成図

f. 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量

代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて流量信号及び積算流量信号へ変換する処理を行った後、代替格納容器スプレイポンプ出口流量及び積算流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第9図「代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の概略構成図」参照。)



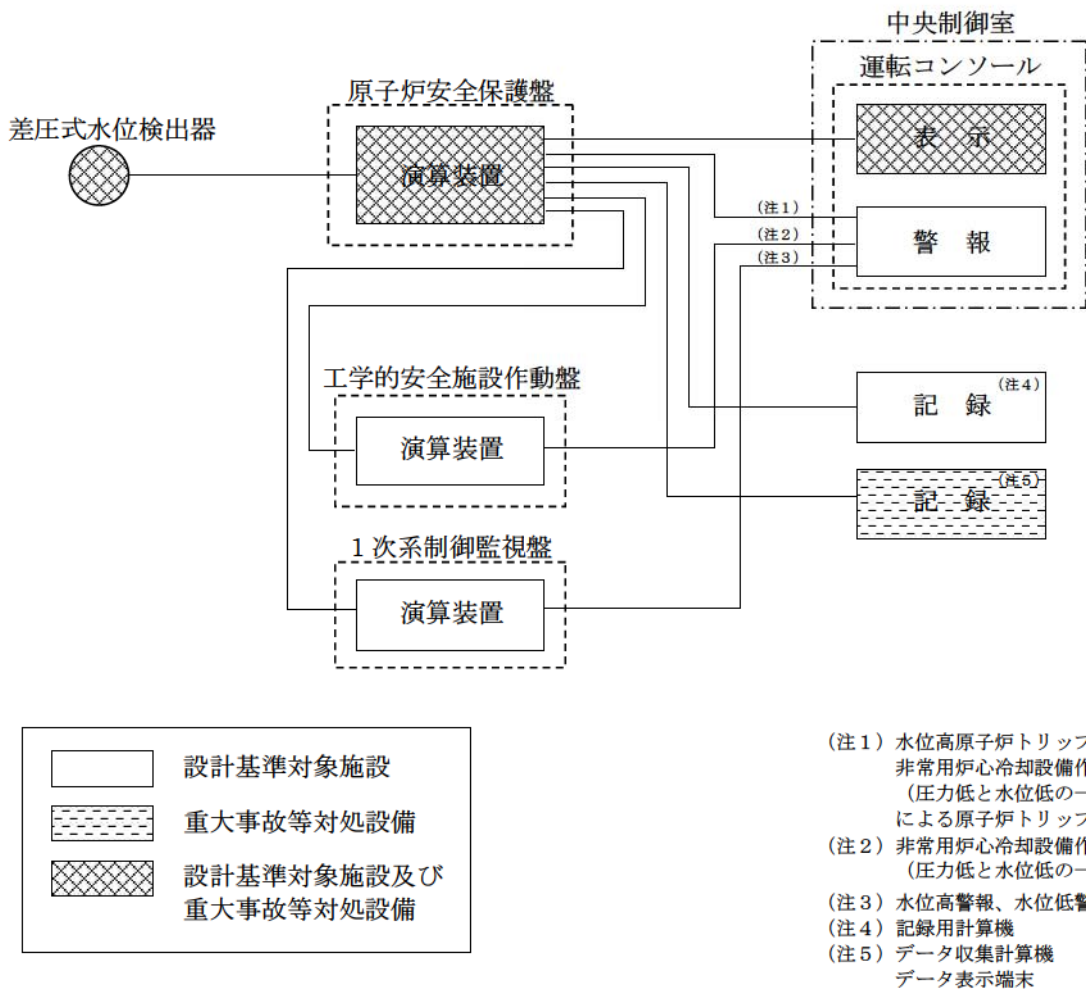
第9図 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量の概略構成図

3.1.3. 加圧器内の水位を計測する装置

a. 加圧器水位

加圧器水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、加圧器水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、加圧器水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 10 図「加圧器水位の概略構成図」参照。)



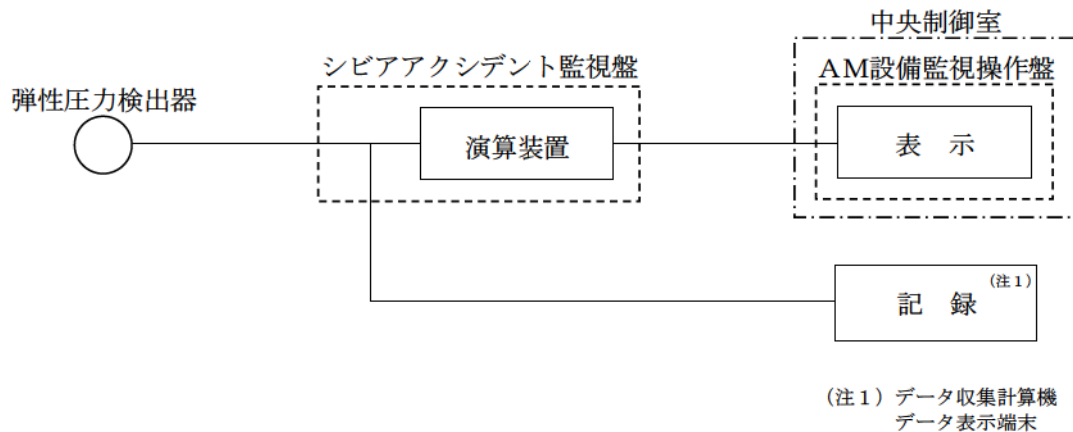
第 10 図 加圧器水位の概略構成図

3.1.4. 原子炉格納容器本体内の圧力及び温度を計測する装置

a. 格納容器圧力（AM用）

格納容器圧力（AM用）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器圧力（AM用）の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号をシビアアクシデント監視盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、格納容器圧力（AM用）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 11 図「格納容器圧力（AM用）の概略構成図」参照。）

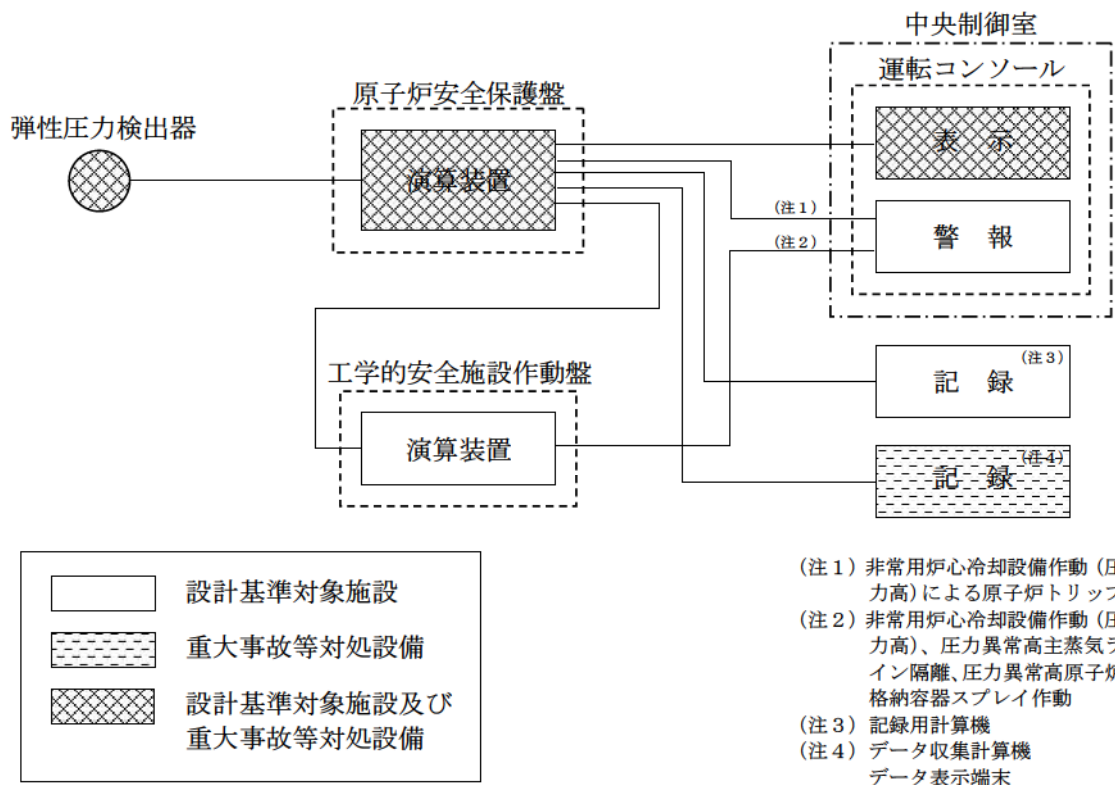


第 11 図 格納容器圧力（AM用）の概略構成図

b. 原子炉格納容器圧力

原子炉格納容器圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉格納容器圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、原子炉格納容器圧力を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 12 図「原子炉格納容器圧力の概略構成図」参照。)

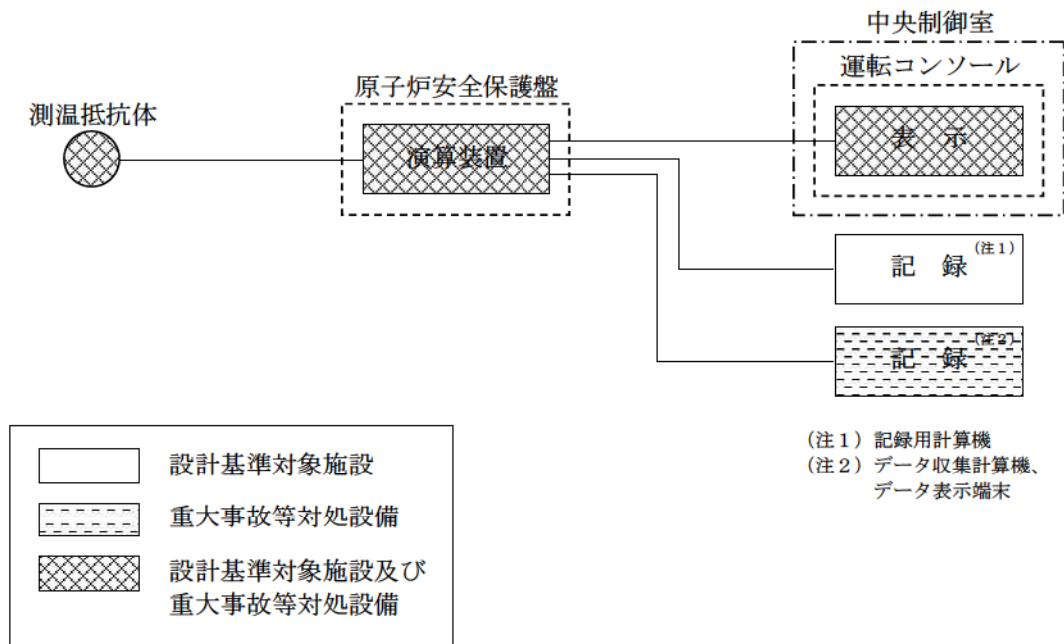


第 12 図 原子炉格納容器圧力の概略構成図

c. 格納容器内温度

格納容器内温度は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器内温度の検出信号は、测温抵抗体の抵抗値を、原子炉安全保護盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、格納容器内温度を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 13 図「格納容器内温度の概略構成図」参照。)

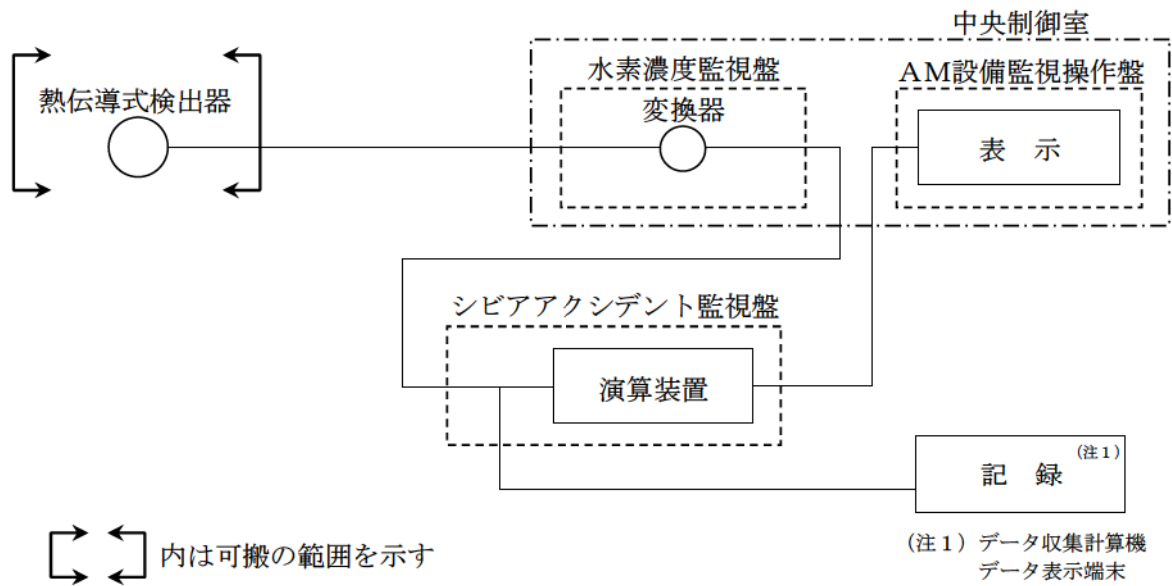


第 13 図 格納容器内温度の概略構成図

d. 格納容器内水素濃度

格納容器内水素濃度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器内水素濃度の検出信号は、重大事故等時に試料採取設備に設置できるように可搬型とする。熱伝導式検出器からの電圧信号を変換器にて電流信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 14 図「格納容器内水素濃度の概略構成図」参照。)



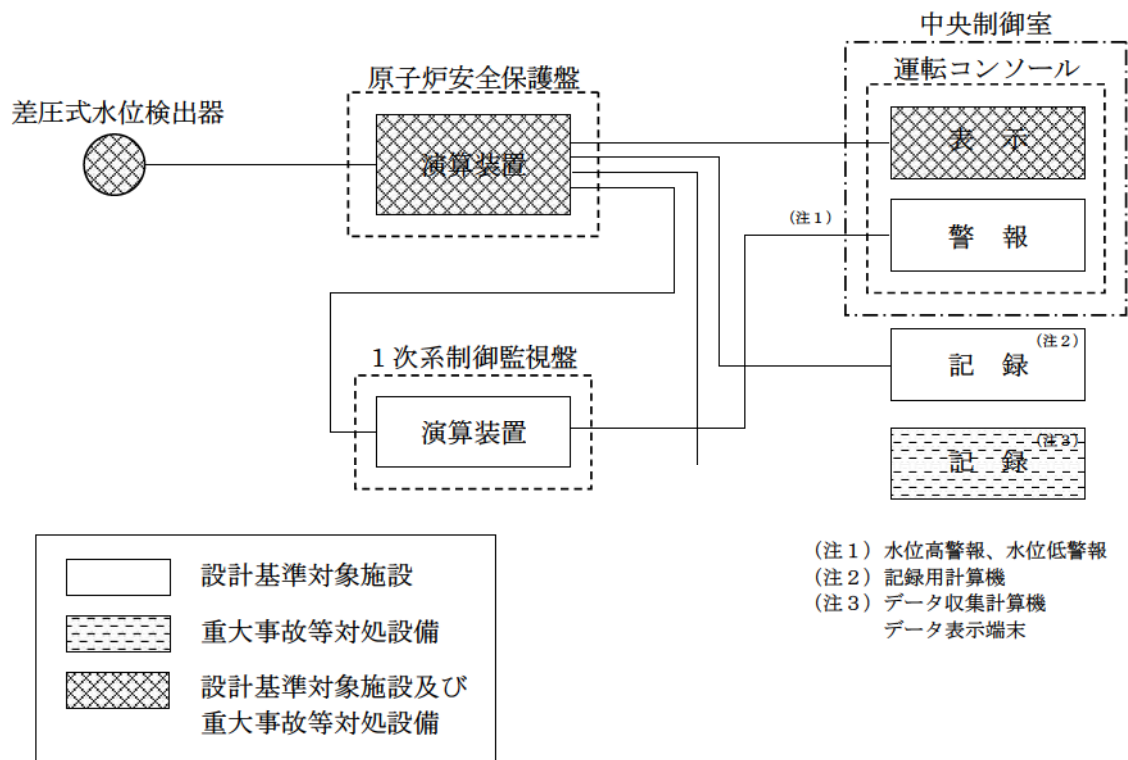
第 14 図 格納容器内水素濃度の概略構成図

3.1.5. 蒸気発生器内の水位を計測する装置

a. 蒸気発生器水位（広域）

蒸気発生器水位（広域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、蒸気発生器水位（広域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、蒸気発生器水位（広域）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 15 図「蒸気発生器水位（広域）の概略構成図」参照。）

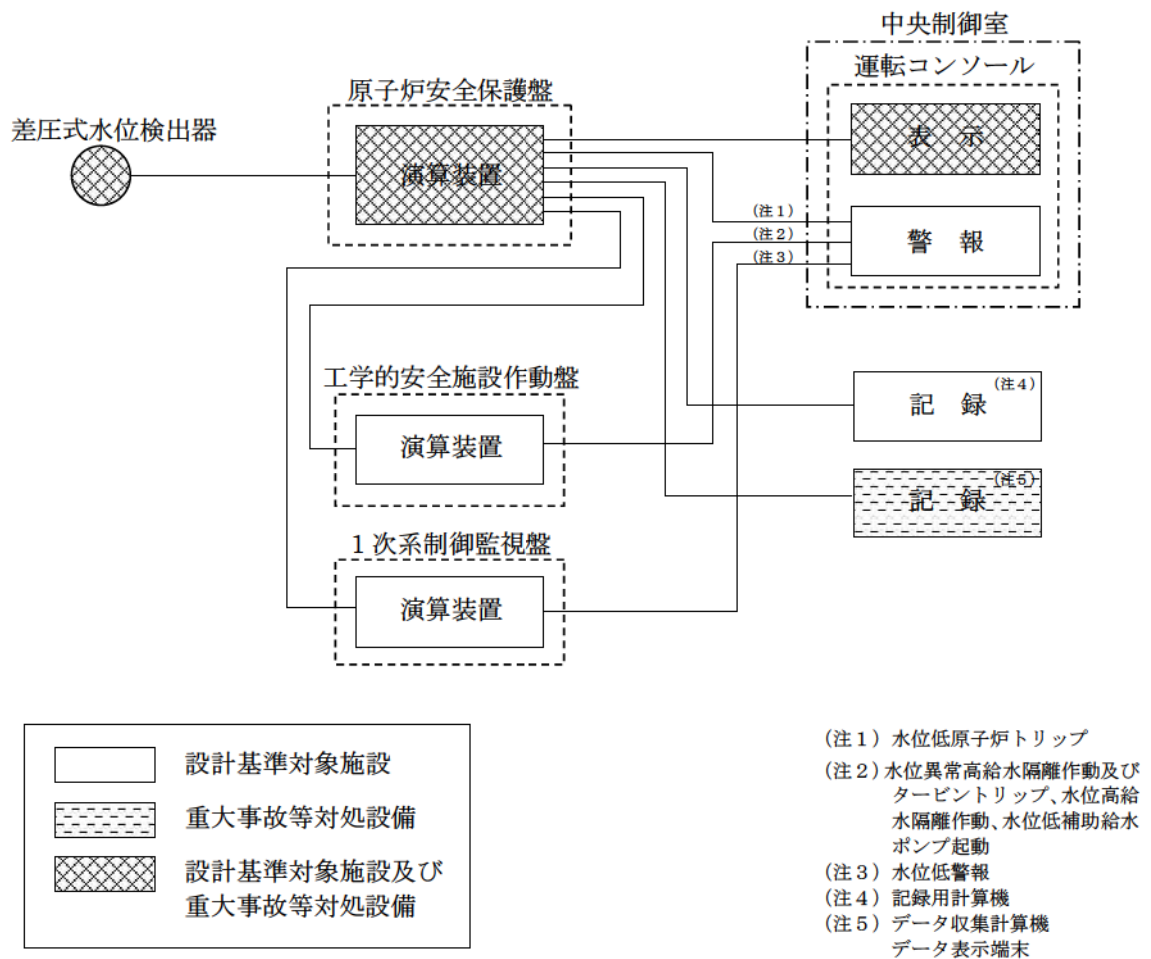


第 15 図 蒸気発生器水位（広域）の概略構成図

b. 蒸気発生器水位（狭域）

蒸気発生器水位（狭域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、蒸気発生器水位（狭域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、蒸気発生器水位（狭域）を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 16 図「蒸気発生器水位（狭域）の概略構成図」参照。）



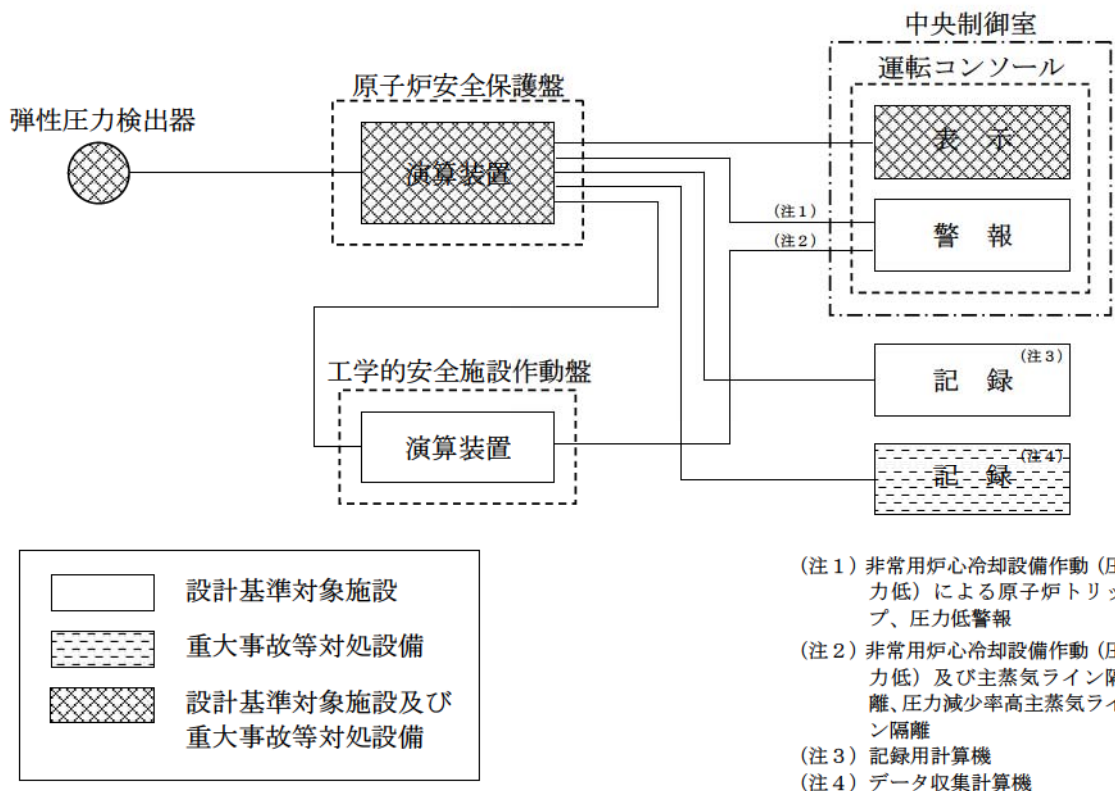
第 16 図 蒸気発生器水位（狭域）の概略構成図

3.1.6. 主蒸気の圧力を計測する装置

a. 主蒸気ライン圧力

主蒸気ライン圧力の検出信号は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、弾性圧力検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、主蒸気ライン圧力を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第17図「主蒸気ライン圧力の概略構成図」参照。)



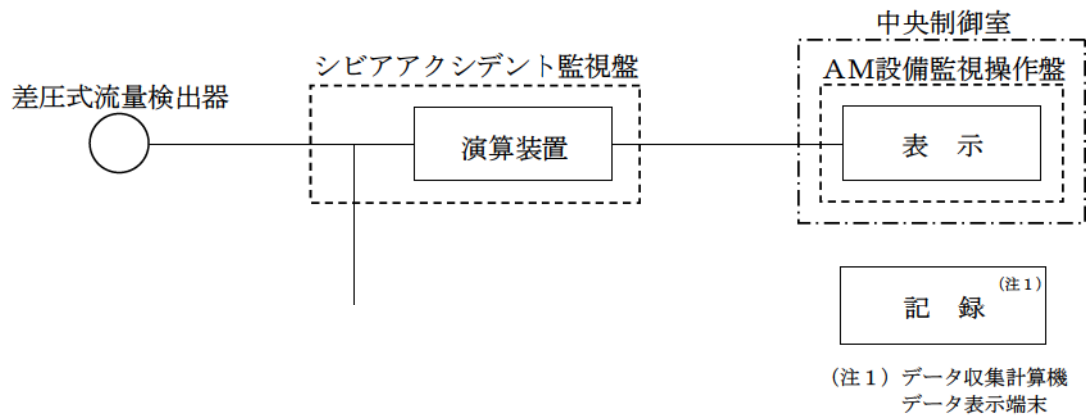
第17図 主蒸気ライン圧力の概略構成図

3.1.7. 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

a. B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)

B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) は、重大事故等対処設備の機能を有しており、B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号をシビアアクシデント監視盤内の演算装置にて演算装置にて流量信号及び積算流量信号へ変換する処理を行った後、B-格納容器スプレイ冷却器出口流量 (AM用) 及び積算流量 (AM用) を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 18 図「B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の概略構成図」参照。)



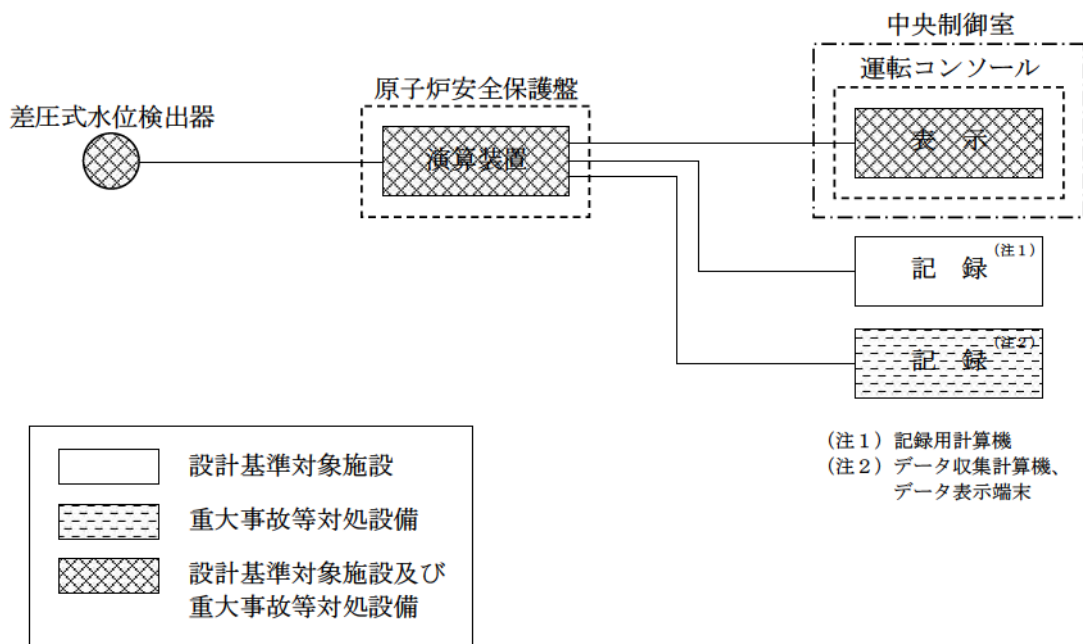
第 18 図 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) の概略構成図

3.1.8. 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

a. 格納容器再循環サンプル水位（広域）

格納容器再循環サンプル水位（広域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環サンプル水位（広域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、格納容器再循環サンプル水位（広域）を中央制御室に表示、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 19 図「格納容器再循環サンプル水位（広域）の概略構成図」参照。）

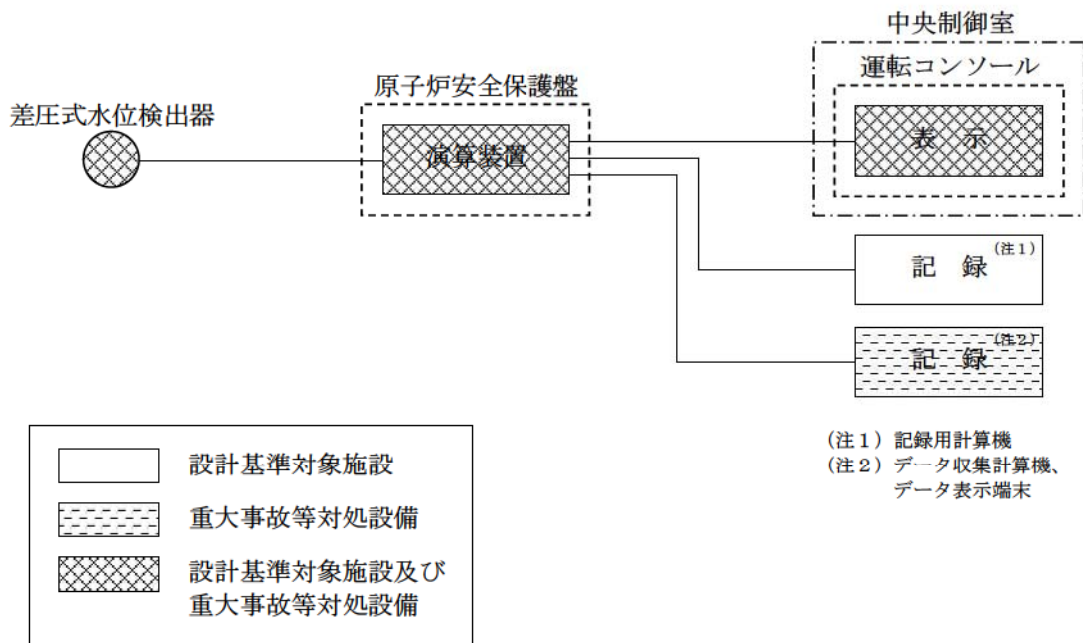


第 19 図 格納容器再循環サンプル水位（広域）の概略構成図

b. 格納容器再循環サンプ水位（狭域）

格納容器再循環サンプ水位（狭域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環サンプ水位（狭域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、格納容器再循環サンプ水位（狭域）を中央制御室に表示、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 20 図「格納容器再循環サンプ水位（狭域）の概略構成図」参照。）

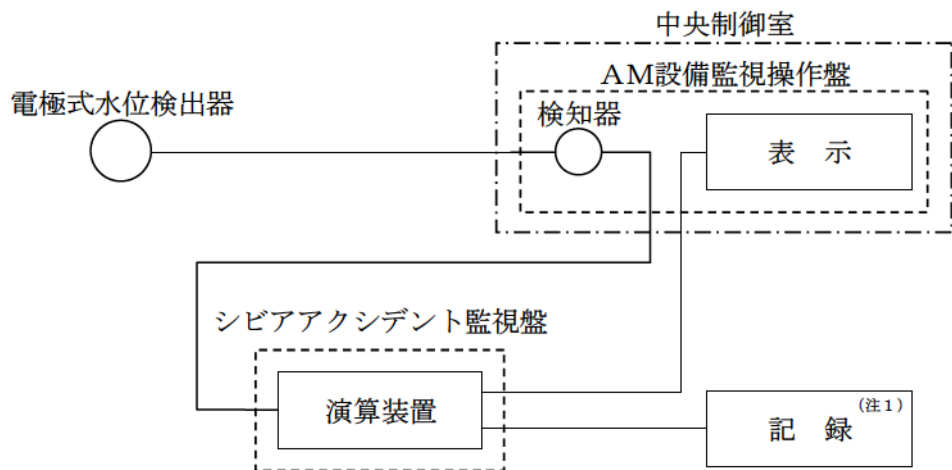


第 20 図 格納容器再循環サンプ水位（狭域）の概略構成図

c. 原子炉下部キャビティ水位

原子炉下部キャビティ水位は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉下部キャビティ水位の検出信号は、電極式水位検出器からの水位状態(ON-OFF)を中央制御室に表示した後、シビアアクシデント監視盤の演算装置を経由し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 21 図「原子炉下部キャビティ水位の概略構成図」参照。)



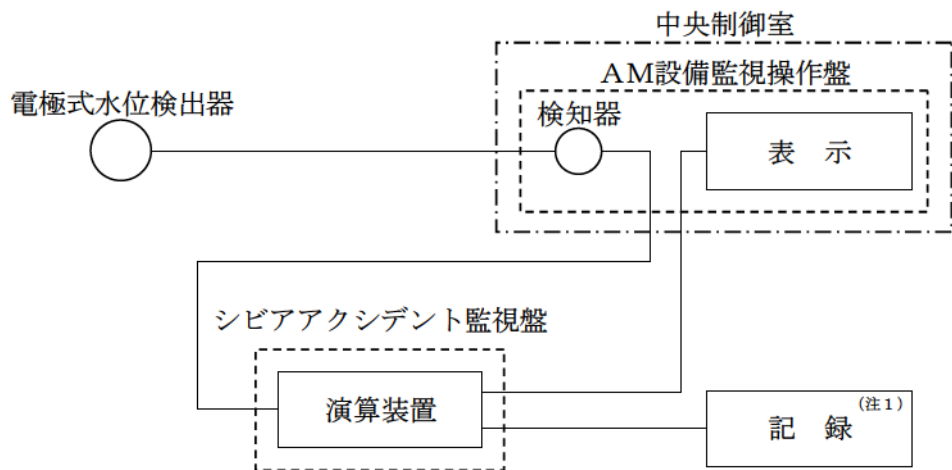
(注1) データ収集計算機
データ表示端末

第 21 図 原子炉下部キャビティ水位の概略構成図

d. 格納容器水位

格納容器水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器水位の検出信号は、電極式水位検出器からの水位状態（ON-OFF）を中央制御室に表示した後、シビアアクシデント監視盤の演算装置を経由し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 22 図「格納容器水位の概略構成図」参照。）



(注1) データ収集計算機
データ表示端末

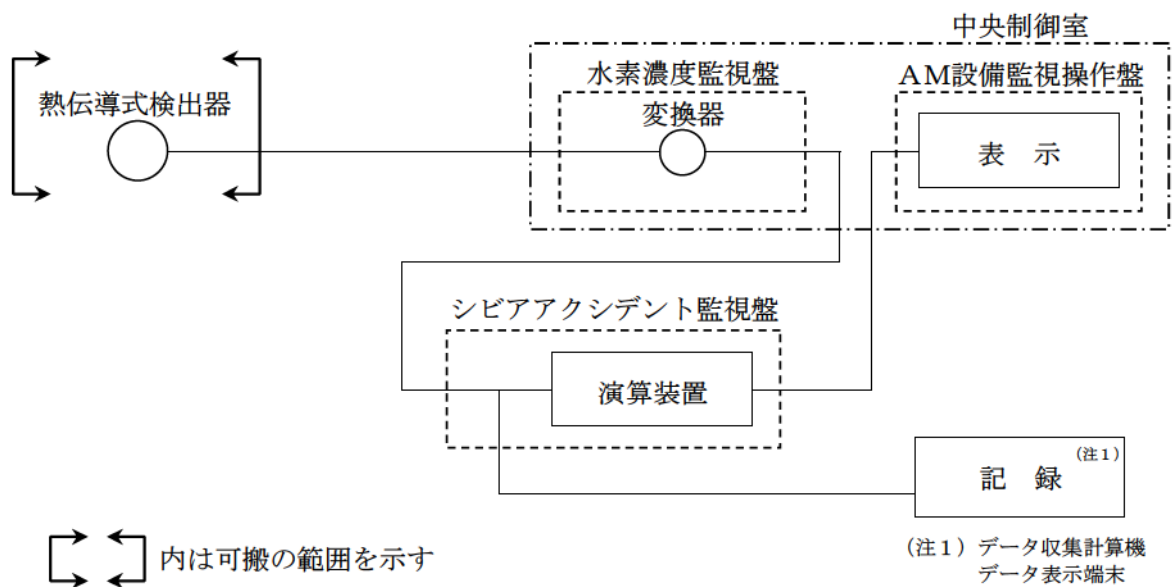
第 22 図 格納容器水位の概略構成図

3.1.9. 二次格納施設内の水素ガス濃度を計測する装置

a. アニュラス水素濃度（可搬型）

アニュラス水素濃度（可搬型）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、アニュラス水素濃度（可搬型）の検出信号は、重大事故等時に試料採取設備に設置できるように可搬型とする。熱伝導式検出器からの電圧信号を、変換器にて電流信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 23 図「アニュラス水素濃度（可搬型）の概略構成図」参照。）

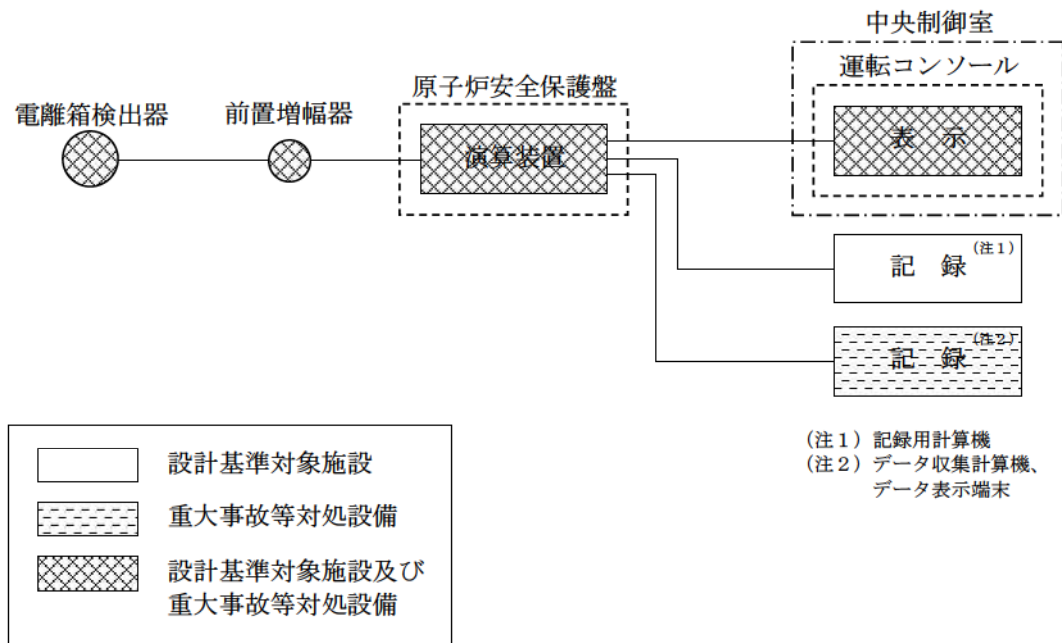


第 23 図 アニュラス水素濃度（可搬型）の概略構成図

b. 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）

格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉格納容器内の線量当量率を電離箱を用いて電流信号として検出する。検出した電流信号を前置増幅器で増幅し、原子炉安全保護盤内の演算装置にて線量当量率信号へ変換する処理を行った後、線量当量率を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 25 図「格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の概略構成図」参照。）



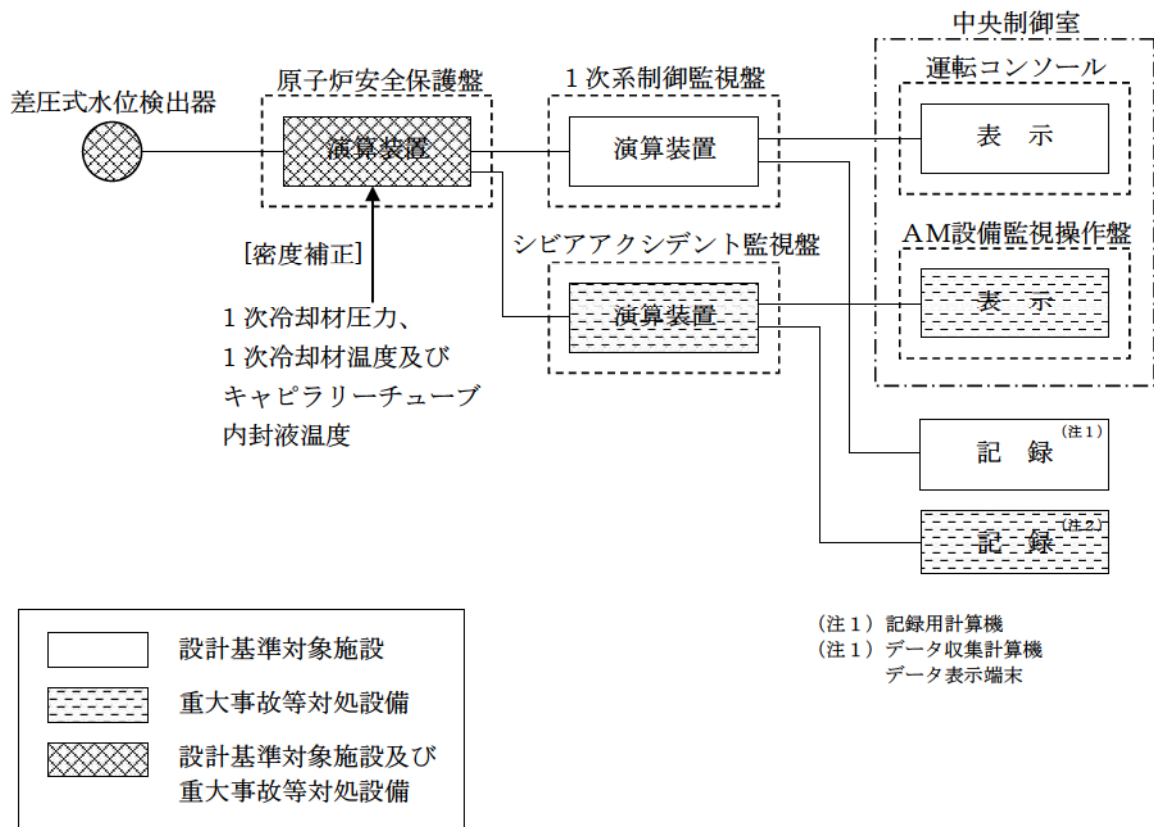
第 25 図 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）の概略構成図

3.1.11. その他、重大事故等の対応に必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータを計測視する装置

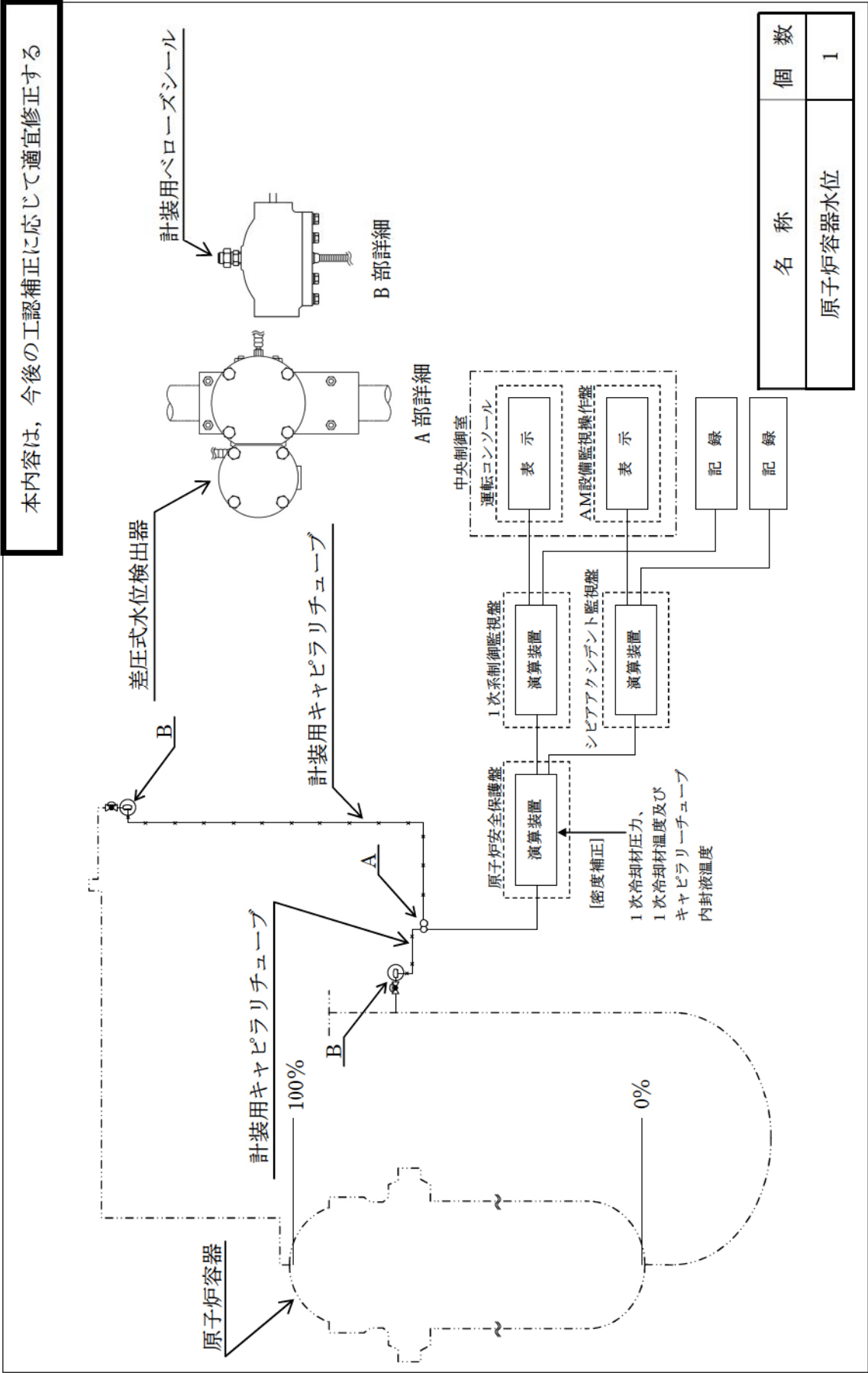
b. 原子炉容器水位

原子炉容器水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉容器水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤を経由してシビアアクシデント監視盤に入力し、演算装置にて水位信号へ変換する処置を行った後、原子炉容器水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 26 図「原子炉容器水位の概略構成図」、第 27 図「検出器の構造図 (原子炉容器水位)」及び第 46 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 26 図 原子炉容器水位の概略構成図

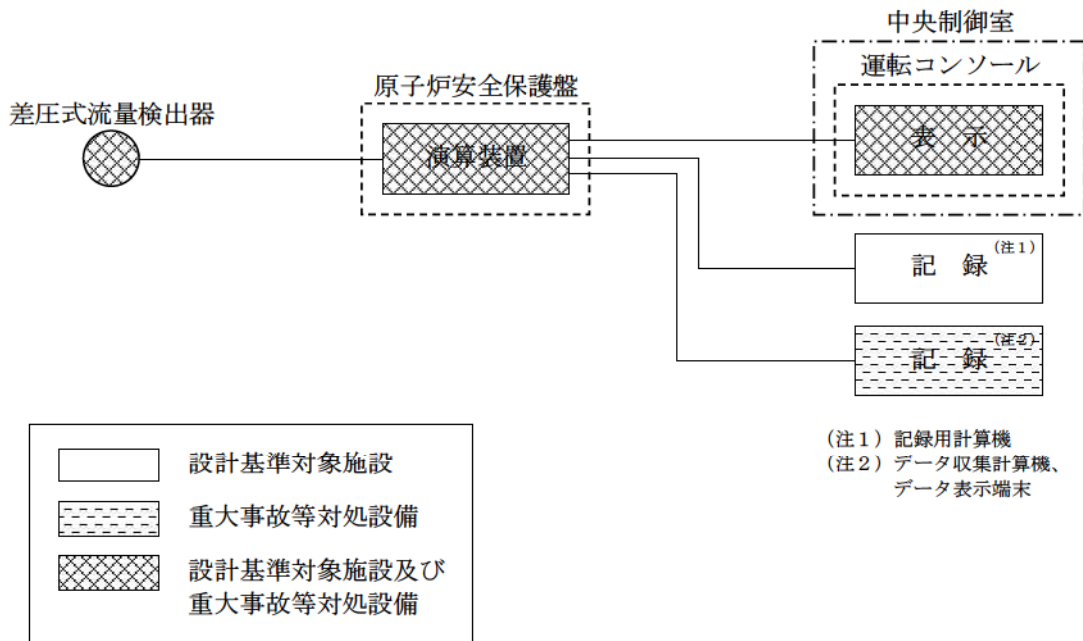


第 27 図 検出器の構造図 (原子炉容器水位)

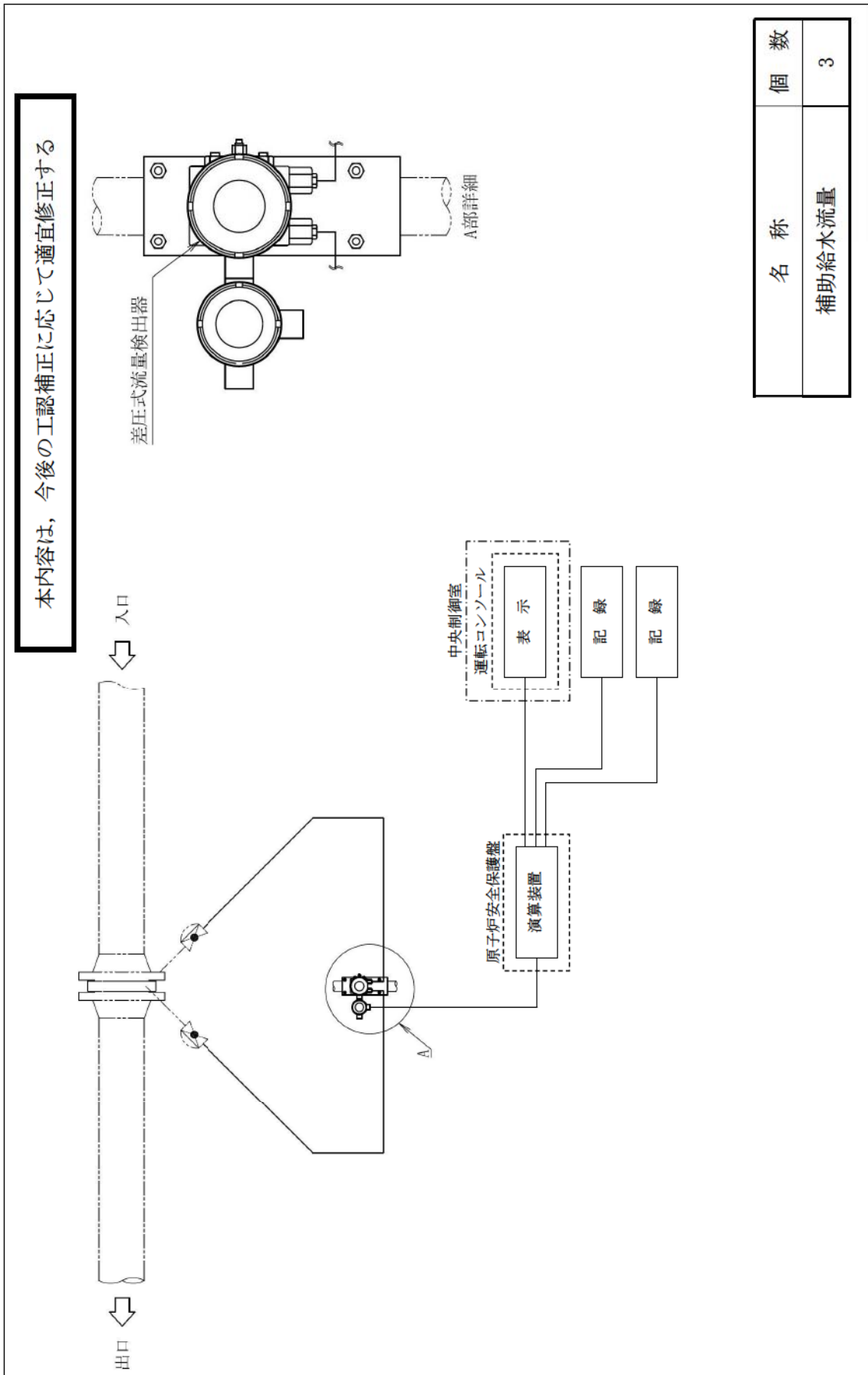
c. 補助給水流量

補助給水流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、補助給水流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、補助給水流量を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 28 図「補助給水流量の概略構成図」、第 29 図「検出器の構造図(補助給水流量)」及び第 45 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 28 図 補助給水流量の概略構成図



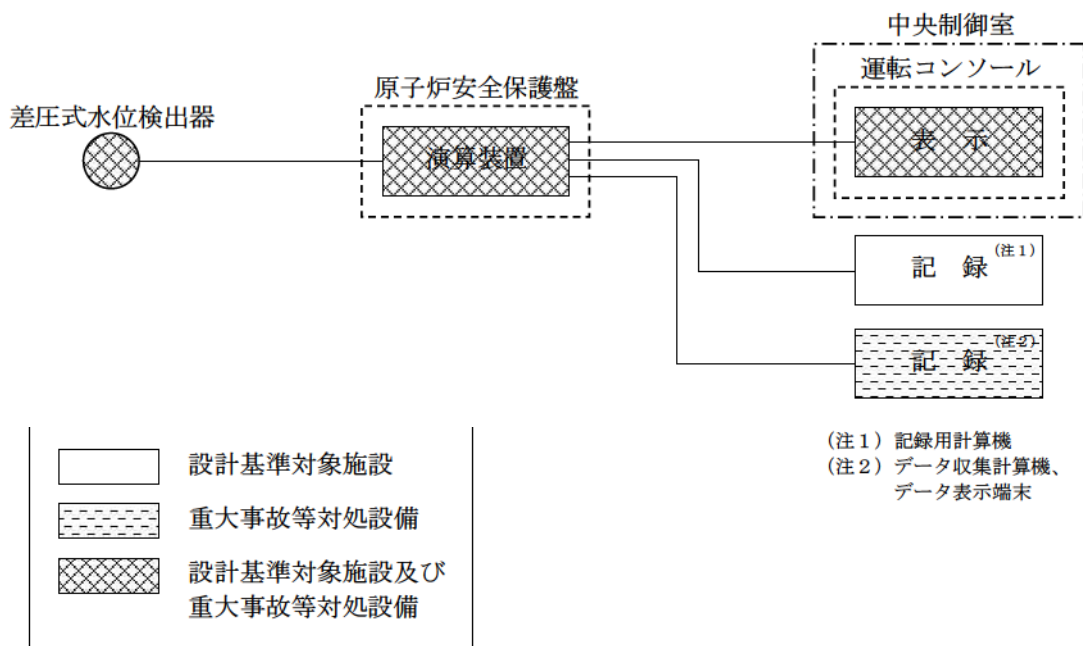
名称	個数
補助給水流量	3

第 29 図 検出器の構造図 (補助給水流量)

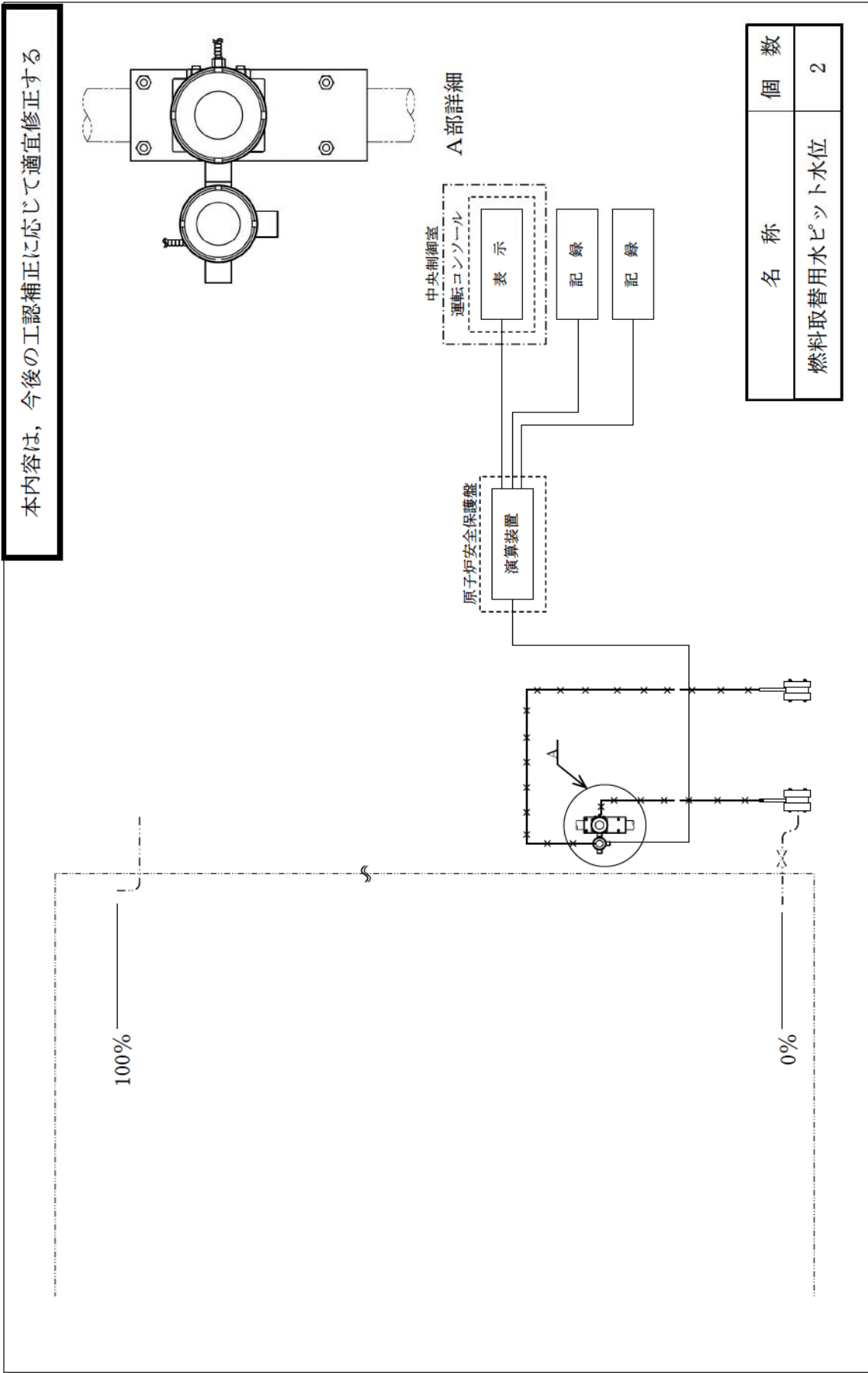
d. 燃料取替用水ピット水位

燃料取替用水ピット水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、燃料取替用水ピット水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、燃料取替用水ピット水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 30 図「燃料取替用水ピット水位の概略構成図」、第 31 図「検出器の構造図(燃料取替用水ピット水位)」及び第 47 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 30 図 燃料取替用水ピット水位の概略構成図

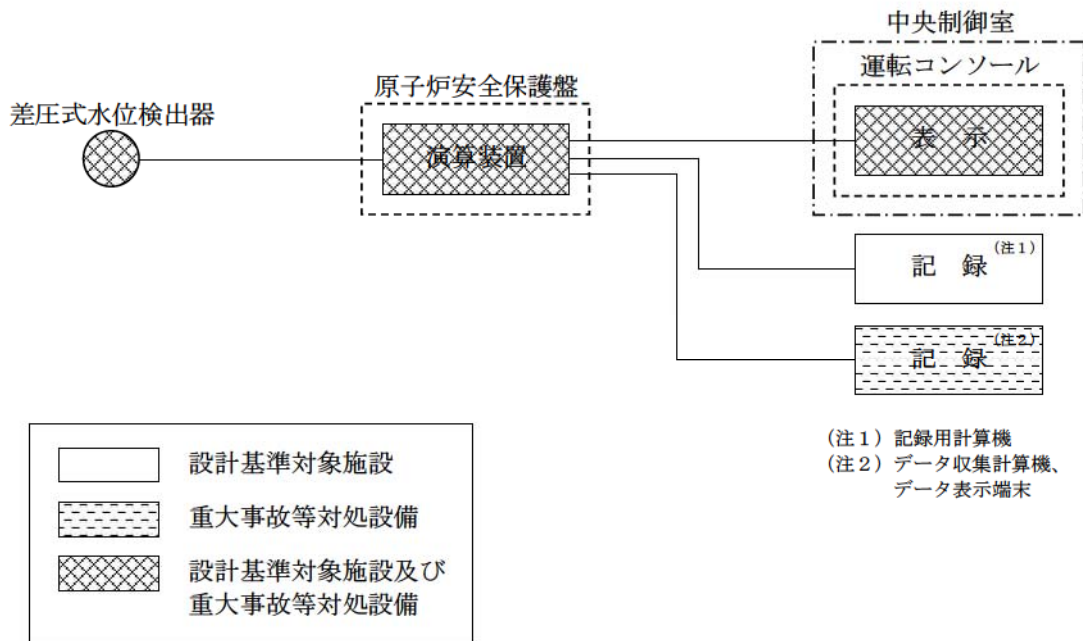


第 31 図 検出器の構造図 (燃料取替用水ピット水位)

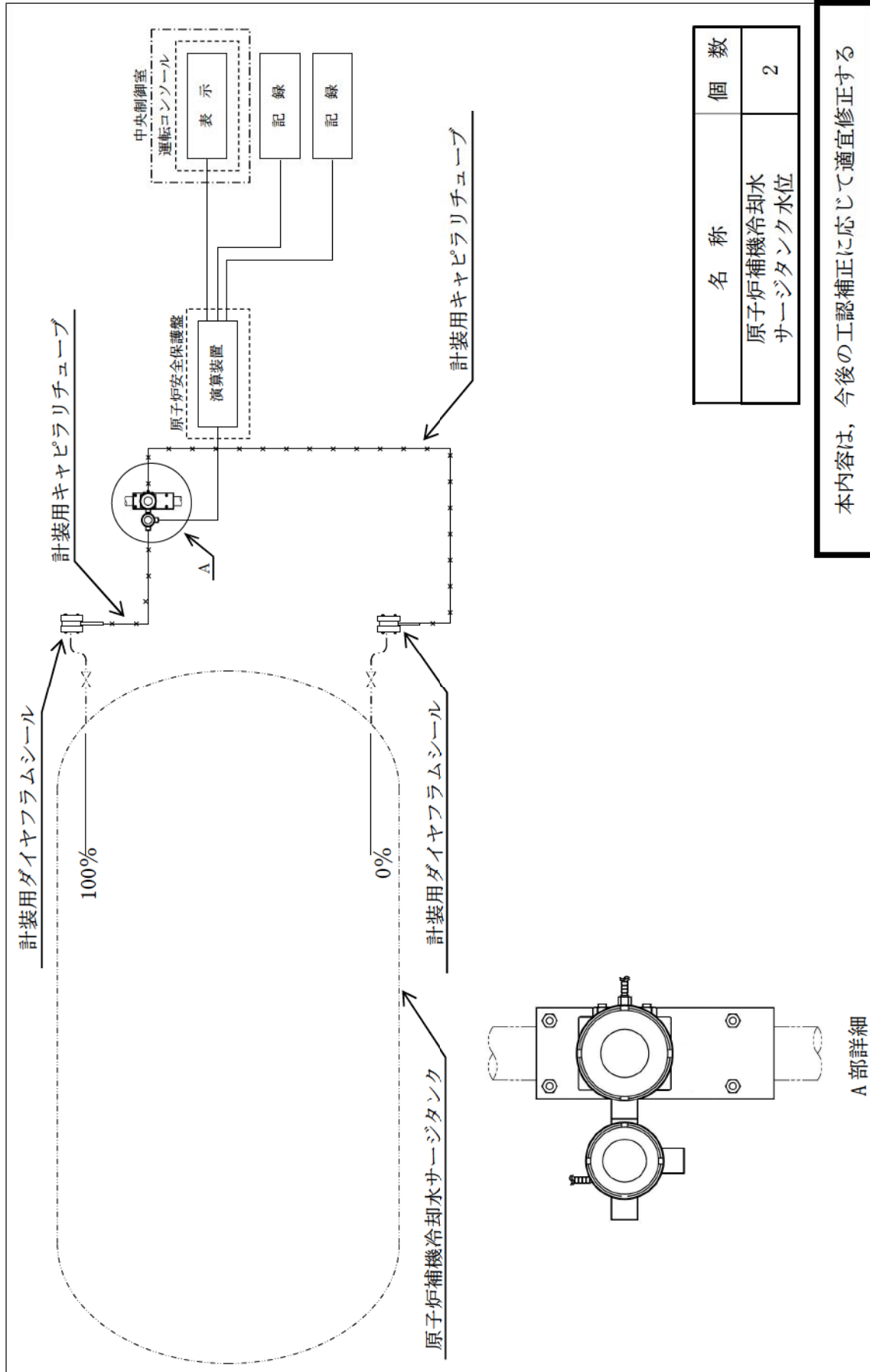
e. 原子炉補機冷却水サージタンク水位

原子炉補機冷却水サージタンク水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉補機冷却水サージタンク水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、原子炉補機冷却水サージタンク水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 32 図「原子炉補機冷却水サージタンク水位の概略構成図」、第 33 図「検出器の構造図（原子炉補機冷却水サージタンク水位）」及び第 50 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 32 図 原子炉補機冷却水サージタンク水位の概略構成図



名称	個数
原子炉補機冷却水サージタンク水位	2

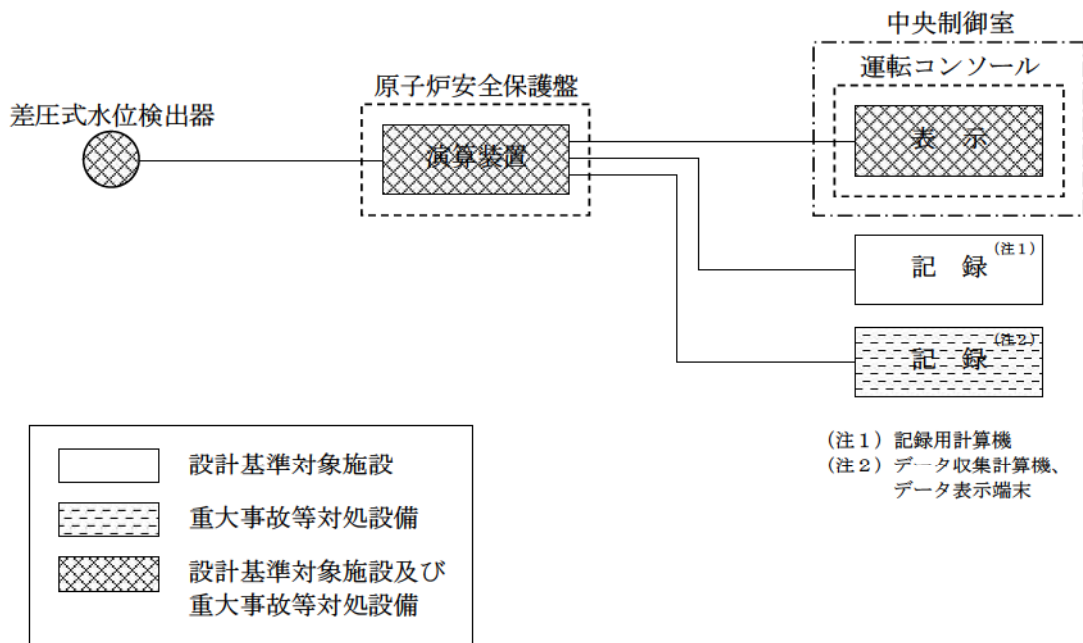
本内容は、今後の工認補正に応じて適宜修正する

第 33 図 検出器の構造図 (原子炉補機冷却水サージタンク水位)

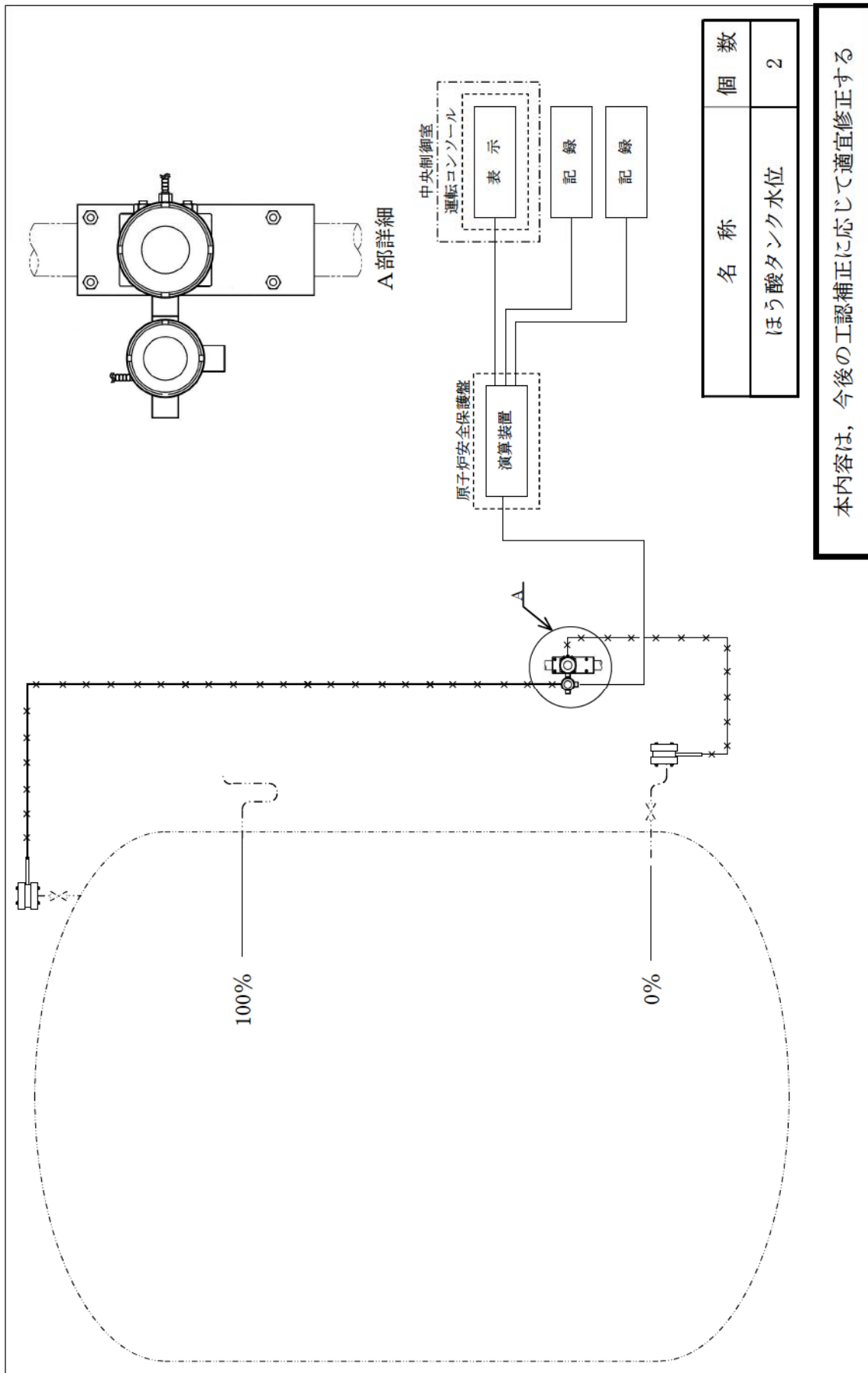
f. ほう酸タンク水位

ほう酸タンク水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、ほう酸タンク水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、ほう酸タンク水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 34 図「ほう酸タンク水位の概略構成図」、第 35 図「検出器の構造図 (ほう酸タンク水位)」及び第 46 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 34 図 ほう酸タンク水位の概略構成図

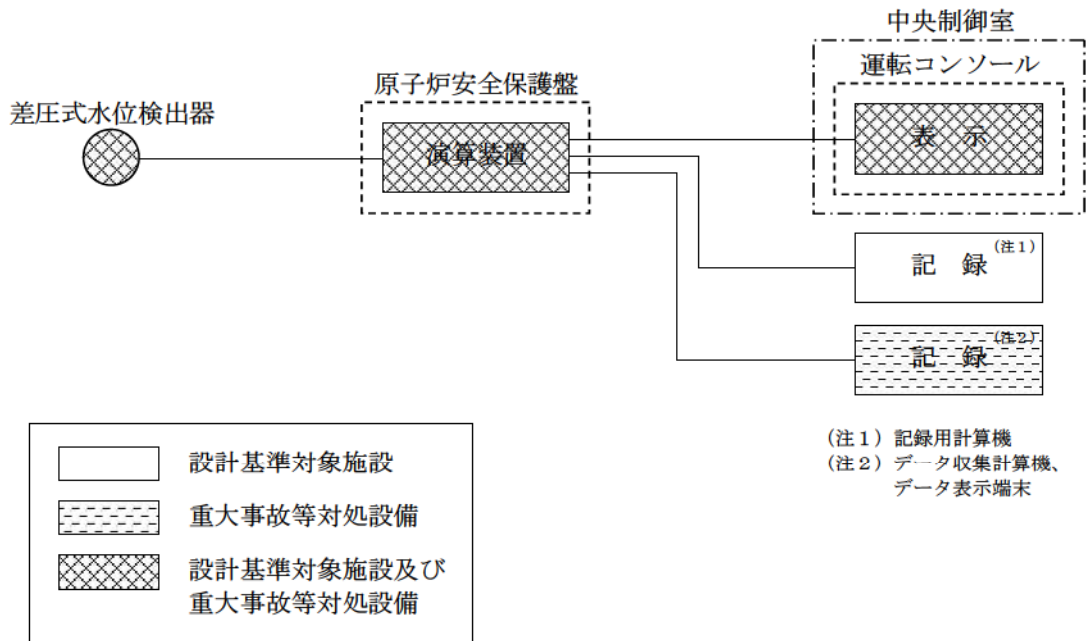


第 35 図 検出器の構造図 (ほう酸タンク水位)

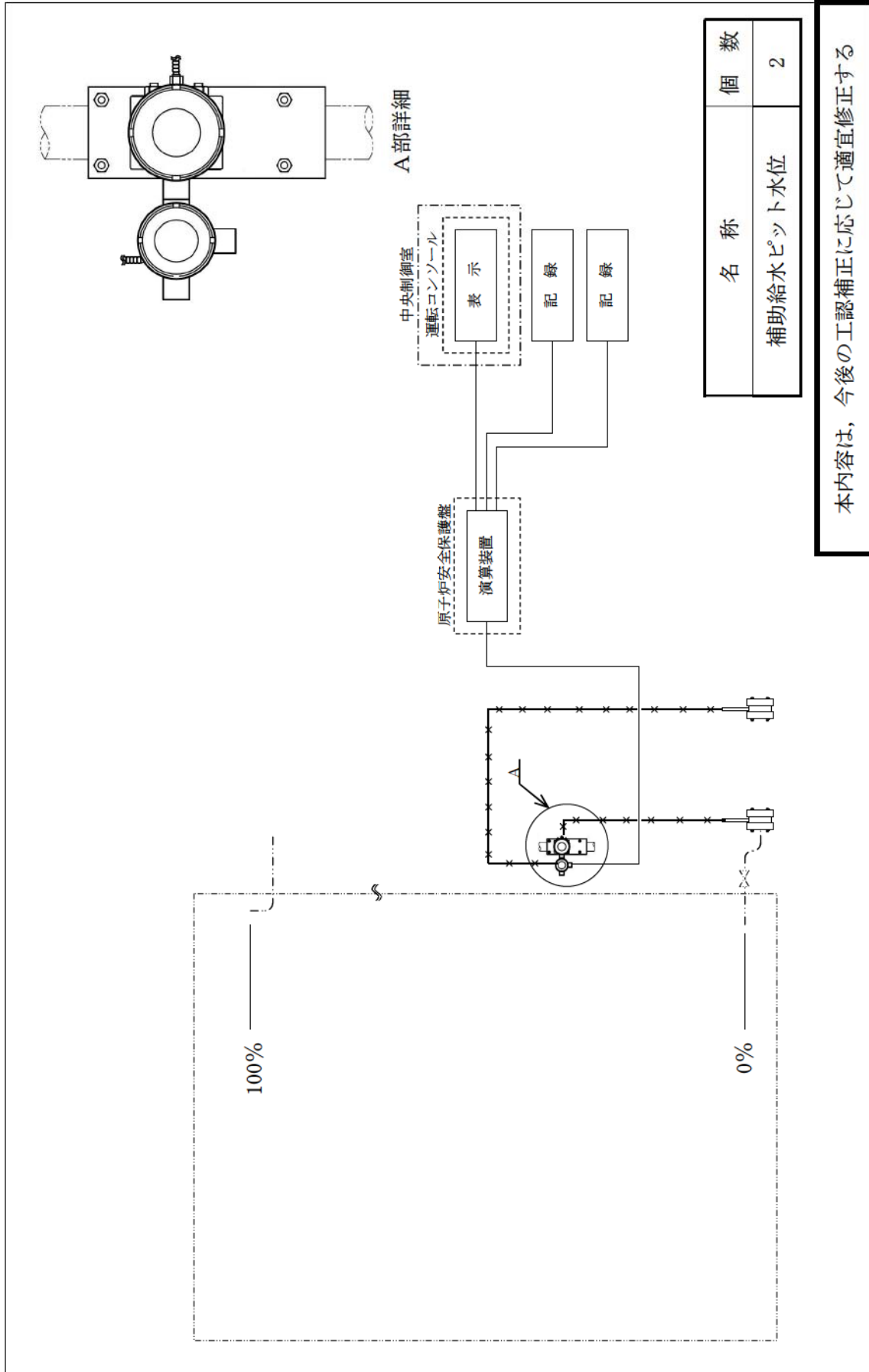
g. 補助給水ピット水位

補助給水ピット水位は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、補助給水ピット水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を原子炉安全保護盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、補助給水ピット水位を中央制御室に表示し、記録及び保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第 36 図「補助給水ピット水位の概略構成図」、第 37 図「検出器の構造図 (補助給水ピット水位)」及び第 47 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。)



第 36 図 補助給水ピット水位の概略構成図

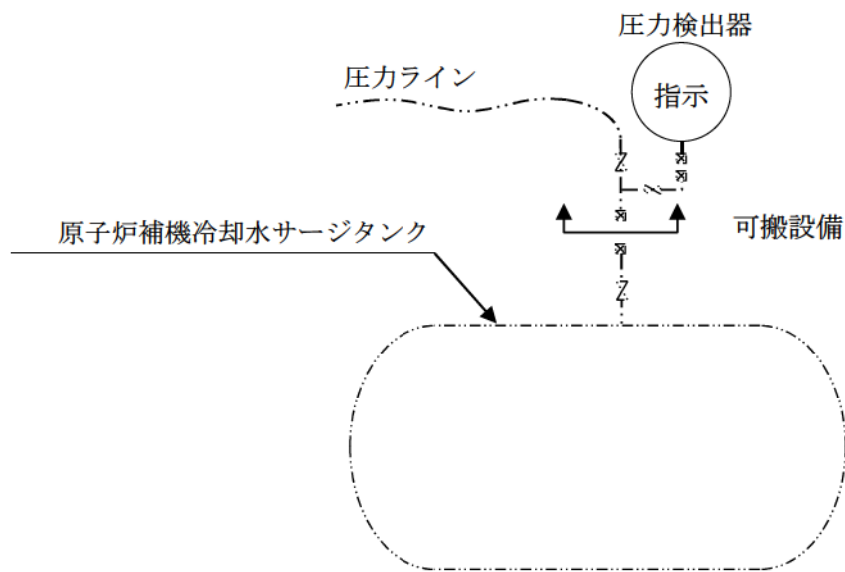


第 37 図 検出器の構造図 (補助給水ピット水位)

h. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）

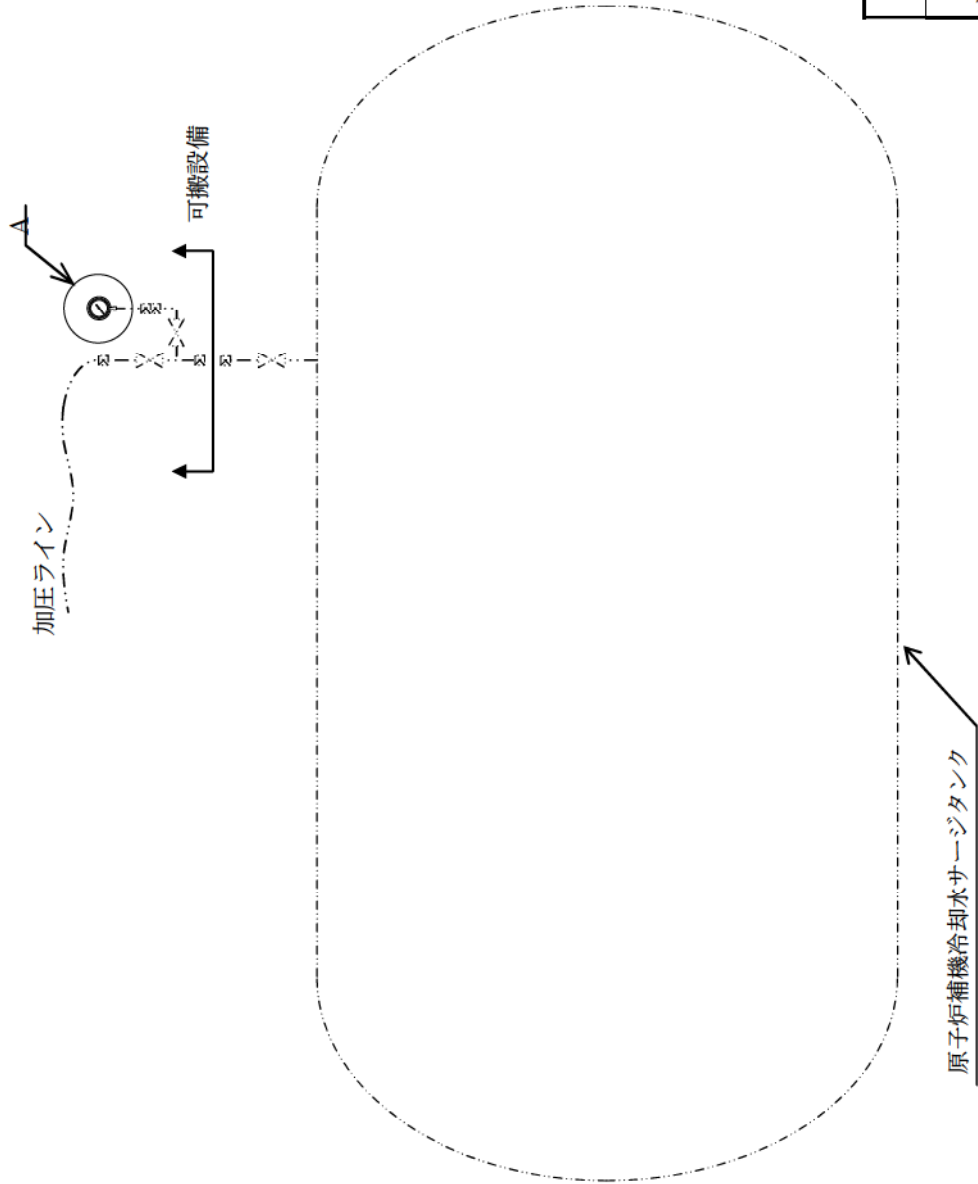
原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉補機冷却水サージタンクの圧力を原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）により指示する。測定結果は従事者が記録用紙にて記録し、保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 38 図「原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の概略構成図」、第 39 図「検出器の構造図（原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）」、第 50, 51 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。）



第 38 図 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の概略構成図

本内容は、今後の工認補正に応じて適宜修正する



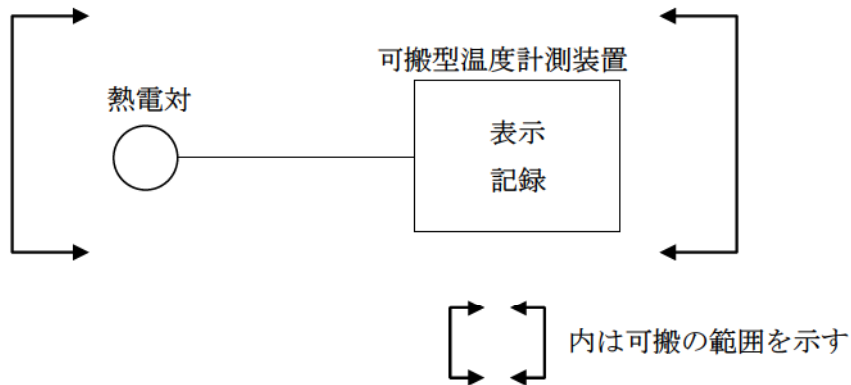
名称	個数
原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	1 (予備 1)

第 39 図 検出器の構造図 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型))

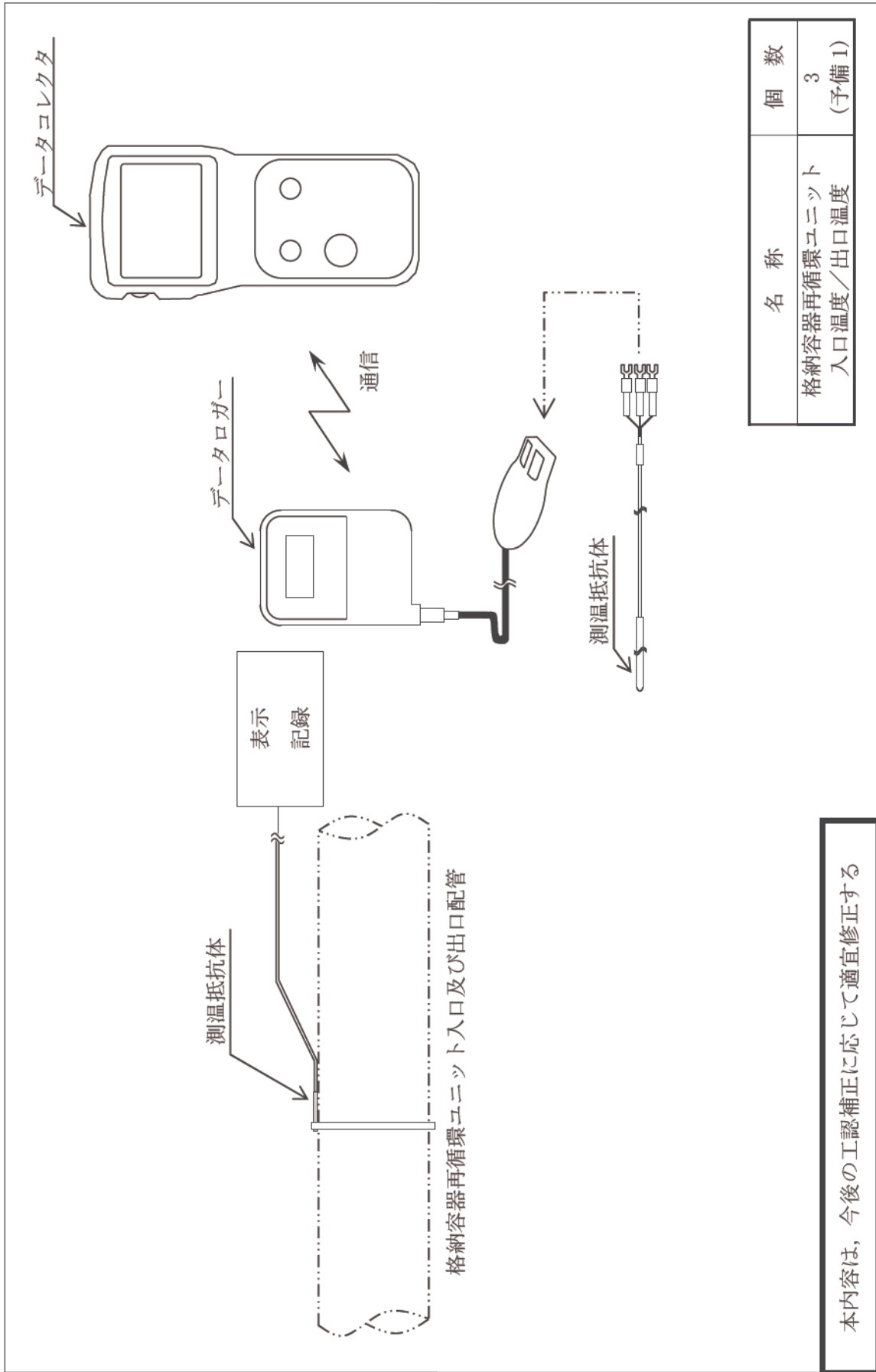
i. 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度

格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器再循環ユニット出入口の冷却水配管に設置した熱電対の起電力を可搬型温度計測装置にて温度に変換して表示し、記録する。記録した温度を用いて出入口配管を流れる冷却水の温度差を求めることにより、格納容器再循環ユニットの動作状態を確認する。記録は、データ収集周期1分で10日間以上電磁的に記録し、保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

(第40図「格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の概略構成図」、第41図「検出器の構造図(格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度)」及び第45、46、51図「検出器の取付箇所を示した図面」参照。)



第40図 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度の概略構成図



名称	個数
格納容器再循環ユニット	3
入口温度/出口温度	(予備1)

本内容は、今後の工認補正に応じて適宜修正する

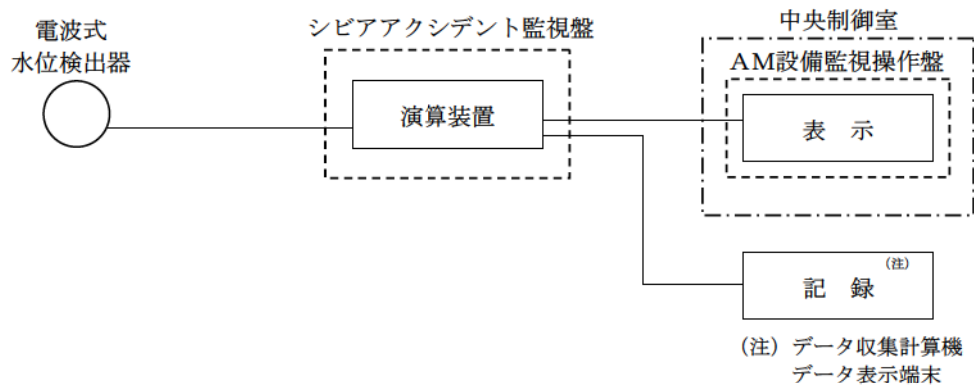
第41図 検出器の構造図 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)

j. 使用済燃料ピット水位計（AM用）

計測目的は、重大事故等により変動する可能性のある範囲のうち、燃料貯蔵ラック上端近傍から使用済燃料ピット上端近傍までの水位監視である。

使用済燃料ピット水位（AM用）の検出信号は、電波式水位検出器からの電流信号を、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット水位（AM用）を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。

（「第42図 使用済燃料ピット水位（AM用）の概略構成図」参照）



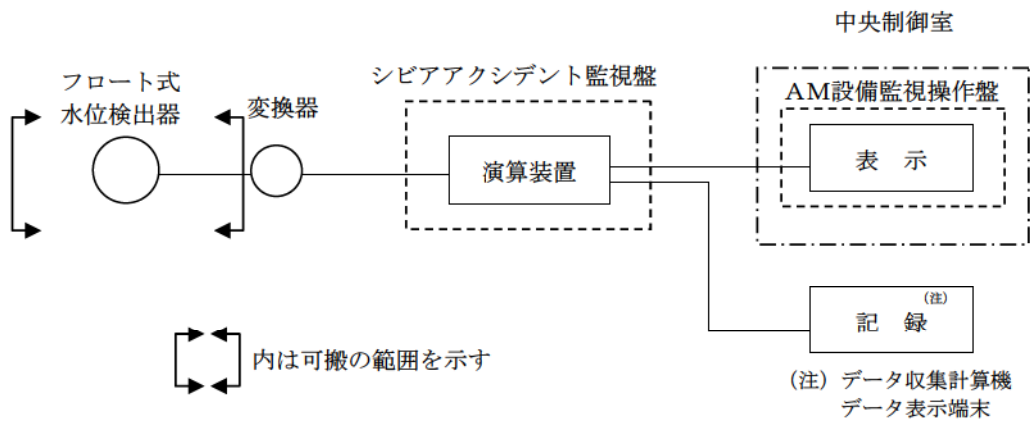
第 42 図 使用済燃料ピット水位（AM用）の概略構成図

k. 使用済燃料ピット水位計（可搬型）

計測目的は、設置許可基準第54条第2項に要求されている使用済燃料貯蔵槽からの大量の水の漏えいその他要因により当該使用済燃料貯蔵槽内の水位が異常に低下する場合においても、変動する可能性のある範囲にわたり水位を監視することである。

使用済燃料ピット水位計（可搬型）の検出信号は、使用済燃料ピット水面に浮かべたフロートの使用済燃料ピット水位変化に伴う位置変化を水位変換器で電気信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット水位を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。

（「第43図 使用済燃料ピット水位計（可搬型）の概略構成図」参照）



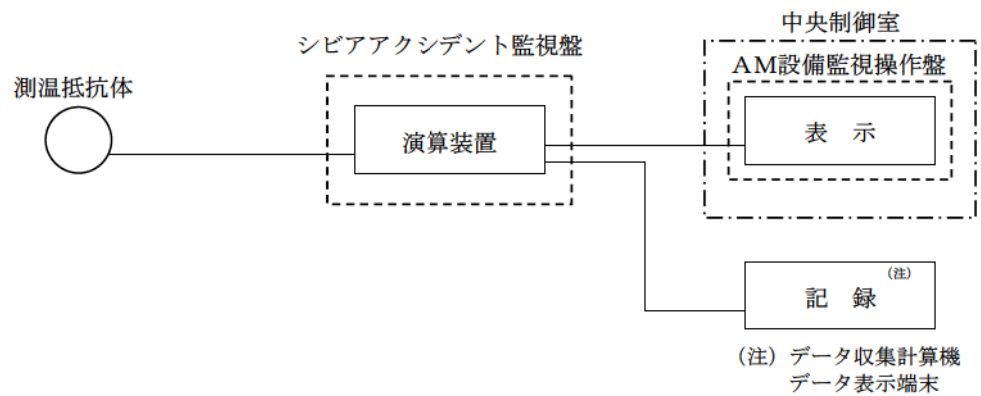
第43図 使用済燃料ピット水位計（可搬型）の概略構成図

1. 使用済燃料ピット温度計（AM用）

計測目的は、重大事故時等により水温の変動する可能性のある範囲のうち、使用済燃料ピット内における冷却水の過熱状態の監視である。

使用済燃料ピット温度計（AM用）の検出信号は、測温抵抗体からの抵抗値をシビアアクシデント監視盤内の演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料ピット温度（AM用）を中央制御室にて表示し、記録装置にて記録する。

（「第44図 使用済燃料ピット温度（AM用）の概略構成図」参照）



第 44 図 使用済燃料ピット温度（AM用）の概略構成図

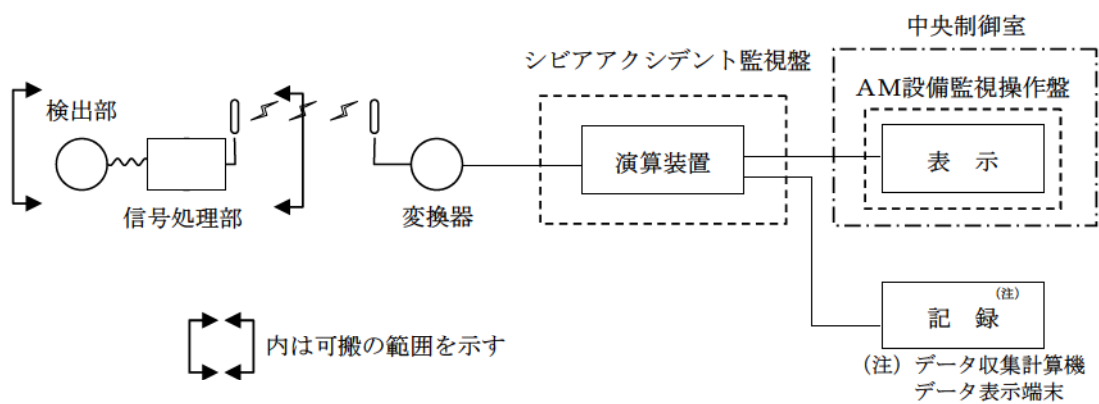
m. 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ

計測目的は、重大事故等において使用済燃料ピット区域の空間線量率について変動する可能性のある範囲を測定し把握することである。

使用済燃料ピット区域の空間線量率を、半導体式検出器及びNaI(Tl)シンチレーション検出器を用いてパルス信号として検出する。

検出したパルス信号は、無線により変換器に伝送した後、電気信号に変換し、シビアアクシデント監視盤内の演算装置にて空間線量率信号へ変換する処理を行い、使用済燃料ピット区域の空間線量率を中央制御室に表示し、記録装置にて記録する。

(「第45図使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの概略構成図」参照)



第 45 図 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの概略構成図

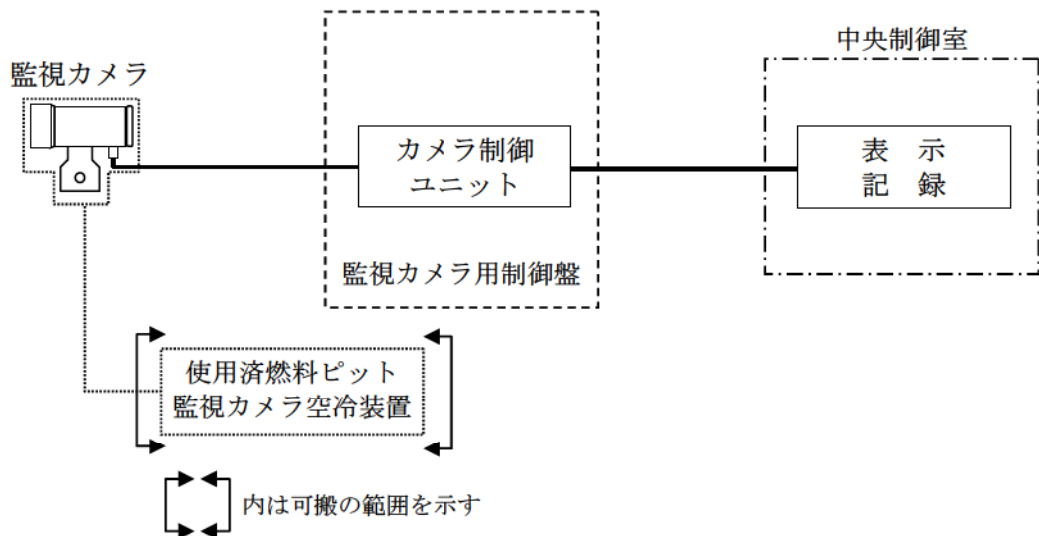
n. 使用済燃料ピット監視カメラ

監視目的は、重大事故等発生時の使用済燃料ピットの状態監視である。

使用済燃料ピット監視カメラの映像信号は、制御ユニットを介し、中央制御室のノート型監視パソコンに表示する。

なお、当該カメラは、照明が無くとも状態監視が可能な赤外線カメラであり、使用済燃料ピット水の表面温度も監視可能である。

(「第 46 図 使用済燃料ピット監視カメラの概略構成図」参照)

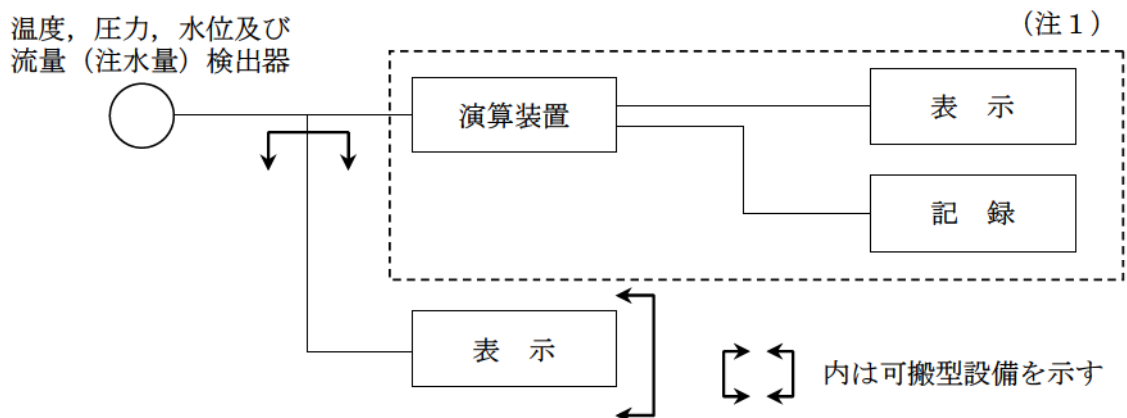


第 46 図 使用済燃料ピット監視カメラの概略構成図

o. 可搬型計測器

可搬型計測器は、重大事故等対処設備の機能を有しており、重大事故等が発生し、パラメータの計測範囲を超えた場合、又は直流電源が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合に、特に重要なパラメータとして、重大事故等に対処するために監視することが必要な温度、圧力、水位及び流量（注水量）のパラメータについて、検出器の抵抗値又は電気信号を計測した後、その計測結果を換算表を用いて温度、圧力、水位及び流量に換算し、監視するとともに、従事者が記録用紙に記録し、保存する。記録及び保存については、「3.2 計測装置の計測結果の表示、記録及び保存」に示す。

（第 47 図「可搬型計測器の概略構成図」、第 1 表「可搬型計測器の測定対象パラメータ」、第 48 図「検出器の構造図（可搬型計測器）」及び第 51 図「検出器の取付箇所を明示した図面」参照。）

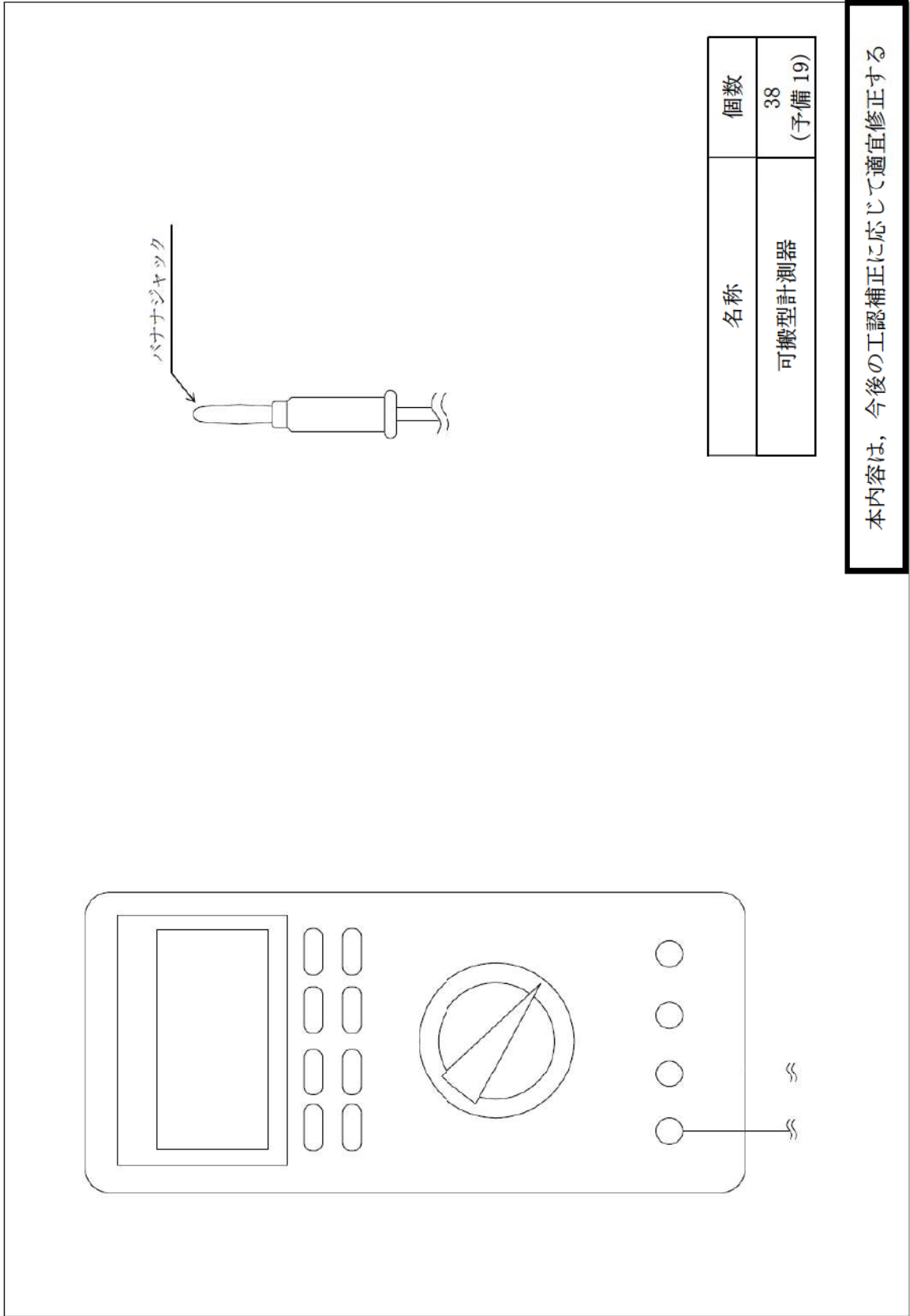


(注1) 点線で記載した箇所は、各パラメータの常設設備のうち、可搬型計測器及びその運用で機能を代替する範囲を示している。

第 47 図 可搬型計測器の概略構成図

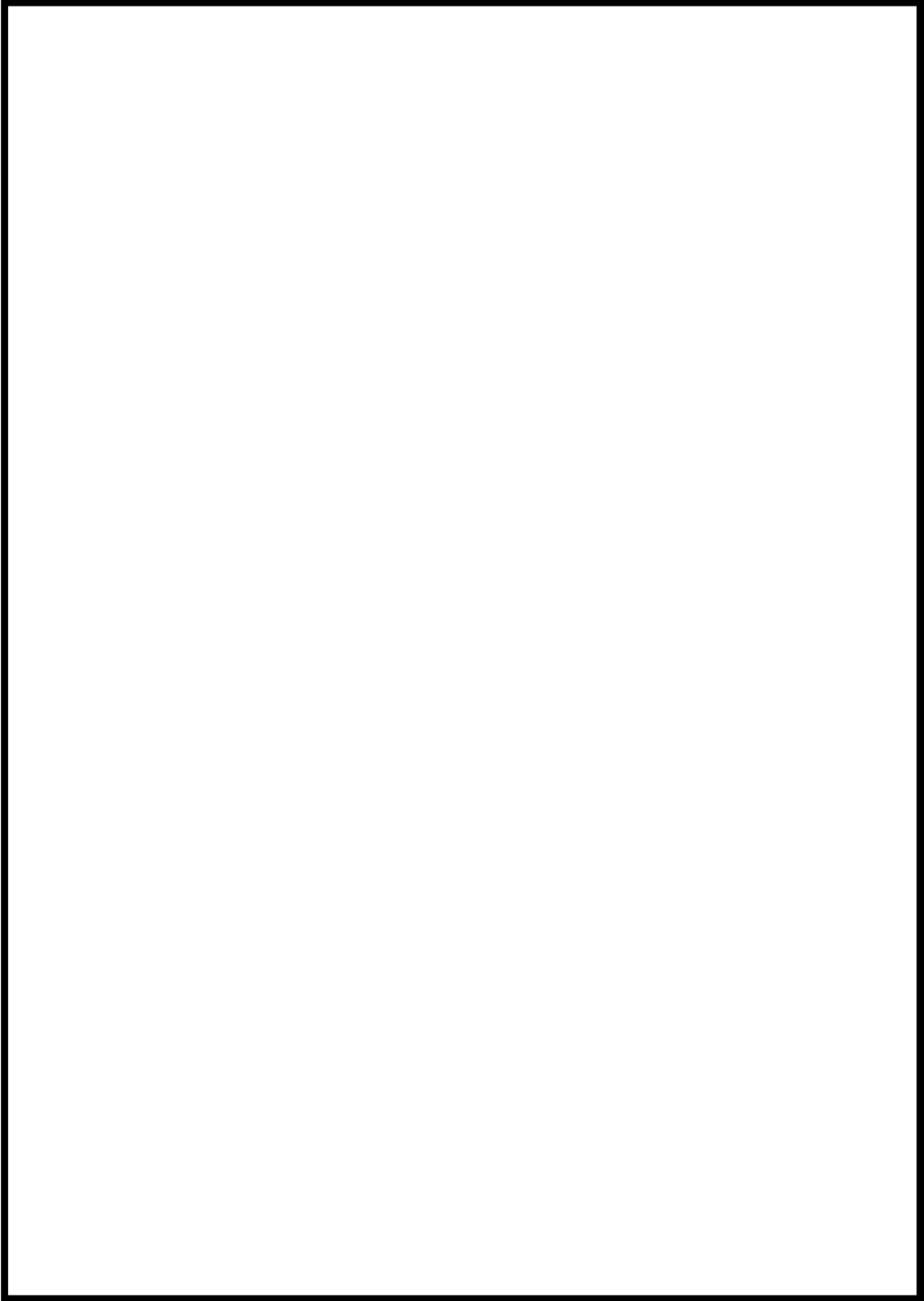
第 1 表 可搬型計測器の測定対象パラメータ

監視パラメータ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 次冷却材圧力（広域） ・ 1 次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1 次冷却材温度（広域－低温側） ・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 加圧器水位 ・ 格納容器圧力（AM用） ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器内温度 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主蒸気ライン圧力 ・ B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域） ・ 原子炉下部キャビティ水位 ・ 原子炉格納容器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 補助給水流量 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 補助給水ピット水位 ・ 使用済燃料ピット水位計（AM用） ・ 使用済燃料ピット水位計（可搬型） ・ 使用済燃料ピット温度計（AM用）



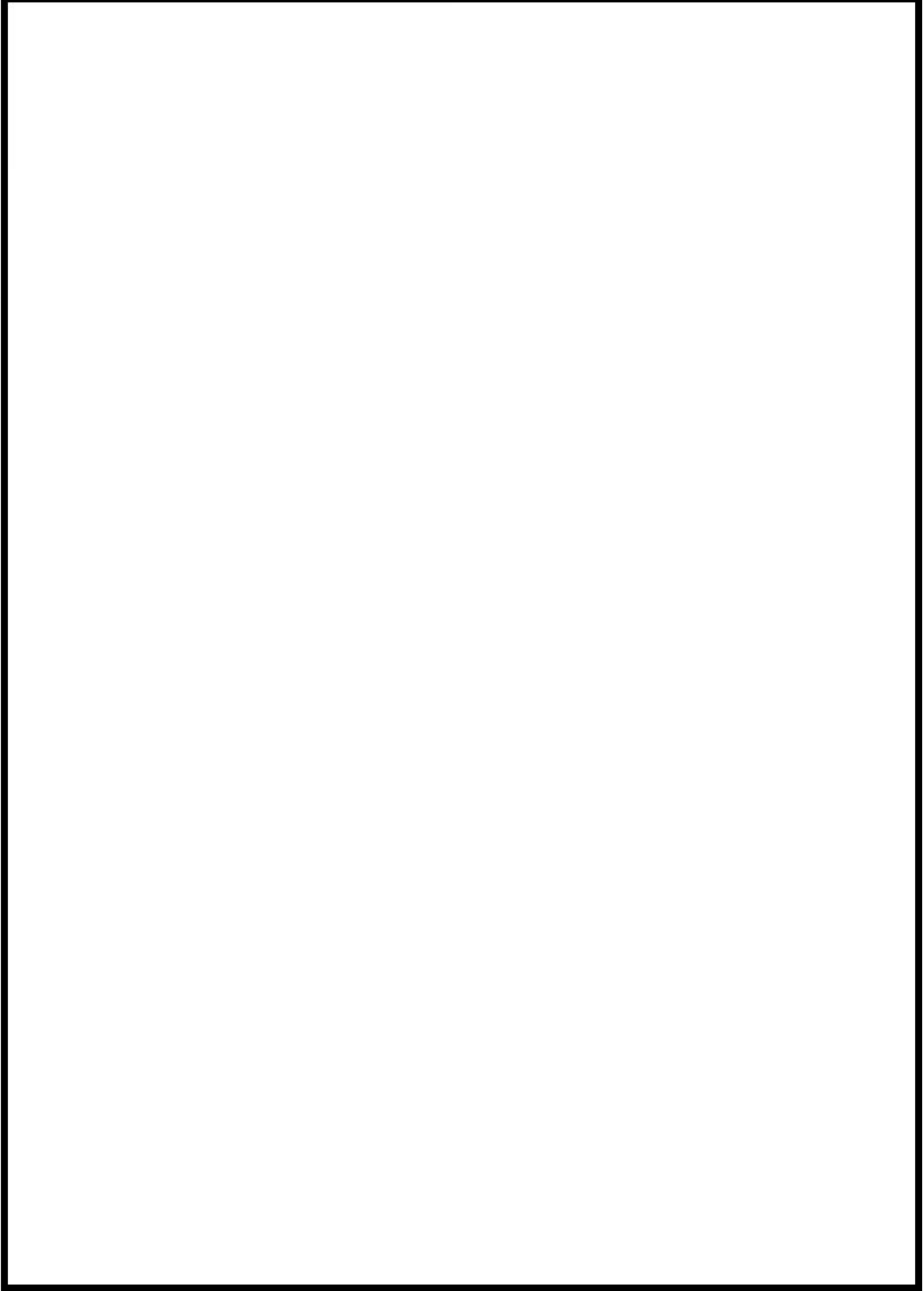
第 48 図 検出器の構造図 (可搬型計測器)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



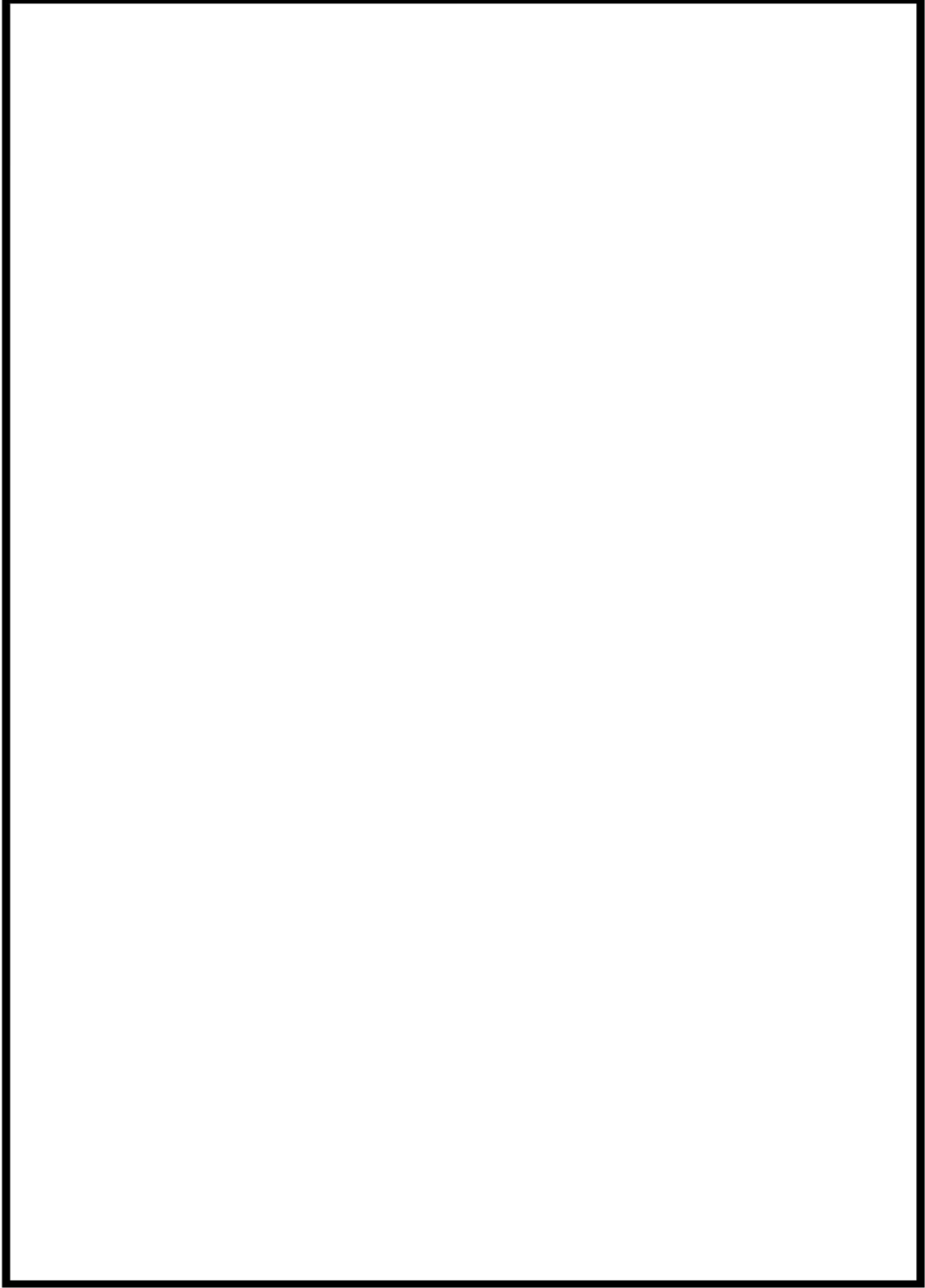
第49図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T.P.2.8m)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



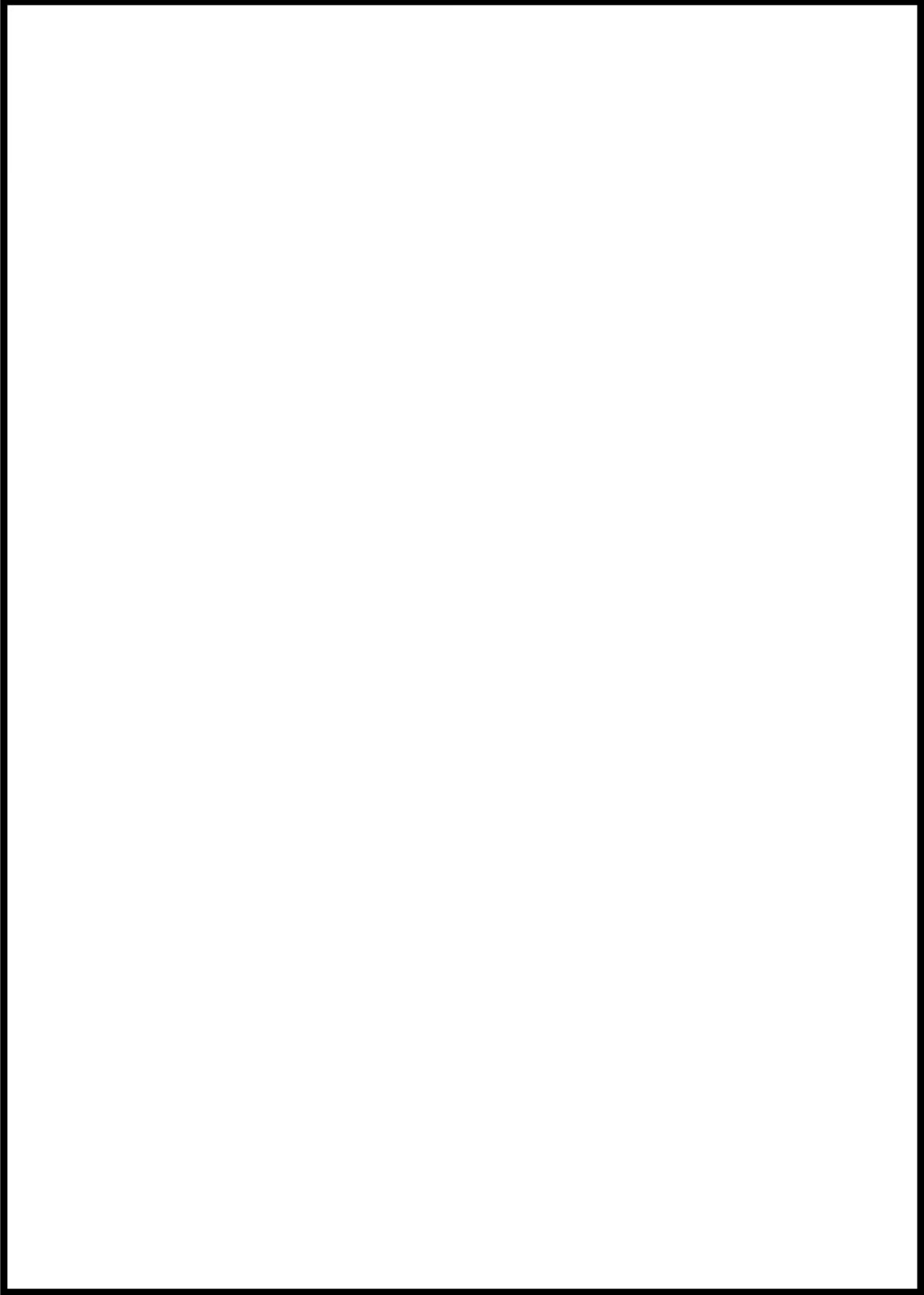
第 50 図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T.P. 10. 3m)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



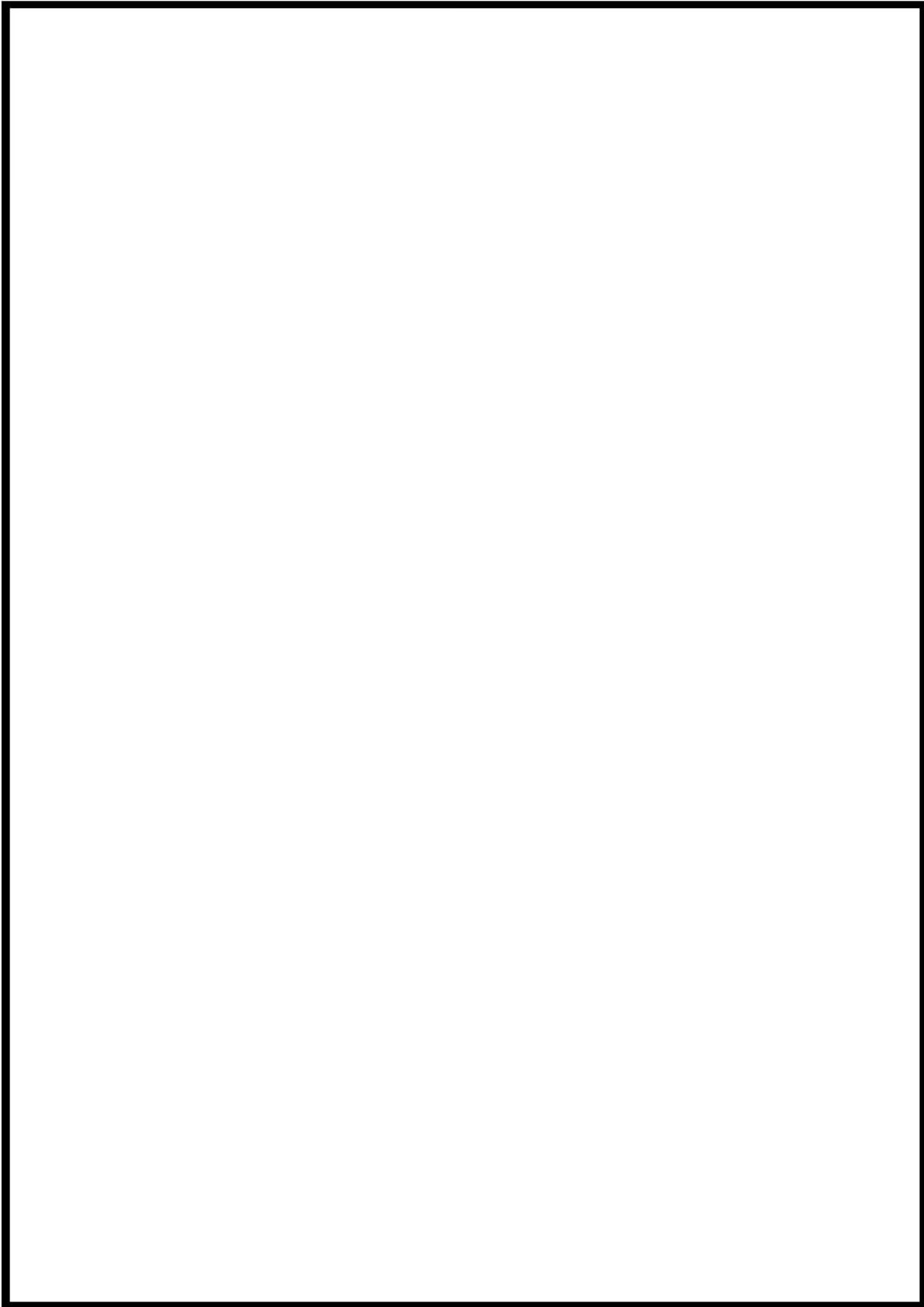
第 51 図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T.P.17.8m)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



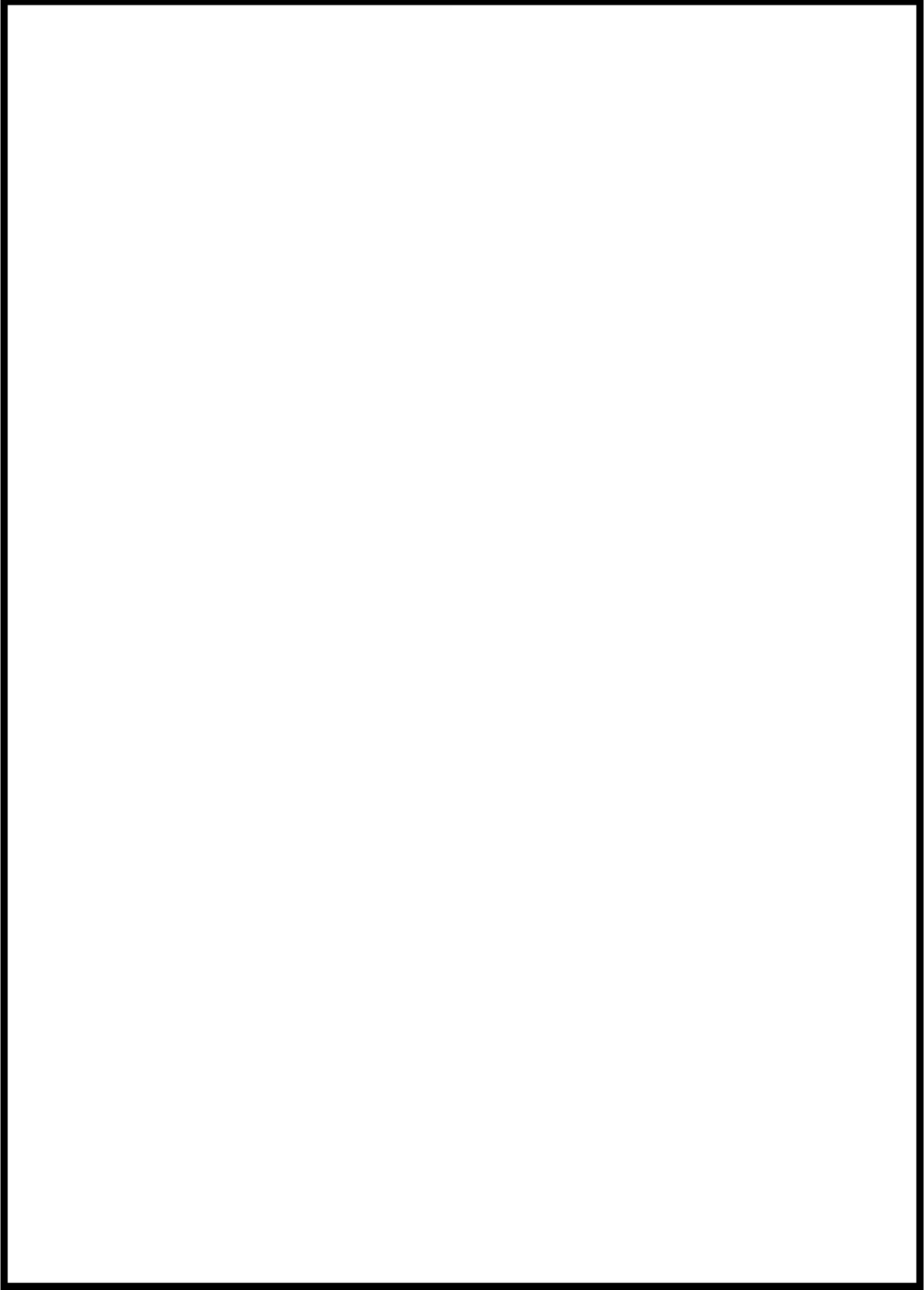
第 52 図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T. P. 24. 8m)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



第 53 図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T. P. 33. 1m)

□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



第 54 図 検出器の取付箇所を明示した図面 (T. P. 40. 3m)